アメリカ合衆国 50 州の州都はどのようにして決まったか

財団法人自治体国際化協会

はじめに

我が国においては、第 27 次地方制度調査会の「道州制のあり方に関する答申」（平成 18 年 2 月 28 日）を始めとし、道州制に関する議論が活発に展開されてきている。その実現の是非については、最終的に国民及び地方自治関係者の動向を踏まえた上での政府及び国会による政治的な決断に委ねられるものであるが、現実的な課題として道州制導入議論が深まるにつれて、道都又は州都を新道州のどこに設置するべきかといういわゆる「道州都論」も大きな争点として浮上してくるのは不可避の流れであろう。

さて、建国以来連邦制を採用しているアメリカ合衆国においては、現在、50 の州が存在するが、こうした州の州都がどのようにして選定されたかということも、その歴史や地方制度が日本と根本的に異なるにしても、我が国での今後の議論の参考になるものと思われる。

50 州における州都選定の歴史を見ると、選定時に州内で人口が最大であった都市は 15 都市に過ぎず、決定に際し 30 都市で住民投票や議会議決が行われているなど、州都決定に至る経過は千差万別で非常に興味深いものである。しかしながら、本調査は、50 州における州都選定の経緯を簡潔に紹介することに止まるものであり、その実態をより正確に把握するためには各州の事例分析を更に深く行う必要があることはいうまでもない。

本調査は、当協会ニューヨーク事務所の上席調査員、Seth Benjamin, Stephen Fasano, Matthew Gillam が中心となって行ったものである。

本調査が多くの人に活用され、我が国の地方自治に関する議論を豊かにすることができれば幸いである。

財団法人　自治体国際化協会
理事長　香山　充弘

目次

はじめに
調査結果の概要.....1
アラバマ州モンゴメリー (Montgomery, Alabama).....8
アラスカ州ジュノー (Juneau, Alaska).....10
アリゾナ州フェニックス (Phoenix, Arizona).....12
アーカンソー州リトルロック (Little Rock, Arkansas).....14
カリフォルニア州サクラメント (Sacramento, California).....16
コロラド州デンバー (Denver, Colorado).....18
コネチカット州ハートフォード (Hartford, Connecticut).....20
デラウェア州ドーバー (Dover, Delaware).....22
フロリダ州タラハシー (Tallahassee, Florida).....24
ジョージア州アトランタ (Atlanta, Georgia).....26
ハワイ州ホノルル (Honolulu, Hawaii).....29
アイダホ州ボイシ (Boise, Idaho).....31
イリノイ州スプリングフィールド (Springfield, Illinois).....33
インディアナ州インディアナポリス (Indianapolis, Indiana).....36
アイオワ州デモイン (Des Moines, Iowa).....38
カンザス州トピカ (Topeka, Kansas).....41
ケンタッキー州フランクフォート (Frankfort, Kentucky).....43
ルイジアナ州バトンルージュ (Baton Rouge, Louisiana).....45
メイン州オーガスタ (Augusta, Maine).....47
メリーランド州アナポリス (Annapolis, Maryland).....49
マサチューセッツ州ボストン (Boston, Massachusetts).....51
ミシガン州ランシング (Lansing, Michigan).....53
ミネソタ州セントポール (St. Paul, Minnesota).....55
ミシシッピ州ジャクソン (Jackson, Mississippi).....57
ミズーリ州ジェファーソンシティ (Jefferson City, Missouri).....59
モンタナ州ヘレナ (Helena, Montana).....61

ネブラスカ州リンカーン (Lincoln, Nebraska).....63
ネバダ州カーソンシティ (Carson City, Nevada).....66
ニューハンプシャー州コンコード (Concord, New Hampshire).....68
ニュージャージー州トレントン (Trenton, New Jersey).....70
ニューメキシコ州サンタフェ (Santa Fe, New Mexico).....72
ニューヨーク州オールバニー (Albany, New York).....74
ノースカロライナ州ローリー (Raleigh, North Carolina).....76
ノースダコタ州ビスマーク (Bismarck, North Dakota).....78
オハイオ州コロンバス (Columbus, Ohio).....80
オクラホマ州オクラホマシティ (Oklahoma City, Oklahoma).....82
オレゴン州セーラム (Salem, Oregon).....84
ペンシルバニア州ハリスバーグ (Harrisburg, Pennsylvania).....86
ロードアイランド州プロビデンス (Providence, Rhode Island).....88
サウスカロライナ州コロンビア (Columbia, South Carolina).....90
サウスダコタ州ピア (Pierre, South Dakota).....92
テネシー州ナシュビル (Nashville, Tennessee).....94
テキサス州オースティン (Austin, Texas).....96
ユタ州ソルトレイクシティ (Salt Lake City, Utah).....98
バーモント州モントピーリア (Montpelier, Vermont).....100
バージニア州リッチモンド (Richmond, Virginia).....102
ワシントン州オリンピア (Olympia, Washington).....104
ウェストバージニア州チャールストン (Charleston, West Virginia)....106
ウィスコンシン州マディソン (Madison, Wisconsin).....108
ワイオミング州シャイアン (Cheyenne, Wyoming).....110

調査結果の概要

50 州の州都を、一般的に州都の典型的なイメージとして考えられる、①地理的に州の中心に位置すること、②州都に選定された当時、人口が州内で最大であったこと、③州都に選定された当時、道路、航路等交通の要所であったこと、④州都に選定された当時、経済の中心地であったことという4つの要因に基づいて簡単な分析を試みたところ、

・地理的中心地は 25 都市
・人口最大都市は 15 都市
・交通要所は 25 都市
・経済的中心は 22 都市
・これら 4 要素を 4 つ持つ州都は 1 都市
（ｱｰｶﾝｿｰ・ﾘﾄﾙﾛｯｸ）
・これら 4 要素を 3 つ持つ州都は 13 都市
（ｺﾛﾗﾄﾞ・ﾃﾞﾝﾊﾞｰ、ｱｲｵﾜ・ﾃﾞﾓｲﾝ・ﾏｻﾁｭｰｾｯﾂ・ﾎﾞｽﾄﾝ、ﾈﾊﾞﾀﾞ・ｶｰｿﾝ、ﾕﾀ・ｿﾙﾄﾚｲｸ他）
・これら 4 要素を 2 つ持つ州都は 12 都市
（ｱﾘｿﾞﾅ・ﾌｪﾆｯｸｽ、ﾐﾈｿﾀ・ｾﾝﾄﾎﾟｰﾙ、ﾆｭｰﾒｷｼｺ・ｻﾝﾀﾌｪ、ﾃﾈｼｰ・ﾅｯｼｭﾋﾞﾙ、ﾃｷｻｽ・ｵｰｽﾃｨﾝ他）
・これら 4 要素を1つ持つ州都は 20 都市
（ｱﾗﾊﾞﾏ・ﾓﾝﾄｺﾞﾒﾘｰ、ｲﾘﾉｲ・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾌｨｰﾙﾄﾞ、ﾒｲﾝ・ｵｰｶﾞｽﾀ、ﾐｼｶﾞﾝ・ﾗﾝｼﾝｸﾞ他）

合計 46 都市

という結果が得られた。

残る 4 都市（フロリダ・タラハシ、カンザス・トペカ、ケンタッキー・フランクフォート、ウィスコンシン・マディソン)の内、フランクフォートを除く 3 都市が州民投票又は州議会議決という手続きを経て州都に決定されている。

フロリダ州タラハシ市については、その当時州議会を交互に開催していたペンサコラ市とセントオーガスティン市の両市の中間に位置することが最終的に州都に選ばれた大きな要因となった。カンザス州トペカ市に関しては、州昇格を巡る「自由州」派と「奴隷州」との争いの結果、「自由州」派が勝利したところから、当時としては奴隷州である隣のミズーリ州から相対的に離れた場所に位置しているという要因が重視された。ケンタッキー州フランクフォート市については、住民投票も議決も行われず決定しているが、地元の有力者から州都庁舎用地や資金提供があったことが大きな要因と言われている。ウィスコンシン州マディソン市については、ミルウォーキー市に次ぐ大都市であるマディソン市を創設した人物の粘り強い議員へのロビー活動により決定されたと言われている。

州都を決定する際に州民投票を実施した都市は、50 州都中 13 都市であり、州議会が議決した都市は 19 都市に上る。

また、投票又は議決をした 30 都市（重複あり）の内訳を分析すると、

・上記の州都にふさわしい 4 つのイメージを全て持っている都市（1 都市）は 0 都市

・3 つ持っている都市（13 都市）は 4 都市

・2 つ持っている都市（13 都市）は 8 都市

・1 つ持っている都市（19 都市）は 15 都市

・1 つも持っていない都市（4 都市）は 3 都市

という結果であり、投票や議決により州都に選定された都市は、州都の典型的なイメージとして考えられる要素が少ないという傾向が伺える。

その他特徴的な要因としては、メリーランド州アナポリス市では州内におけるカトリックとプロテスタントの宗教的対立の緩和を考慮したことが挙げられ、カリフォルニア州サクラメント市を始めとするいくつかの州都では、地元からの資金や庁舎の提供という好条件が提示されたことが挙げられる。

	州	州都	州都（首都）選定年	キーワード	地理的 中心地	人口 最大	交通 要所	経済的 中心地	州民 投票	州議会 議決	ライバル 都市
1	Alabama	Montgomery	1846	議決	X					X	
2	Alaska	Juneau	1906	経済的中心地				X			
3	Arizona	Phoenix	1889	経済的中心地			X	X			
4	Arkansas	Little Rock	1821	人口最大	X	X	X	X			
5	California	Sacramento	1854	議決 好条件			X	X		X	San Jose
6	Colorado	Denver	1867	住民投票	X	X	X		X		Golden City
7	Connecticut	Hartford	1866	議決 好条件	X					X	New Haven
8	Delaware	Dover	1777	地理的中心地	X						New Castle
9	Florida	Tallahassee	1824	妥協 フロリダ州北部の2大都市の中間地					X		Jacksonville Ocala St.Augustine
10	Georgia	Atlanta	1868	住民投票 好条件			X		X		Milledgeville
11	Hawaii	Honolulu	1850	経済的中心地		X	X	X			

	州	州都	州都（首都）選定年	キーワード	地理的中心地	人口最大	交通要所	経済的中心地	州民投票	州議会議決	ライバル都市
12	Idaho	Boise	1864	人口最大		X					Lewiston
13	Illinois	Springfield	1837	議決 好条件	X				X	X	Vandalia Alton
14	Indiana	Indianapolis	1821	地理的中心地	X		X			X	
15	Iowa	Des Moines	1857	議決 地理的中心地	X	X		X	X	X	
16	Kansas	Topeka	1861	住民投票					X		Lawrence
17	Kentucky	Frankfort	1792	好条件							
18	Louisiana	Baton Rouge	1846	交通要所			X			X	New Orleans
19	Maine	Augusta	1832	地理的中心地	X					X	Portland
20	Maryland	Annapolis	1694	宗教的対立の解決				X			St. Mary's City
21	Massachusetts	Boston	1630	交通要所		X	X	X			
22	Michigan	Lansing	1847	妥協	X					X	Detroit
23	Minnesota	St. Paul	1847	交通要所		X	X				St. Peter

	州	州都	州都（首都）選定年	キーワード	地理的中心地	人口最大	交通要所	経済的中心地	州民投票	州議会議決	ライバル都市
24	Mississippi	Jackson	1822	地理的中心地	X	X	X				Natchez
25	Missouri	Jefferson City	1821	妥協	X					X	St. Louis
26	Montana	Helena	1875	住民投票	X		X	X	X		Virginia City Anaconda
27	Nebraska	Lincoln	1867	議決	X					X	Omaha
28	Nevada	Carson City	1861	交通要所		X	X	X			
29	New Hampshire	Concord	1808	地理的中心地	X					X	Hopkinton
30	New Jersey	Trenton	1790	交通要所	X		X	X			
31	New Mexico	Santa Fe	1609	文化的中心地			X	X			
32	New York	Albany	1797	地理的中心地	X			X		X	New York
33	North Carolina	Raleigh	1792	地理的中心地	X					X	Hillsborough
34	North Dakota	Bismarck	1882	交通要所	X		X				Yankton
35	Ohio	Columbus	1812	地理的中心地	X	X	X				

	州	州都	州都（首都）選定年	キーワード	地理的中心地	人口最大	交通要所	経済的中心地	州民投票	州議会議決	ライバル都市
36	Oklahoma	Oklahoma City	1910	人口最大		X			X		
37	Oregon	Salem	1864	住民投票				X	X		Portland Eugene Oregon
38	Pennsylvania	Harrisburg	1812	議決			X	X		X	Philadelphia
39	Rohde Island	Providence	1900	人口最大		X	X	X			
40	South Carolina	Columbia	1786	地理的中心地	X						Charleston
41	South Dakota	Pierre	1890	住民投票	X		X		X		Mitchell
42	Tennessee	Nashville	1843	議決	X		X			X	Charlotte
43	Texas	Austin	1845	住民投票	X			X	X		Houston Waco
44	Utah	Salt Lake City	1856	人口最大		X	X	X			
45	Vermont	Montpelier	1805	議決	X					X	
46	Virginia	Richmond	1782	議決			X	X		X	Williamsburg
47	Washington	Olympia	1853	住民投票				X	X		Vancouver Seattle Port-Townsend Tacoma
48	West Virginia	Charleston	1877	住民投票		X	X	X	X		
49	Wisconsin	Madison	1836	議決						X	Milwaukee
50	Wyoming	Cheyenne	1868	人口最大		X	X	X			

	州	州都	州都（首都）選定年	キーワード	地理的中心地	人口最大	交通要所	経済的中心地	州民投票	州議会議決	ライバル都市
					25	15	25	23	13	19	
					35		33		30		
					46						

＊「州都（首都）選定年」：該当市が州都又は首都（州になる以前のTerritory時代のCapital）に初めて選定された年である。

＊「キーワード」　　：該当市が州都に選定されたキーワードを示した。

＊「地理的中心地」　：該当市が地理的に中心地にあるかどうかを示した。

＊「人口最大」　　：該当市が州都選定時に州内最大の人口であったかどうかを示した。

＊「交通要所」　　：該当市が州都選定時に道路及び航路の要所であったかどうかを示した。

＊「経済的中心地」　：該当市が州都選定時に経済的な中心地であったかどうかを示した。

＊「住民投票」　　：該当市が州都選定時に住民投票を行ったかどうかを示した。

＊「州議会議決」　　：該当市が州都選定時に州議会議決を行ったかどうかを示した。

＊「ライバル都市」　　：州都選定時のライバル都市を掲げた。

アラバマ州 モンゴメリー (Montgomery, Alabama)

市創設: 1819 年(1837 年に合併)
州都(首都)選定年: 1846 年
州都人口: 201,998
州都面積: 404.5 平方キロメートル

歴 史

後にアラバマと呼ばれる地域では、スペイン人が最初にフロリダに入植した 1565 年から、モンゴメリーが州都として制定された 1846 年までの間、白人入植者の段階的な進出とネイティブ インディアンの排斥により、政庁所在地が一定の場所に留まることはなかった。

18 世紀の大半にわたり、現在アラバマとジョージアにあたる領域は同じ政庁所在地の管轄下に置かれていた。18 世紀当時の主な政庁所在地は、サバンナとオーガスタ(ジョージア州)で、19 世紀初頭の 20 年間、当領域はミシシッピ準州の一部として統治されていた。白人の居住地域がメキシコ湾と大西洋岸付近の拠点から内部へと拡大するにつれ、アラバマは独立した自治体として認識されるようになった。

準州から州へと移行する中で、アラバマの州都は 5 つの都市を転々とした。1817 年に可決された議会法令により準州として成立すると、州南西部に位置するセントスティーブンスが暫定政庁所在地に指定された。1819 年にはハンツビルでアラバマの憲法制定会議が、また同年に第 1 回準州議会が開催された。その後カハバ(またはカホーバ)が議会により州都として指定されたため、1820 年には第 2 回準州議会がカハバで開催されたが、この町は洪水の被害を受けやすく衛生面で問題があったため、議会は憲法権限を行使して 1825～1826 年までの間、タスカルーサを州都として新たに指定した。しかし、白人移住者が東部開拓によりインディアンの土地に入植するにつれ、タスカルーサが州都として機能することが困難となった。そこで 1846 年、16 回に及ぶ投票の末、州議会はモンゴメリーを新しい州都として制定した。モンゴメリー市民と債権から調達された資金は、最初の庁舎の建設費用に充てられた。この庁舎は 1847 年に州に贈与されたものの、1850 年代には現在の庁舎に建て替えられた。

アラバマ川沿いに位置するモンゴメリー市は、1540 年にスペイン人探検家、エルナンド・デ・ソトがスペイン領として主張した地域の一部であった。フランス人入植者が 1717 年にトゥールーズ砦を建設すると、イーストアラバマとニューフィラデルフィアの両都市はトゥールーズ砦付近を中心に発展を遂げ、1819 年にアラバマ州が合衆国へ加盟すると、合併してモンゴメリー市となった。モンゴメリー市の名前は、アメリカ独立戦争のケベックの戦いで敵の銃弾を受けて戦死したリチャード・モンゴメリー将軍にちなんで付けられたものである。

参考資料

http://www.usacitiesonline.com/alcountymontgomery.htm#history

www.archives.state.al.us/capital/capitals.html

http://en.wikipedia.org/wiki/Montgomery,_Alabama

http://www.oldststephens.com/history_of_old_st_stephens.htm

http://www.citytowninfo.com/places/alabama/montgomery_

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

アラスカ州 ジュノー(Juneau, Alaska)

市創設: 1881 年 (1890 年に合併)
州都(首都)選定年: 1906 年
州都人口: 30,987 (2005)
州都面積: 8,430 平方キロメートル

歴 史

ジュノー市はアラスカ州南東部のアレクサンダー諸島に位置する。過去数回にわたりアラスカの州庁所在地の移転が試みられたが、ジュノーは 1906 年以来、アラスカ地区、アラスカ準州、アラスカ州の州都として機能している。
アラスカは、アメリカ国務長官のウィリアム・スワードが 1867 年にロシアから購入したもので、もともとアラスカ地区として統治されていた。アラスカに金が存在することは一般的に信じられていなかったが、1880 年に金鉱が発見されると大勢の探鉱者たちがアラスカに進出し、1912 年には準州に指定された。アラスカが合衆国の統治下に置かれた後に創設された最初の町はハリスバーグ、その後ロックウェルと呼ばれたが、1881 年にジュノーと改名された。リチャード・ハリスとジェセフ・ジュノーは、アラスカでの金鉱の発見後、この地を金採掘のベースキャンプにした最初の探鉱者であり、チュールズ・ロックウェル少佐はこの新しい町の統括を任命された最初のアメリカ海軍将校である。

アラスカ開発の初期には、南部にある州都のシトカが捕鯨業、毛皮貿易の中心として栄えたが、これらの産業が低迷したのを受け、1906 年にはジュノーがアラスカ州の州都として指定された。ジュノーはその後長年にわたり、アラスカ地区、アラスカ準州、アラスカ州の州都として発展することになった。

1954 年、アラスカ準州の住民はアンカレッジ及びフェアバンクスのいずれかの都市がアラスカ政府に過度の影響をもたらすことを懸念し、投票により州都を両都市から少なくとも北に 48 キロ離れた場所に移動させることを採決したが、これが実現することはなかった。アラスカが 1959 年に州に昇格した後も、1970 年代から 1990 年代の長期にわたり州都を移動させようとする取り組みが見られたが、いずれも失敗に終わっている。これは、州都の移転に数億ドルもの予算を投入することに対して、州民から十分な合意や意思決定が得られなかったことが原因であった。

参考資料

http://www.fairbanks-alaska.com/alaska-history.htm
www.wikipedia.org/wiki/City_and_Borough_of_Juneau_Alaska
http://www.juneau.org/history-old/juneauhist.php

http://en.wikipedia.org/wiki/Juneau%2C_Alaska

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

アリゾナ州フェニックス（Phoenix, Arizona）

市創設: 1868 年（1881 年に合併）
州都（首都）選定年: 1889 年
州都人口: 1,512,986
州都面積: 1,334 平方キロメートル

歴　史

1864 年から 1877 年の間、アリゾナ準州の州都は、ナバホスプリング、プレスコット、トゥーソン、そして再度プレスコットと転々とした後、1889 年に現在のフェニックスへと移った。

現在アリゾナと呼ばれている地域は 1846 年のメキシコ戦争後、1850 年と 1853 年の 2 回にわたり合衆国に併合された。アリゾナはもともと州都をサンタフェに置く、ニューメキシコ準州の一部であった。1861 年、アリゾナはアメリカ連合国アリゾナ準州として宣言されたが、間もなくカリフォルニアの北軍に統治された。1863 年 2 月、連邦議会でアリゾナを準州とする法令が可決され、リンカーン大統領の署名により正式に準州化が実現した。この知らせは、初代準州知事であるジョン・グッドウィンによりナバホスプリングで公表されたものの、最初の正式な州都は 1864 年にプレスコットに創設された。州都は 1867 年にプレスコットからトゥーソンに移った後、1877 年に再びプレスコットに戻った。現在のフェニックスに遷都したのは 1889 年になってからで、アリゾナが 1912 年に合衆国へ加盟した後も州都の座を保っている。

ソルトリバーバレーのほぼ中央に位置するフェニックス市の最初の住居者は、1867 年に入植してきた白人開拓者で、ソルトリバーの水を近隣の土地に迂回させる灌漑事業が当時開始されていた。「フェニックス」という名前は、数世紀前にこの地に居住していた古代インディアン、ホホカム族の遺跡の上に再生された都市を意味して付けられたものである。1881 年、フェニックスは市に昇格し、1887 年には初の鉄道が開通、さらにその 2 年後には政庁所在地がフェニックスへと移された。その後も、フェニックスは農業、輸送路の中心地として発展し、現在ではアリゾナ州最大の都市となっている。

参考資料

http://www.city-data.com/states/Arizona-History.html
http://thenaturalamerican.com/phoenix_history.htm
http://en.wikipedia.org/wiki/Phoenix%2C_Arizona

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

アーカンソー州 リトルロック (Little Rock, Arkansas)

市創設: 1821 年(1831 年に合併)
州都(首都)選定年: 1821 年
州都人口: 184,422
州都面積: 302.5 平方キロメートル

歴 史

アーカンソー準州は 1819 年に成立、1821 年にリトルロックが準州の州都に指定された。州のほぼ中央に位置するリトルロックは、航行可能でありながら洪水の被害の少ない川沿いという理想的な立地にあったため、ルイジアナからテキサスへと続くサウスウエストトレイル[1]の停留地として利用された。

現在アーカンソーと呼ばれている地域は、1541 年にエルナンド･デ･ソトによって初めて探検及び調査が進められた。1686 年にはフランスの交易所がアーカンザス川の河口付近に建設され、1769 年までには、主にフランス人とインディアンの混血から構成される小さな集落が、現在のリトルロック周辺に発展していった。アーカンソーは 1803 年のルイジアナ購入[2]の一部であった地域で、モンロー大統領による基本法への署名によりアーカンソー準州が成立した 1819 年までは、セントルイスの統治下に置かれていた。アーカンソー川の河口付近に位置し、当時人口の最も多かったアーカンソーポストが最初の州都として指定された。

主に 1808 年から 1824 年の間に調印された条約により、この地域に居留していたインディアンは一掃され、白人入植者に開拓の道が開かれるようになった。1821 年、アーカンソー準州の中央付近に位置するリトルロックが州都となったため、土地開拓を進める入植者にとってより便利な環境が形成されることとなった。

1819 年当時、リトルロックには小さな木造ビル 4 棟と大きな建造物が 3 つあるのみで、1820 年代後半になってもリトルロックの人口は 400 人にしか満たなかった。建物も 60 棟程度で、その 4 分の 3 がログキャビンという状態だったが、1819 年には新聞が創刊され、1823 年には学校、翌年には教会が設立されるなど、徐々に成長を見せ始めた。また 1826 年には道路と駅馬車の路線が建設されたが、最初の鉄道の建設は南北戦争の影響で 1871 年まで延期された。

アーカンソーが合衆国に加盟した 1836 年、それまで準州の州都であったリトルロックが、その土地面積や経済力、便利な立地条件を理由に、引き続き州都として指定された。

---

[1] 森林・原野・山地などの踏み分け道

[2] 1803 年、第３代アメリカ合衆国大統領ジェファーソンのときにフランスから購入した広大な土地。東はミシシッピー川から西はロッキー山脈、北はカナダから南はメキシコ湾に及ぶ。

参考資料

www.littlerock.com/media/history.asp

http://en.wikipedia.org/wiki/Little_Rock%2C_Arkansas

http://www.oldstatehouse.com/educational_programs/classroom/arkansas_news/detail.asp?id=621&issue_id=39&page=1

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

カリフォルニア州 サクラメント(Sacramento, California)

市創設: 1849 年(1850 年に合併)
州都(首都)選定年: 1854 年
州都人口: 467,343
州都面積: 257 平方キロメートル

歴 史

これまでの長い歴史のなかで、カリフォルニアには複数の州都が存在してきた。合衆国への加盟後では、サンホセ、バレーオ、ベニシア、サクラメントに州都が置かれたほか、サンフランシスコも 1862 年に短期間であるか暫定州都として指定された。州都は、議会や公官庁の建設に最も多大な貢献をした地域から選定されてきた傾向がある。
メキシコの統治時代には、州都は各知事の希望に応じ繰り返し移転を続けた。

合衆国への移譲後、カリフォルニアは軍政府長官の統治下に置かれることになる。1849 年、モントレーで開かれた憲法制定会議でカリフォルニアは正式に州として成立し、州都をサンホセに置くことが決定された。会議に出席していた代表議員は、州都を商業中心地以外に置くことを要求し、州都に相応しい建物を新たに建設するというサンホセ市からの提案を承認した。1850 年とその翌年の最初の州議会は、新しく建設された 2 階建ての日干しれんが造りの建物で開催された。建物は決して望ましいと言える状態ではなかったため、議会は、政府に必要な建物の建設に土地と資金を提供することを確約したバレーホ将軍からの提案を受け入れた。その提案は議会の投票で承認され、その次の総選挙で住民投票の結果、可決された。

しかし、議会出席者が 1852 年 1 月にバレーホに到着した時点では、建物はすべて建設中で議員が宿泊する施設も不足しており、粗悪な環境が改善されていなかったため、1853 年に港町ベニシアが市庁舎を無料で提供することを申し出ると、これは直ちに承諾された。1853 年 2 月から翌年の 2 月にかけてベニシアで第 4 回州議会が開かれたが、ここでも議員やジャーナリスト、長官が生活する施設を提供する環境が整っていなかったため、政府は州都を再度移転することを決定した。

この当時、郡庁舎をはじめとした施設を無料で提供することを申し出ていたサクラメント市を州都とする法令が議会で可決され、州知事の署名によりサクラメントが恒久的な州都に指定された。1849 年、サクラメントを物流及びビジネスの拠点とする開発が進められた。また、金鉱を求めて数多くの探鉱者がこの地に流入してきたため、町は急速な発展を遂げていった。その後、火災や洪水による被害を受けたこともあったが(1862 年に発生した洪水では、一時的に議会がサンフランシスコに移転された)、前進に向けての継続的な取り組みにより、サクラメントは現在も州都の座を維持している。

参考資料

www.library.ca.gov/history/previous-ca-capitals.html

http://www.leginfo.ca.gov/pdf/caleg11.pdf

http://en.wikipedia.org/wiki/Sacramento%2C_California

http://www.oldstatehouse.com/educational_programs/classroom/arkansas_news/detail.asp?id=621&issue_id=39&page=1

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

コロラド州 デンバー (Denver, Colorado)

市創設: 1858 年(1861 年正式認可)
州都(首都)選定年: 1867 年
州都人口: 566,974
州都面積: 401.2 平方キロメートル

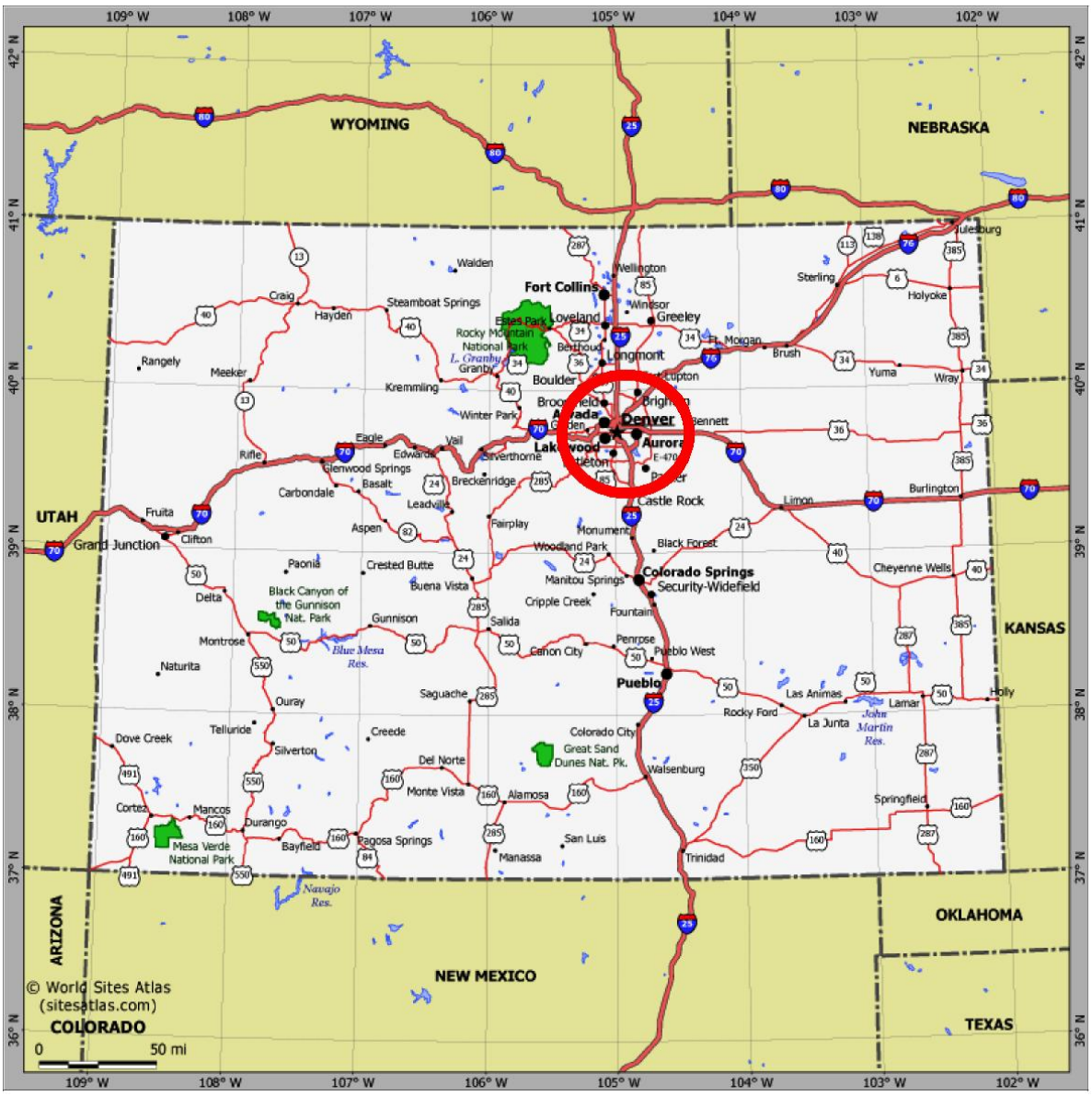
歴 史

1858 年 11 月、この地に入植してくる鉱山労働者や開拓者に、小区画に分割した土地を販売しようとする土地投機家によってデンバーの区画整備が行われた。既存の採掘キャンプと季節限定のインディアン居留地の中央に位置していたこの町は、交易やビジネス、娯楽の中心として発展を遂げていった。

1861 年 2 月にコロラド準州が成立し、同年の 9 月には第 1 回目の立法議会がデンバーで開かれたが、この当時、下院と参議会(現在の上院)は別々の建物で議会を召集していた。同年 11 月、議会で承認された権限により、準州議会で州都をコロラドシティに置くことが可決された。翌年には第 2 回目の立法議会が召集されたが、議員の宿泊施設はまだ準備されていなかった。最初の議会はログキャビンで開かれたが、議員全員を収容するには狭すぎたため、議会の場所はホテルに移された。しかしその後もコロラドシティが正式に連邦司法省に承認されることはなく、市が政府関係者に必要な宿泊施設を提供することもなかった。

1862 年、議会で可決された法令を受けてゴールデンシティが準州の新しい州都として指定され、議会は引き続きゴールデンシティで開かれたが、実際には多くの関係者がデンバーに住み、業務を行っていた。そこで最終的に、議員全員の便宜を図るため州都をデンバーに移すことで合意が得られ、1867 年に正式に遷都された。知事の指示により 3 名の議員から成る州都建設委員会が結成されるとすぐに、地元の実業家から提供された 4 万 467 平方メートルもの土地を庁舎の建設に利用することが承認された。この土地は 1868 年に州に譲渡されたが、当時建設費用に充てられる予算はなかった。

1876 年にコロラド州が成立すると、新しい州憲法により州都を 1881 年の総選挙で選ぶことが決定した。この投票の結果、デンバーは他の立候補市と大差をつけ、引き続き州都の座を保つこととなった。最終的に、州の補助金により 1886 年 7 月に庁舎の建設が開始され、建設作業は 1908 年に完了したが、実際には 1894 年の 11 月から知事やその他の州関係者が庁舎を利用し始めていた。



参考資料

www.colorado.gov/dpa//doit/archives/cap/locate.htm

www.colorado.gov/dpa/doit/archives/cap/gold.htm

http://en.wikipedia.org/wiki/Denver%2C_Colorado

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

コネチカット州 ハートフォード (Hartford, Connecticut)

市創設: 1637 年
州都(首都)選定年: 1866 年
州都人口: 124,512
州都面積: 46.6 平方キロメートル

歴 史

これまでの長い歴史の中で、コネチカットの州都がハートフォードから移転することは一度もなかったが、コネチカットの政治体制が 1701 年から 173 年間にわたってニューヘイブンと二分化されていた期間は、この 2 つの都市に政府機能が分散されていた。

1623 年頃、コネチカットとパークリバーの合流地帯にあるフォートグッドホープに、オランダの毛皮商が交易所を建設したと言われているが、1654 年には売却されている。1635 年にイギリス人移住者が流入し始め、ニュータウンと呼ばれる地域付近に入植地を形成し、1637 年にハートフォードと改名した。

現在コネチカットと呼ばれるエリアにはもともと、ハートフォード中央のコネチカット植民地と、海外沿いのニューヘイブン植民地という 2 つの主要な植民地が存在していたが、1662 年にイギリス国王チャールズ 2 世によってこの 2 つの植民地は 1 つに統合された。また 1701 年から一部の庁舎がニューヘイブンに設立された。1662 年から 1701 年まではハートフォードとニューヘイブンに政府機能が分散していたものの、ハートフォードが唯一の州都であり、この期間中の州議会は必ずハートフォードで召集されていた。

1866 年、議会が任命した審査委員が州議会議事堂の場所を選出する「シングル キャピタル コンテスト」が始まった。ニューヘイブンは、州が 50 万ドルの建設費用を負担することを条件に用地の提供を申し出たが、ハートフォードは、州への資金提供を要求しない、ニューヘイブンよりも有利な条件を提示したため、議会の投票でハートフォードがコネチカット唯一の州都として選ばれた。その後、これに伴う憲法改正が批准され、1875 年に発効された。

1871 年、議会は州議事堂建設委員会を設立し、州の予算を庁舎の建設に割り当てた。庁舎は 1879 年 1 月に完成し、同月には州議会の開催場所として初めて利用された。

参考資料

www.cslib.org/statecapital.htm
www.hartford.gov/history/
http://en.wikipedia.org/wiki/Hartford%2C_Connecticut
http://www.ct.gov/ctportal/cwp/view.asp?a=885&q=246482

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

デラウェア州　ドーバー　(Dover, Delaware)

市創設: 1683 年（1717 年に合併）
州都（首都）選定年: 1777 年
州都人口: 32,135
州都面積: 58.8 平方キロメートル

歴　史

1704 年から、ニューキャッスルが植民地の中心地として栄えていたが、ニューキャッスルよりも治安が良いという理由から、ドーバーが 1777 年に州都として指定された。ドーバーがイギリス軍からさらに離れた南部にあり、より州の中心地に近いということも遷都の要因であった。

現在デラウェアのある地域には、もともとアメリカ先住民のレナペ族が住居しており、1609 年に最初のヨーロッパ人入植者が入ってきた際にも広範囲を占有していた。デラウェアの名前は、デラウェア湾に到達したサミュエル・アーゴール船長が、デ・ラ・ヴァール卿の称号にちなんで 1610 年に付けたものである。1631 年、最初のヨーロッパ人入植地が現在のルイス周辺に建設され、ズワンネンデルと命名されたが、翌年入植者を乗せた船がこの土地に入港すると、入植者は全員インディアンに殺され、建物はすべて焼失してしまった。

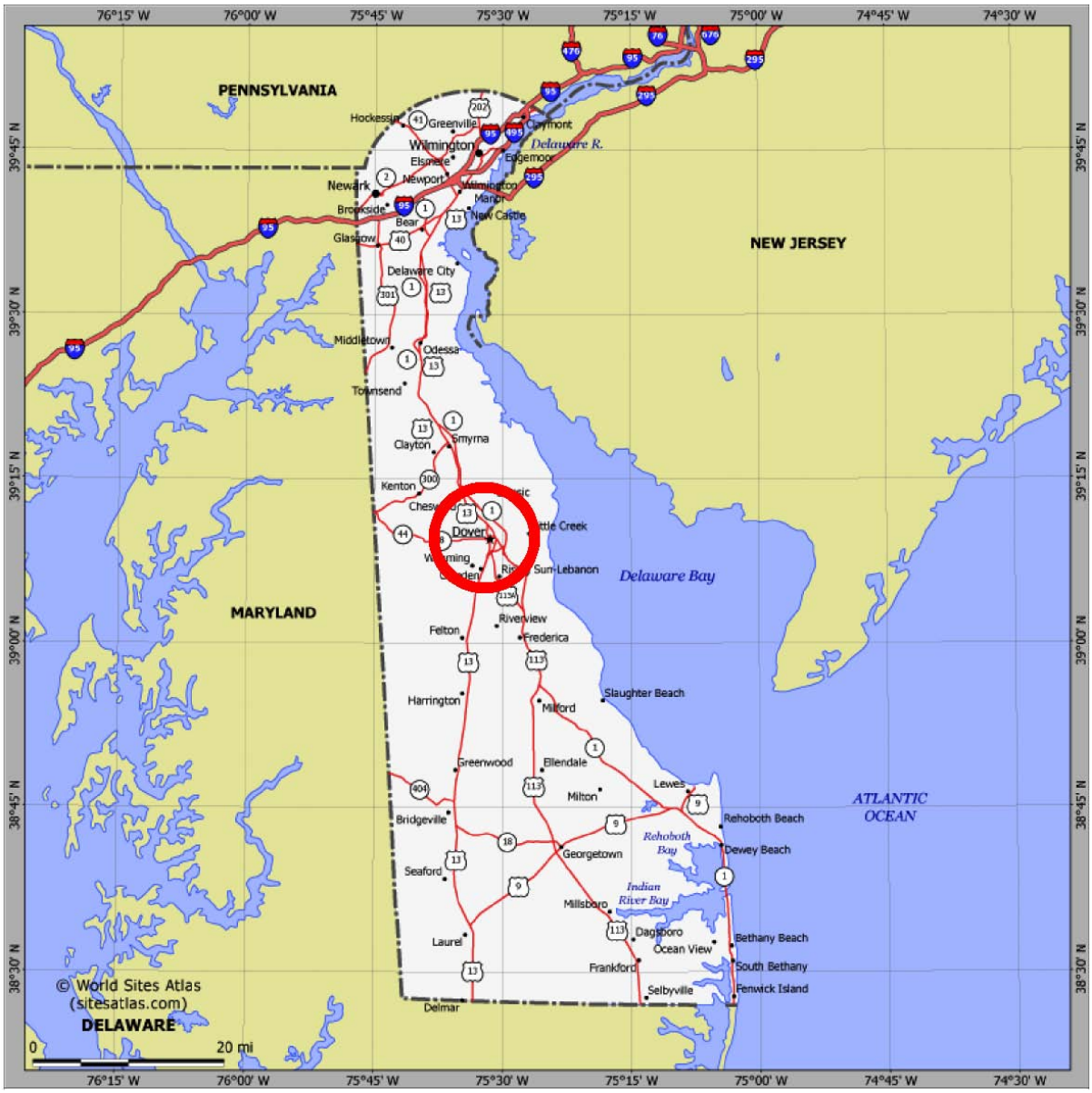
この地域の植民地化は、スウェーデン人が現在のウィルミントン付近に入植地を設立した 1638 年になって初めて進められるようになった。それ以降は、ヨーロッパ人の拠点拡大が進み、スウェーデン人とオランダ人の間で土地の所有権を巡る争いが繰り広げられた。オランダ人の開拓地、フォートカシミールがニューネザーランド植民地の首都となり、後に現在のニューキャッスル市となった。

1682 年、ウィリアム・ペンにこの地域の統括権が与えられたのをきっかけに、バルチモア卿との土地の境界線を巡る長い争いが幕を開けることになった。デラウェア市民はペンによる統治体制に不満を抱いていたため、1704 年、ペンは市民独自の議会をニューキャッスルに設立することを承諾した。1776 年、デラウェアはイギリスとペンシルバニア植民地からの独立を宣言し、より中心地に近い立地条件と治安の良さ、デラウェア川に駐留したイギリス軍から離れていることを理由に、翌年には州都がドーバーに移された。

従来、ドーバーの経済は農業に大きく依存していたが、その後、缶詰工場をはじめとして他の産業も著しい発展を遂げ、現在も小規模ながら落ち着いた、農村部の面影を残す州都となっている。

参考資料

http://portal.delaware.gov/facts/history/delhist.shtml
www.city-data.com/us-cities/The-South/Dover-History.html
www.newcastlecity.net/city_gov/nc_hist.html
http://en.wikipedia.org/wiki/Dover%2C_Delaware



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

フロリダ州 タラハシー(Tallahassee, Florida)

市創設: 1824 年
州都(首都)選定年: 1824 年
州都人口: 159,012
州都面積: 254.3 平方キロメートル

歴 史

タラハシー市は、当時北フロリダにあった 2 つの主要都市の中間地点という立地条件から、1824 年にフロリダ準州の州都に指定された。

フロリダ準州が創設された 1822 年当初、政府は大西洋に面した準州東端のセントオーガスティンとメキシコ湾に面した準州の西端に位置するペンサコラという、移動に 20 日以上の日数を要する 2 つの町で交互に議会を開催していた。この状況を打開するため、1823 年にペンサコラとセントオーガスティンの中間に位置する場所に新しい州都を設けることが州議会で決定された。最終的な場所の決定は、ペンサコラのジョン・リー・ウィリアムス氏とセントオーガスティンの W. H. シモンズ博士により、両町の中間にある広い野原に囲まれた滝の近くで行われた。1824 年に準州の知事によってタラハシーの区画整備が行われ、また同年に議会の決定を受けて周辺に郡が設けられると、タラハシーは郡都と州都としての役割を担うようになった。この地域には、多様な先住民や、1528 年に最初にこの地に入植してきたスペイン人開拓者が定住していたが、疾病や戦争の勃発により大半の住民がその命を落としていった。その歴史を背景に、この町には「古い土地」や「古い町」を意味する「タラハシー」という名前が付けられている。

タラハシーが州都に指定されたのを受け、1824 年には最初の議会を開会するために 3 棟のログキャビンが建設された。1826 年には複数棟から構成される予定であった木造の新議事堂の内一棟が完成したが、残りの建物が建設されることはなく、この棟も後に焼失した。その後、より豪華な議事堂が徐々に建てられ、州都を形成していった。1834 年にはタラハシーへの鉄道が初めて開通し、1845 年にフロリダ準州は 27 番目の州として合衆国に加盟した。1890 年代、州都をジャクソンビルまたはオカラ、セントオーガスティンのいずれかに移転させようという動きが盛んに見られたが、1901 年に行われたフロリダ市民の投票の結果、タラハシーが州都の座を維持し続けることになった。

参考資料

http://www.leg.state.fl.us/kids/history/index.html
http://www.talgov.com/gov/facts/history.cfm
http://en.wikipedia.org/wiki/Tallahassee%2C_Florida

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ジョージア州 アトランタ (Atlanta, Georgia)

市創設: 1838 年(1847 年に「アトランタ」として合併)
州都(首都)選定年: 1868 年
州都人口: 486,411
州都面積: 342.9 平方キロメートル

歴 史

これまでの長い歴史の中で、ジョージアの州都はサバンナ、オーガスタ、ルイスヴィル、ミリッジビル、アトランタと移り変わってきた。州都の場所を決定する上で最も重要な要因となったのは、白人入植者が沿岸部から北部へ向かって開拓を進め、インディアン居留地を占有していく上で、徐々に辺境を切り開ける場所にあるということだった。

ジョージアに最初の白人開拓者が入植したのは、大西洋岸を流れるサバンナ川の河口付近の土地をインディアンがジェームズ·オグレソープに譲渡した 1733 年のことである。この入植地は正式な政庁所在地ではなかったものの(権限は英国ロンドンの評議員会と国王に置かれていた)、オグレソープはこの町をサバンナと名付け、植民地化された最初の数年間、植民地統括の拠点とした。1754 年、ジョージアは直轄植民地となり、サバンナがその首都として指定され、イギリス総督及び立法議会、立法府はここで職務を遂行した。1776 年から革命政府の拠点がサバンナ市内に置かれたが、これを承認する正式な文書は存在しなかった。しかし 1778 年にはイギリス軍が政府の撤退を強制し、市内を制圧した。そのような不安定な状況下で、議会は 1780 年 8 月にオーガスタで召集されたが、間もなくオーガスタもイギリス軍に制圧され、再び撤退が要求された。政府はその後 1 年間、拠点を転々と移していたが、1781 年の春にはアメリカ軍がオーガスタの奪回に成功し、同年に新しい立法議会がオーガスタで召集された。イギリス軍がサバンナから撤退した 1782 年の夏まで、議会はオーガスタで開かれていたが、その後、エベニーザーで短期間議会を開催した後、同年 7 月に再びサバンナで召集された。

しかしこの頃から、議会の開催場所をめぐり、沿岸と内陸地域の住民間の対立が浮き彫りになり始めた。数年間にわたり、政庁所在地はサバンナとオーガスタに交互に置かれたが、2 つの都市間で会議を円滑に行うのは至難の業であり、家屋や酒場、集会所など不特定の場所で議会を開催せざるを得なかった。離婚や名義変更、橋や渡船場の建設承認、税金控除をはじめ、人口増加に伴って生じる様々な承認事項など、現在では裁判所で処理されるような案件も当時は議会が対応していたため、住民にとって州都へのアクセスは大変重要であった。1785 年の 2 月、オーガスタは準州で唯一の州都に指定されたが、その後間もなく、準州の中心から東寄りの立地が問題として提起されるようになった。1786 年 1 月、ジョージアの占有領域(主に州北部)の住民がアクセスしやすい州の中央に、新たな州都の建設地を探すために委員会が任命された。

委員会に権能を付与する際、議会はオギーチー川沿いにあるインディアンの古い交易所であるギャルフィントンから 32 キロ以内に新しい州都を設置するよう指定した。その後間もなく、1758 年に建設されたマーケットが建つ 3 つの道路の交差地点にその条件を満たす場所

が見つかり、「ルイスヴィル」と名付けられたが、様々な問題を理由に新しい州都の建設作業が延期されたため、その後 10 年間にわたり政庁所在地がオーガスタから移転されることはなかった。1796 年、庁舎となる 2 階建ての赤レンガ造りの建物が遂に完成したが、この周辺では辺境開拓が引き続き進められていたため、新しい州都はミリッジビルと名付けられた西寄りの町に建設されることになった。州政府は 1807 年にミリッジビルに移され、その後 60 年間にわたりこの町から移転されることはなかった。

アトランタ市は、古いインディアンの集落を流れるチャタフーチ川沿いの小さな入植地から誕生した。1838 年にチャタフーチ川とテネシー川を繋ぐ鉄道の建設が開始されると、当時スタンディングピーチツリーと呼ばれていた鉄道の起点地域はターミナスと改名された。1843 年、元州知事の娘（マーサ）に敬意を表し、ターミナスはマルサーズビルへと再び改名されたが、辺境の町の名前としては力強さに欠けるという理由で、あまり好評ではなかった。そこで 1847 年、この地域に開通したウェスタン アトランティック鉄道にちなんでアトランタという名前が選ばれた。その後数年間にわたり、アトランタはジョージア州最初の州都として、また南北戦争では南部連合国の首都となることを目指して積極的な活動を続けたが、どちらも実現することはなかった。1864 年のシャーマン将軍と北軍によるアトランタ市内の破壊進撃により南軍が撤退するまで、州都は依然としてミリッジビルに置かれていた。戦争が終結を迎えると待望の選挙が実施され、1865 年 12 月にミリッジビルで新たに議会が召集された。しかし、軍事政権はジョージアに制圧を加え、レコンストラクション[3]の間にアトランタに本部を設立し、1867 年にはアトランタで憲法制定会議が開催された。この会議で、アトランタ市は新しい州都を同市に置くよう請願し、議会や知事、最高裁判所、その他の関係者が利用する建物を 10 年間にわたり無料で提供すること、また新しい庁舎の建設用地を提供することを申し出た。1868 年 4 月、住民投票により、アトランタが新しい政庁所在地に指定され、同年 6 月にはすべての関連施設がミリッジビルからアトランタへと移された。7 月 4 日、現在の庁舎がある場所に建っていたアトランタ市庁舎とフルトン郡庁舎を併用した建物で最初の議会が召集された。

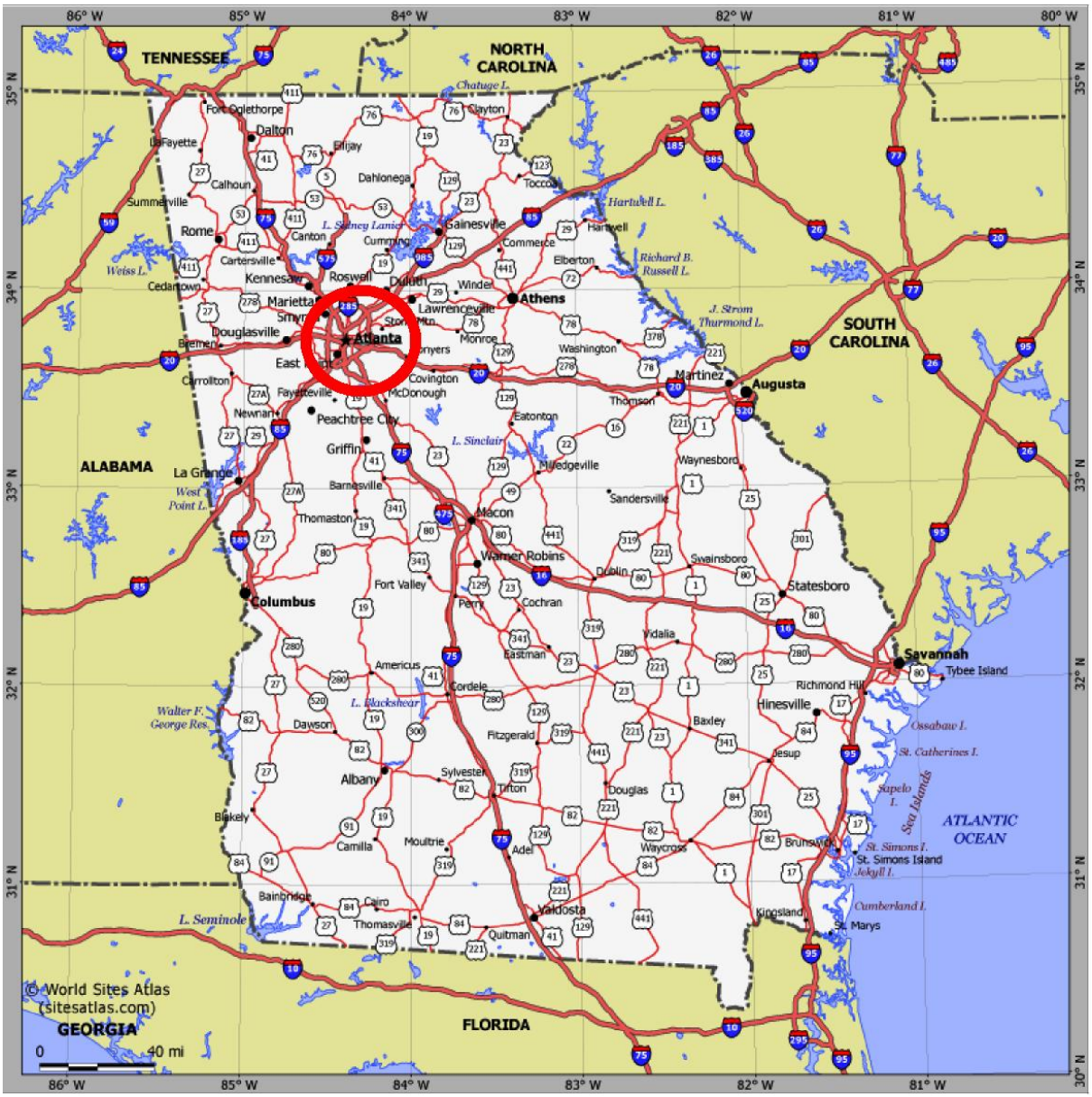
レコンストラクションの終結に伴い、多くの人々が州都をミリッジビルに戻すことを望んだが、1877 年に行われた投票の結果、アトランタを恒久的な政庁所在地とすることが改めて決定した。

参考資料

Carl Vinson Institute of Government, University of Georgia. “The Story of Georgia’s Capitols and Capital Cities”, Edwin L. Jackson;
www.cviog.uga.edu/Projects/gainfo/capital.htm

http://en.wikipedia.org/wiki/Atlanta%2C_Georgia

[3] アメリカ南北戦争によりアメリカ連合国と奴隷制システムが崩壊した後の問題を解決しようとする過程を示すアメリカ史用語



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ハワイ州 ホノルル (Honolulu, Hawaii)

市創設: 1795 年
州都(首都)選定年: 1850 年
州都人口: 377,357
州都面積: 272 平方キロメートル

歴 史

ホノルルは、1795 年のオアフ征服とハワイ諸島の統一により、カメハメハ 1 世の権力の拠点となり、ハワイと諸外国との交流が進むにつれて重要な港や交易所としての役割を担うようになった。またその後の後継政権も、ハワイの産業と政治的関心を掌握することを目的にすべてホノルルを拠点としている。

今からおよそ 1500 年前に先住民のポリネシア人がハワイ島に初めて定住し、18 世紀後半に西洋人が先住民を発見したときには既に各島で組織化された社会が形成されていた。オアフはジェームス·クック船長により 1778 年に発見され、その後 1794 年にウィリアム·ブラウンがホノルル港に初めて上陸を果たした。クック船長は支援者のサンドウィッチ伯爵にちなんでハワイ諸島をサンドウィッチ諸島と名付けたが、これらの島は先住民の国王によって統治されていた。国王の一人であるカメハメハ 1 世がハワイ島周辺の島々を征服し、ハワイ全土の統一を成し遂げたのは 1795 年のことである。カメハメハ大王はワイキキに宮殿を構え、ホノルルに港を設置して西洋諸国との交易を広げていった。

正式な統括権は各島の王や女王に付与されていたものの、大西洋の中央に位置するホノルルを利用しようと、島々は幾度にもわたってロシアやイギリス、フランスなどの諸外国に占領された。1893 年にはリリウオカラニ女王がアメリカ人実業家の団体と米海兵隊によって退陣させられ、ハワイ諸島は合衆国によって 1898 年に併合された。

1850 年、カメハメハ 3 世はホノルルを州都に制定することを宣言し、1907 年にアメリカが政権を奪取するとホノルルは市及び郡に昇格した。1959 年、ハワイは合衆国 50 番目の州となり、州都にはホノルルが指定された。ホノルルは創設以来、州内で最大の人口を誇り、今もなおハワイのビジネス、文化、政治の中心地として発展を続けているハワイ州唯一の市である。

参考資料

Bernice P. Bishop Museum Library, taken from:
www.city-data.com/us-cities/The-West/Honolulu-History.html

http://en.wikipedia.org/wiki/Honolulu%2C_Hawaii

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

アイダホ州 ボイシ (Boise, Idaho)

市創設: 1862～1863 年(1864 年に合併)
州都(首都)選定年: 1864 年
州都人口: 201,287
州都面積: 165.8 平方キロメートル

歴 史

政庁所在地の奪還を求めて数年にわたり戦い続けていたアイダホ北部の住民からの強い反対を押し切り、ボイシがアイダホ準州の州都として指定された。アイダホが州に昇格するまでの数年間、準州を分割し、その半分を近隣の準州に合併させようという動きが幾度となく繰り返されたが、最終的に合併問題は和解に達し、ボイシが準州及び州の州都として承認された。

現在ボイシのある地域はもともと、同市がある旧オレゴントレイル沿いのスネーク川北西部にハドソン湾会社が交易所を創立した 1834 年に白人が入植した地域である。1846 年に合衆国が同地域の管轄権を獲得するまで、イギリスと合衆国との間でその支配権を巡って争奪が繰り広げられたものの、ボイシ自体は、乾燥の厳しい周辺地域に比べ、森林に覆われた比較的過ごしやすいボイシ川沿いという恵まれた環境を背景に発展を遂げていった。ボイシはもともとフランス語で「木に囲まれた場所」を意味する「レボワ(Les Bois)」と呼ばれていた。

1862 年に近隣地域で金鉱が発見されると人口は一挙に増大し、アイダホが準州となった 1863 年には、陸軍によってボイシ陸軍駐屯地が建設された。アイダホ北西部に位置するルイストンがもともと準州の州都として選ばれていたが、1864 年にボイシが市に昇格すると同年にはボイシに州都が移転された。ボイシはさらなる金鉱の発見によりその後も引き続き発展を続け、1870 年にはアイダホ刑務所が設立された。
ゴールド ラッシュが終わると人口は著しく減少し、ボイシに残留した人々は、新しい経済発展の道を見出して町を守ろうと苦心したが、主要な輸送路から程遠いボイシの立地や、農業に適さない乾燥した気候などから、この取り組みは大変難航した。しかし用水路の建設により農業開発が実現し、経済的な安定を得ることができた。1890 年、アイダホは合衆国 43 番目の州となり、1920 年には庁舎が建設された。1925 年にはユニオン パシフィック鉄道がボイシに到達し、第二次世界大戦に先立って建設されたダムや貯水池により、同地域への水や電力の提供が行われた。

州都の設置場所を巡っては、早い段階から州の南部と北部の住民の間で激しい対立が生じ、またアイダホとワシントン DC との間で準州を 2 つに分割しようという動きも進んでいた。北部の住民は、州都がルイストンからボイシに移されたことに対して強い反対を示し、準州の北半分をワシントン又はモンタナに、南半分をネバダに合併するよう提案した。1887 年、議会での法案可決により、アイダホ南部はネバダ州に合併され、代わりの州都がネバダ州のカーソンシティとアイダホ州のボイシの中間に新たに設置された。しかし、クリーブランド大統領がこの法案に署名することはなかったため、この法案は白紙に戻された。また 1888 年、下院で準州分割の法案が可決されたものの、これも上院で棄却された。1889 年、準州北部に

アイダホ大学を設立することが決定すると住民の怒りは鎮まりを見せ、翌年にはボイシを州都とする州が成立した。

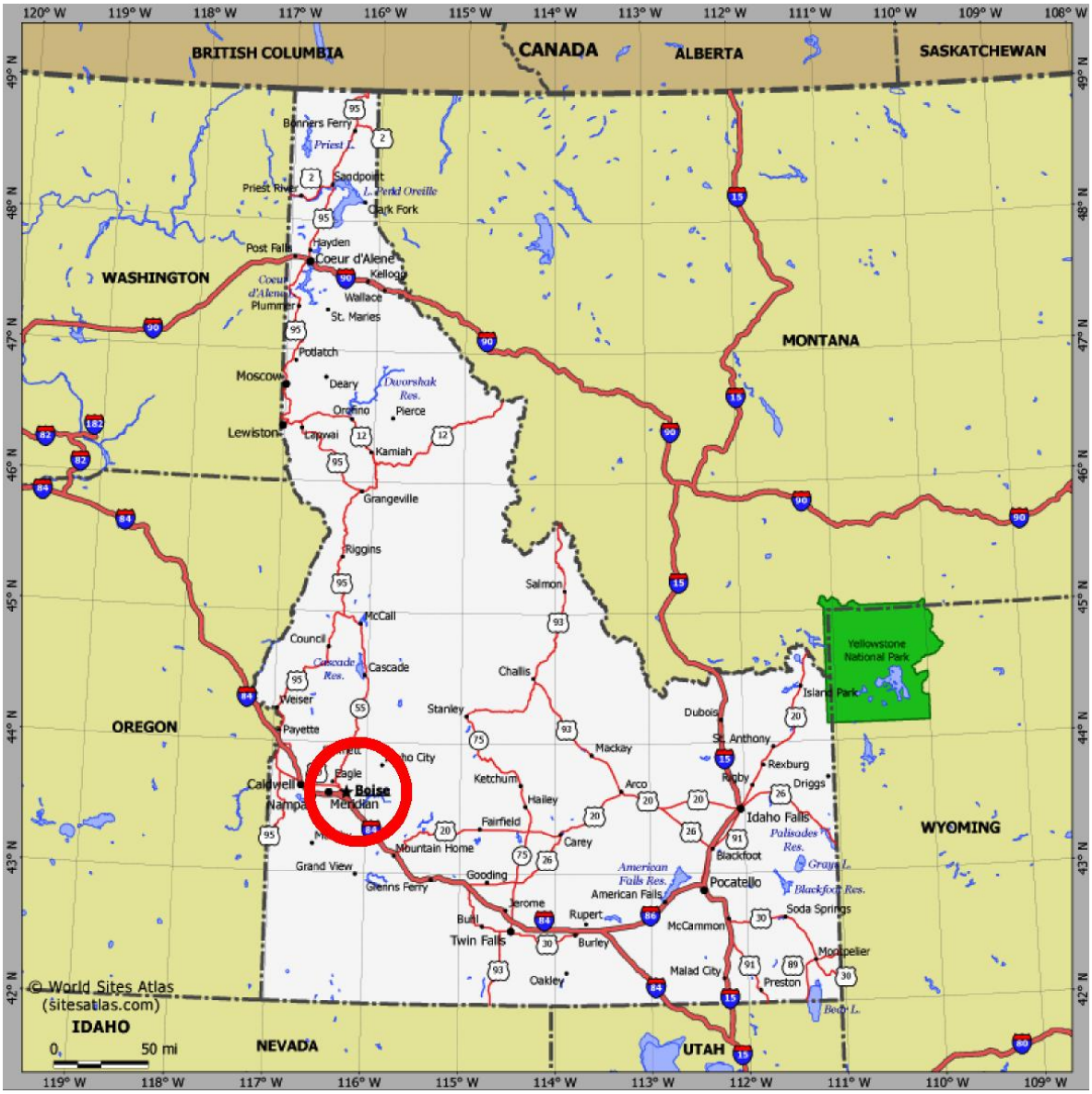
参考資料

http://en.wikipedia.org/wiki/Idaho

www.senatorhill.com/articles/statehood.htm

www.city-data.com/us-cities/The-West/Boise-History.html

http://en.wikipedia.org/wiki/Boise%2C_Idaho



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

イリノイ州 スプリングフィールド（Springfield, Illinois）

市創設: 1821 年（1832 年に合併）
州都（首都）選定年: 1837 年
州都人口: 116,482
州都面積: 156.2 平方キロメートル

歴 史

スプリングフィールドがイリノイ州の政庁所在地に決定する以前にも 2 つの都市が州都として定められたが、どちらも立地と施設不足を理由に遷都された。州昇格後の最初の政庁所在地は、ミシシッピ川沿いのカスカスキアという町にある賃貸商業ビルに置かれていた。その後、カスカスキアよりもさらに州中央に位置するヴァンダリアに移り、その後 40 年間は他の町へ州都が移転することはなかったが、数年間におよぶ努力の甲斐が実って、スプリングフィールドが恒久的な政庁所在地として制定された。

スプリングフィールド市にはもともと、サウスカロライナのジョン・C・カルフーン上院議員にちなんでカルフーンという名前が付けられていた。スプリングフィールドには 1818 年初めに毛皮の猟師や商人が入植し、1820 年に最初のログキャビンが建設された。また 1821 年にスプリングフィールドがサンガモン郡の郡都に指定されたのを機に、人口は増加の一途をたどっていった。1832 年、カルフーン上院議員の人気低下を背景に、市の名前はカルフーンからスプリングフィールドへと改名された。

州都がスプリングフィールドに指定されるまで、準州及び州の州都は数回にわたり移転を繰り返した。北西部領土の最初の州都は、1788 年にオハイオ州マリエッタに置かれたが、1800 年にはインディアナ準州が分割され、ビンセンズがその州都となった。現在イリノイ州のある地域に最初に置かれた州都はカスカスキアであり、1809 年にイリノイ準州に創設された。その後、1818 年にイリノイ州が合衆国に加盟するとカスカスキアが州都に指定され、賃貸料が 1 日 4 ドルの 2 階建ての建物を庁舎としたが、1820 年に州都がヴァンダリアに移転するとこの建物は売却され、1839 年まではヴァンダリアが州都として機能した。さらに、移転から数年後にミシシッピ川の大洪水が発生し、カスカスキアの町は壊滅的な打撃を受けた。1820 年、ヴァンダリアに最初の州議会議事堂が建設されたが、1823 年に焼失し、翌年には新しい議事堂が設立された。しかし、建物に欠陥が多発したため、1836 年に新たに議事堂が建設された。2 回目と 3 回目の建築費用はヴァンダリア市民から徴収されたが、2 回目の建設に充てられた費用はその後政府から返済された。しかし 3 つ目の建物にも様々な問題が発生したため、州都移転の動きに拍車をかける結果となった。

政庁所在地をヴァンダリアから移転させようという最初の試みは、2 番目の州議会議事堂の劣化問題が争点となっていた 1832 年から 1834 年の期間に行われた。州議会は 1834 年の選挙で、ヴァンダリア、ジャクソンビル、スプリングフィールド、オールトン、ピオリア、または「地理的な州の中心」のいずれかから次の政庁所在地を選択する住民投票を行った。第 1 候補がオールトン、そしてヴァンダリア、スプリングフィールドと続いたが、新しい州都の決定には議会の意見が優先されたため、住民投票の結果は無視され無効となった。

1837 年 2 月、新しい庁舎の建設に伴い、総額 5 万ドルの建設費と 8,000 平方メートル以上の不動産を市民から徴収し、さらにプロジェクト関連費用として 5 万ドルの州補助金を充てる法案が議会で可決され、数日後には政庁所在地を決定する両院合同会議が特別に開かれた。4 回におよぶ投票の結果、スプリングフィールドがすべての投票において最多数を獲得し、法律で規定される議員の過半数の支持を得て、新たな州都に制定された。

郡議会で法案が可決されたことを受けて、サンガモン郡は 1837 年 3 月に郡庁舎が建つ 1 万 120 平方メートルの公共広場を州に移譲した。新庁舎は 7 月 4 日に建設が開始され、1853 年に完成した。

スプリングフィールドでは新庁舎の建設費を捻出するため、5 万ドルの納入義務が住民に課された。しかし、折しも 1837 年に全米を襲った金融恐慌及び財政不況のため、これは多大な負担となり、最終的には町の裕福な住民が所属する複数の団体が 3 回に分けて納付することとなった。さらに州議会で、スプリングフィールドに対し、資金調達のために税を徴収し、債券を発行することを許可する法案が可決された。その結果、住民は債券を購入し、2.25%の固定資産税を納税することで、1837 年に 1 回目の納付を行った。2 回目の納付は 1838 年に、これも債券を発行することで行われた。3 回目の納付にあたっては、建設費用の負担に難色を示す住民や誓約を履行できない住民が増加したことから数件の訴訟が提起された。最終的に 3 回目の納付は、額面 1 ドル当たり 80 セントで発行したイリノイ州内開発債券（Illinois State Internal Improvement Scrip）を、州立銀行が 1 万 6,666 ドル 66 セント購入することで 1843 年に完済された。これらの支払いに伴い、様々な当事者が関与した一連の訴訟は 1845 年にすべて終結した。

現在の庁舎は、面積拡張の必要性を受けて 1868 年に建設が開始されたものである。工事が完了した段階で、旧庁舎はサンガモン郡に郡庁舎として売却され、現在では郡の史跡として保存されている。

参考資料

http://en.wikipedia.org/wiki/Illinois_State_Capitol

http://en.wikipedia.org/wiki/Springfield%2C_Illinois

“Springfield’s Acquisition of the Illinois Seat of Government, 1833-1845”, Patrick A. Pospisek. *Journal of the Illinois State Historical Society*, *(Spring – Summer 2006)*, pp. 8-18.

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

インディアナ州 インディアナポリス（Indianapolis, Indiana）

市創設: 1821 年（1832 年に合併）
州都（首都）選定年: 1821 年
州都人口: 785,597
州都面積: 963.5 平方キロメートル

歴 史

インディアナ州の州都となった 2 つの都市が州都として選ばれた理由として、州の中心に近い立地条件が挙げられる。最初の州都、コリドンは入植当初に人口の集中していたオハイオ川沿いに発展を遂げた都市で、多くの住民とって都合の良い位置にあったといえる。その後、白人入植者が廉価な農地を求めて州中央部に移住し始めたことを受けて、州の中心により近いインディアナポリスがその有利な立地条件から州都として選ばれた。

前節のイリノイ州の歴史でも触れたように、現在イリノイ州とインディアナ州に分割されている地域は、当初同じ首都を共有していた。北西部領土の最初の首都は、1788 年に指定されたオハイオ州のマリエッタであったが、1800 年にはインディアナ準州が分割され、ビンセンズがその州都となった。しかし、1809 年にイリノイ準州がインディアナ準州から分割されると、イリノイとインディアナ両地域の中心であったビンセンズが西部の州境となってしまったため、より便利な土地への州都移転を希望する声が高まった。移転先として様々な都市が候補に挙げられる中、最終的に選ばれたのがコリドンである。当時の商業活動の大部分は、人や物資の移動を支える主要航路のひとつであったオハイオ川沿岸で営まれていたため、州の中央にありオハイオ川に接したコリドンは最も優位な立地にあった。1813 年に正式に政庁所在地が置かれ、1814 年から 1816 年にかけて、後に大統領となるウィリアム・ヘンリー・ハリソンより寄贈された土地に庁舎が建設された（周囲の郡は同氏の名前に由来している）。1816 年 6 月にはコリドンに代表議員が召集され、1 代目の州庁舎として使用されていたログキャビンで初の州憲法が起草された。さらに同年 11 月に、第 1 回州議会が新州都で開催され、翌月にインディアナは合衆国 19 番目の州として承認された。

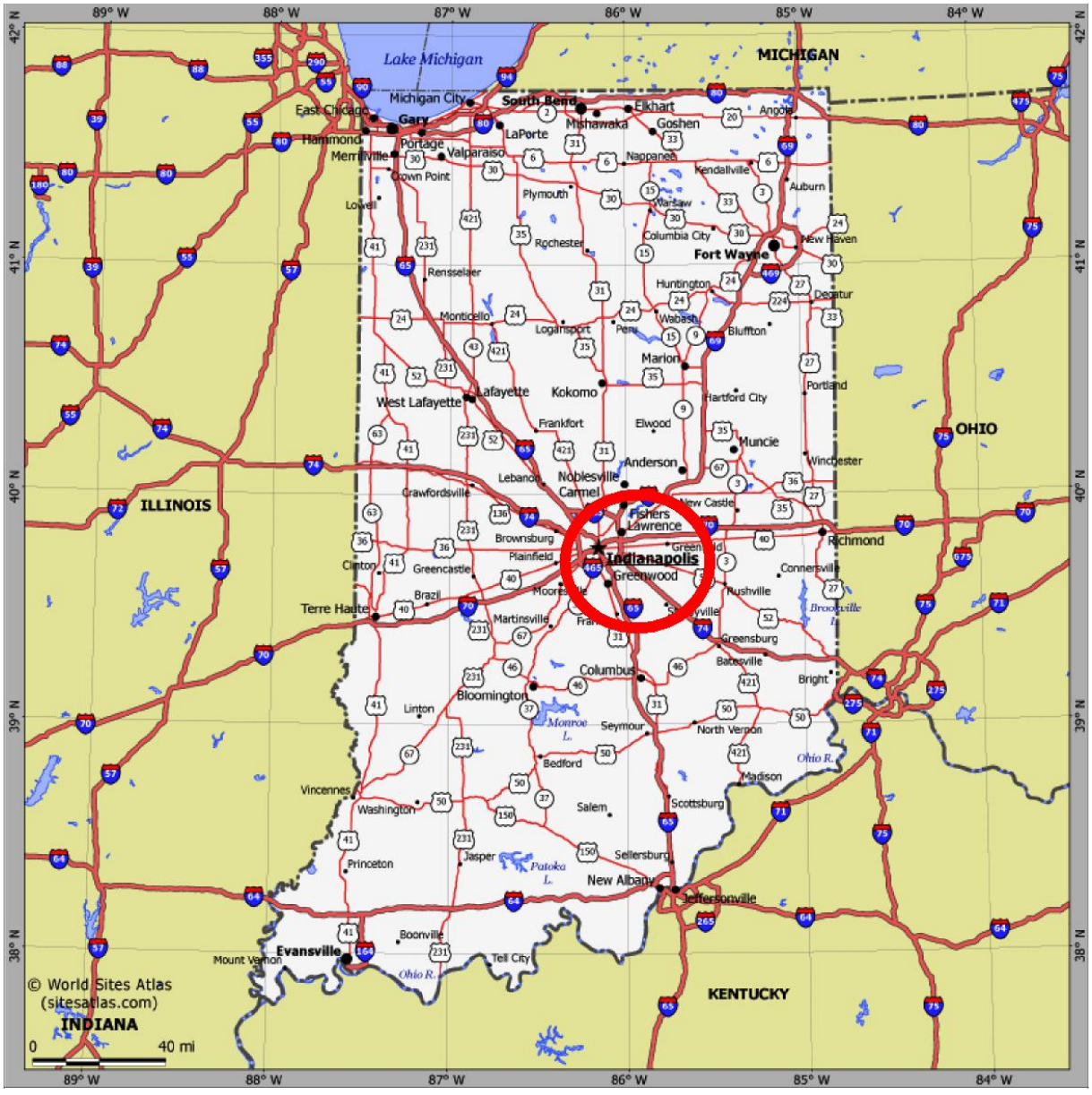
その後、主要水路から離れた内陸部により多くの入植者が移住するにつれ、州議会は州の地理的な中心にできるだけ近い地域に新州都を建設することを決定した。1820 年には新州都選定委員会が結成され、ホワイトリバー河岸で数十家族が生活するフォールクリーク入植地に建設地の候補が絞られた。

この候補地は、ひとつには州の地理的中心に近いということ、そしてもうひとつには輸送路としてホワイトリバーを活用できるということから 1821 年に議会で承認を受けた。こうして誕生したのがインディアナポリスで、その名称は州の名前「インディアナ」とギリシャ語の「ポリス（都市）」を組み合わせたものである。1 マイル（1.6 キロ）四方の土地を区画し（当時は町がこれ以上大きくなるとは誰も想定していなかった）、ワシントン DC の都市設計を担当した建築家が首都の設計を基に新たな都市建設に携わった。インディアナポリスで初の州議会が召集されたのは 1825 年のことで、当時の人口は約 600 人であったが、市に昇格した 1832 年には約 1,000 人に増加していた。ホワイトリバーの水深が浅く、航行に適さなかったため、成長

の速度は当初の期待よりも緩やかであったが、幹線道路と鉄道の重要な中継地点として発展を遂げた。
現在の州庁舎は 1888 年に完成したものである。

参考資料

http://en.wikipedia.org/wiki/Indianapolis%2C_Indiana
http://en.wikipedia.org/wiki/Corydon,_Indiana
www.city-data.com/us-cities/The-Midwest/Indianapolis-History.html
www.in.gov/ism/StateHistoricSites/CorydonCapitol/cor_hstsig.aspx



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

アイオワ州 デモイン (Des Moines, Iowa)

市創設: 1843 年(1851 年に合併)
州都(首都)選定年: 1857 年
州都人口: 193,886
州都面積: 199.9 平方キロメートル

歴 史

州として独立する以前、ルイジアナ買収の一部として統治されていたアイオワは、ミシガン準州、ウィスコンシン準州を経て、1837 年に単独の準州となった。最初の州都はバーリントンで、1841 年又は 42 年にアイオワシティに遷都された。他地域から多数の入植者が流入し、人口が増加し続けたため、準州の地理的な中心により近く、デモイン川河畔にあるデモインに州都を移転することが議会で決定した。

現在のアイオワ州北東部、イリノイ州北西部、ウィスコンシン州南西部にあたる地域は鉛鉱山と毛皮の交易で知られていたため、17 世紀後半から 18 世紀前半にかけて白人入植者が数多く移住するようになった。こうしてミシシッピ川沿いにコミュニティを形成しつつも、入植者はインディアンが所有する州内陸部の土地に進出することはなかった。

しかし、1843 年になると、連邦政府によってミシシッピ川からミズーリ川にかけての内陸地域の所有権が宣言され、土地が正式に開放される以前に入植を試みる白人入植者から同地域に住むインディアンを保護するため、デモイン川とラクーン川の合流地点の近くに砦が築かれた。しかし 1845 年には砦は一転して、インディアンを一掃し白人入植者に土地を開くための拠点として使用されることになった。

砦には当初、およそ 100 人の兵士をはじめ、鍛冶屋や家具職人が駐留し、交易所も備えられていた。その他宿屋もあり、公用で訪れた旅人に食事と宿を提供していた。

しかし 1846 年には砦は放棄され、建物は一般の入札者に売却された。既に建物や道路、橋が建設されていたため、初期の入植者は多大な利益を享受したといえる。デモイン川を渡るフェリーの運航が開始されると、さらに西へと向かう大勢の入植者が町を通過するようになった。デモインに定住した人の多くは、町を訪れた入植者に食料や工具といった必需品を提供する商売に携わった。政府もまた、1853 年から 56 年にかけて地方公有地管理局を運営し、同地における事業展開を奨励した。

デモインは隣接するウォーレン郡の 4 つの郡区を併合し、1846 年に郡都として正式に制定された。これにより、デモイン砦がポーク郡のさらに中心に位置するようになった。これらの郡区は後に返還されたが、州都は依然としてデモインに残された。

イリノイ州やインディアナ州と同様に、アイオワ州もかつて広大なひとつの領土に属していたが、その首都は常々後にアイオワ州となる地域からは非常に離れた場所にあった。同地域はルイジアナ買収の一部として、1765 年から 1821 年までセントルイスの統治下に置かれていた。合衆国に売却された後、同地域はまずルイジアナ準州の一地区となり、その後ミズーリ準州に組み込まれることになった。ミズーリが州に昇格した 1821 年以降、アイオワは「郡」と

準州の編成の波にさらされ、1836 年にはウィスコンシン準州の一部として併合された。州都は当初ベルモント（現在のウィスコンシン）に置かれたが、1837 年に現在のアイオワ州にあたるミシシッピ川の西岸、バーリントンに移転された。準州議会は同年、現在のアイオワからダコタ、ミネソタに及ぶ川の西岸地域を独立したアイオワ準州として認可するよう連邦議会に要請し、この要請が承認されると、翌年には新たな準州が誕生した。

インディアンが退去した後の草原地帯に移住する入植者が急増したため、1839 年にはさらに内陸部での新州都の選定が開始された。その結果選ばれたのがアイオワ川河畔の地域である。アイオワシティと名付けられたこの町には、1842 年に新庁舎が建設され、政府機能が正式に移転された。アイオワは 1846 年に州に昇格するが、西方への移住は留まることを知らず、住民の利便性の点から、州の中心に州都を再度移転する必要が高まった。議会での投票の結果、いくつかの候補地の中からデモインが選出され、1857 年に制定された新州憲法により政庁所在地をデイモンに置くことが正式に決定された。現在の庁舎は 1871 年から 1886 年にかけて建設されたものである。

参考資料

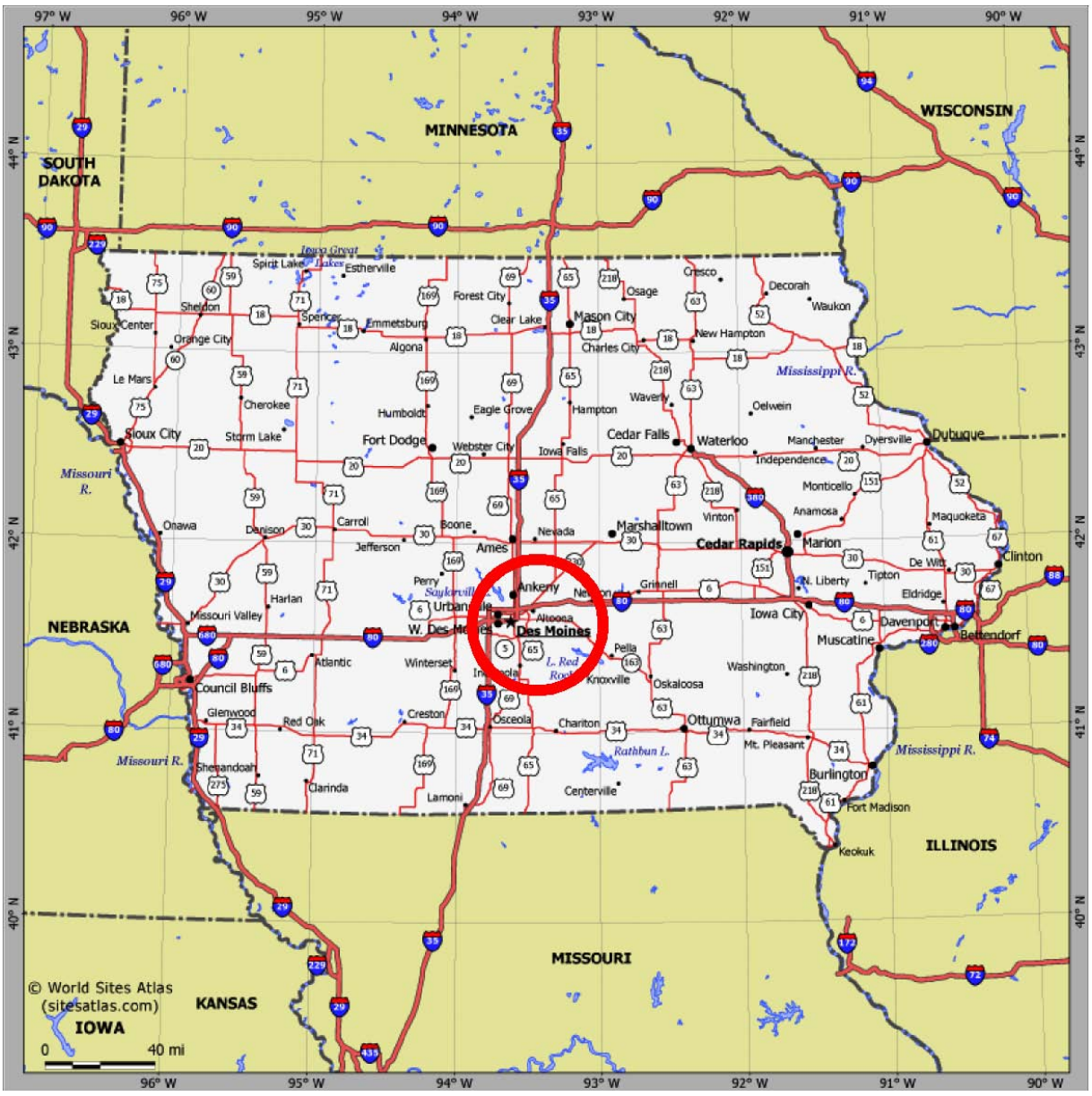
http://iagenweb.org/history/moi/MOIChp2.htm

http://www.uni.edu/iowaonline/prairievoices/images/Territory_and_Statehood_of_Iowa.pdf

http://iagenweb.org/history/soi/soi34.htm

www.desmoinesriver.org/saga6.htm

www.uiowa.edu/~osa/learn/historic/hisper.htm



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

カンザス州 トピカ (Topeka, Kansas)

市創設: (1857 年に合併)
州都(首都)選定年: 1861 年
州都人口: 122,113
州都面積: 147.6 平方キロメートル

歴 史

カンザス準州では、北部の自由州(奴隷制度廃止派)と、ミズーリ川一帯の奴隷州(奴隷制度擁護派)の対立にはさまれ、準州としての 7 年の短い歴史の中で何度も州都を移転することを余儀なくされた。最終的には「自由州」が勝利し、「奴隷州」のミズーリ川一帯から離れた東部のトピカに政庁所在地が置かれた。その後、州都を地理的な中心に移転しようとする試みが何度もなされたが、それらが実現することはなかった。

1827 年には、インディアンが所有する西部辺境沿いに建設された一連の砦のひとつであるレブンワース砦がミシシッピ川の西岸に築かれた。1841 年になると、ミズーリ川河畔のカンザスシティから太平洋に向かってオレゴン トレイルを辿る入植者を乗せた幌馬車隊が現在のカンザス州を通過するようになった。1842 年に現在のトピカに移住したフランス系カナダ人の兄弟が現地部族の女性と結婚し、カンサ川を渡るフェリーの操業を開始すると、同地域への白人入植者の移住が加速した。インディアンはさらに西へと追われ、1854 年 5 月に成立したカンザス ネブラスカ法により同地域は白人入植者に正式に開放された。

同法ではレブンワース砦が政庁所在地として指定されたが、1861 年に州に昇格するまでの 7 年間に州都は数回移転を繰り返した。当時、政庁所在地は政府指導者の決定次第でいつでも移転でき、ショーニーミッション、パウニー、レコンプトン、ミネオラ、ローレンスの各都市に一度ないしは数回置かれた。また、カンザスでは奴隷制度のあり方を巡って、「奴隷州」と「自由州」の支持者間の対立が深まり、ついには流血事件にまで発展した。そして州都は奴隷制度擁護派/廃止派の盛衰に呼応して、「奴隷州」であるミズーリ川一帯から遠い地域へと移転を繰り返すこととなった。

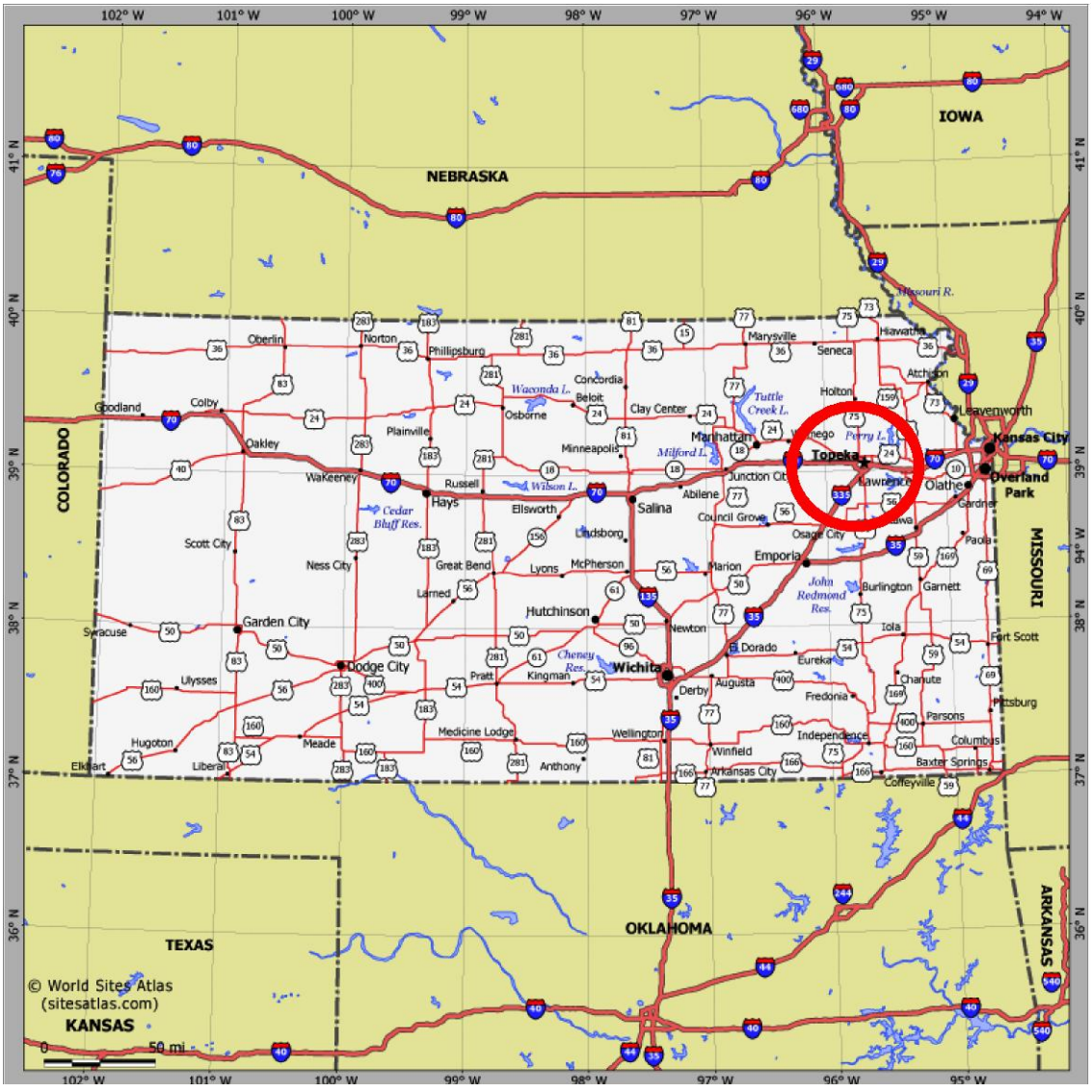
カンザスは、北部の州や準州から入植してきた「自由州」派と、ミズーリ川一帯を占有していた「奴隷州」派の戦いの場となり、「奴隷州」と「自由州」のどちらとして合衆国に加盟するかを決定する法律の制定と住民投票に際しては、自らに有利な情勢となるよう両派が凌ぎを削った。選挙ではそれぞれの派閥が形成され、奴隷制度の是非を問う住民投票が実施されたが、あまりの混乱に、最初の 3 回の投票はすべて連邦議会で無効と見なされた。両者の対立に決着が付いたのは 1861 年 1 月のことで、「自由州」派が州憲法草案を作成し、連邦議会の承認を経て正式に採択した。これにより、カンザス州は南北戦争の直前に「自由州」として合衆国に加盟することになった。

1861 年 11 月に実施された投票では、ローレンスや他の候補地を退け、トピカが州都に決定した。翌年 2 月には、「自由州」派の指導者のひとりであったサイラス・K・ホリディが、庁舎の建設用地として 8 万 940 平方メートルの土地を州に寄贈した。庁舎は南北戦争の終

結後、1866 年から 1903 年にかけて段階的に建造された。
　過去には州都を州の地理的な中心に移転させる取り組みも見られたが、いずれも失敗に終わっている。

参考資料

http://www.kshs.org/places/firstterritorial/index.htm
http://www.governor.ks.gov/Facts/kscapitol.htm
http://en.wikipedia.org/wiki/Topeka%2C_Kansas
http://www.kshs.org/portraits/oregon_trail.htm
http://en.wikipedia.org/wiki/Kansas_Territory
http://www.historyplace.com/lincoln/kansas.htm



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ケンタッキー州 フランクフォート (Frankfort, Kentucky)

市創設: 1786 年
州都(首都)選定年: 1792 年
州都人口: 27,741
州都面積: 38.9 平方キロメートル

歴 史

現在ケンタッキー州と呼ばれる地域はもともと、バージニア州の一部としてウィリアムズバーグ及びリッチモンドの統治下に置かれていた。1792 年に州に昇格するにあたり、ケンタッキー川河畔にあるフランクフォートが州都として指定され、現在に至っている。

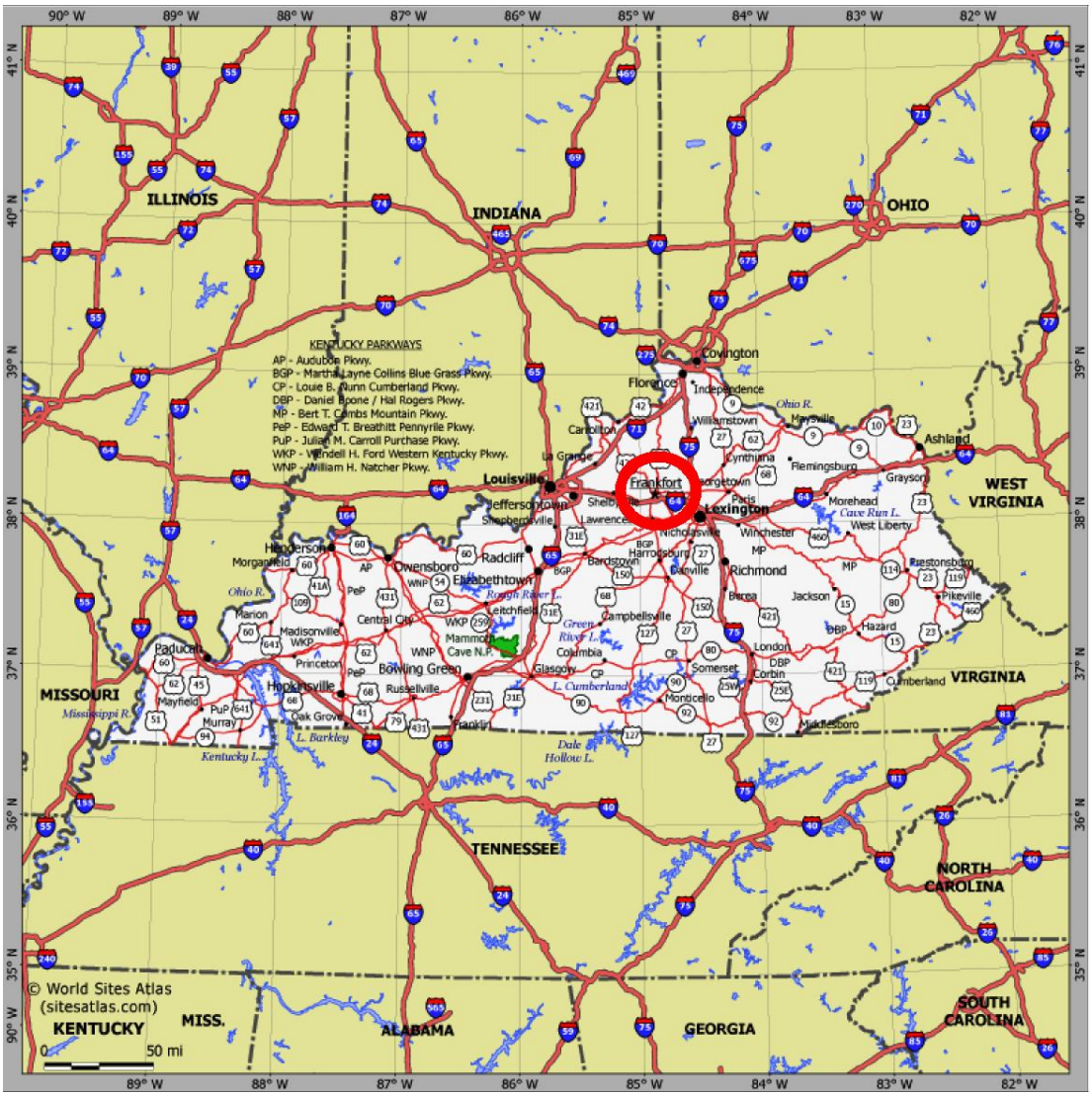
イギリスの探検家がケンタッキー北部を訪れ始めたのは、1750 年代初頭のことである。開拓及び入植当初、現在ケンタッキー州である一帯は英国植民地の一部であり、後にバージニア州に併合された。当時はウィリアムズバーグが州都であったが、1780 年にバージニア州と西部領域の政庁所在地は、より中心地に近いリッチモンドに移転された。

古くは 1780 年から独立を嘆願していた西部の入植者たちは、バージニア州の一部であることに不満を抱くようになり、1792 年、ついに合衆国 15 番目の州として独立を果たすと、同年には新州都の候補地選定を開始した。選定委員会が結成され、数々の候補地を検討した結果、フランクフォートが政庁所在地として指定された。その理由は一説には、地元有力者のジェームス・ウィルキンソンが、自らが所有するログキャビンと町内の用地、錠や蝶番、ガラス、釘といった資材、そして 3,000 ドル相当の資金提供を申し出たためと言われている。

フランクフォートはもともと、インディアンと白人入植者が利用していたトレイルに沿ってケンタッキー川一帯に建設された砦のひとつを中心に形成された町であった。町の名前は、1780 年のインディアンとの戦いで、砦又はその周辺で戦死したステファン・フランクにちなんでいる。当初は「フランクさんの渡り場(川が浅いところ)(フランクズ・フォード)」と呼ばれていたが、時とともに省略され現在の「フランクフォート」になった。バージニア州議会は、1786 年にウィルキンソンがケンタッキー川北部に購入した、約 1 平方キロメートルの土地のうち、約 0.5 平方キロメートルをフランクフォートの町として制定した。1792 年にはウィルキンソンが寄贈したログキャビン、1793 年には木造の建物が庁舎として使用されたが、1794 年には政府補助金と市民からの寄付金を基に総工費 3,500 ドルで建設された 3 階建ての石造りの建物に移転した。この建物は 1813 年に焼失し、その後、新たな庁舎が幾度か州の補助金で建造された。現在の庁舎の建設は 1906 年に始まり、総建設費 200 万ドルには州及び連邦政府の補助金が充てられた。

参考資料

http://en.wikipedia.org/wiki/Frankfort%2C_Kentucky
http://frankfort-ky.gov/frankfort-history.html
http://www.kdla.ky.gov/resources/kycapitol.htm



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ルイジアナ州 バトンルージュ (Baton Rouge, Lousiana)

市創設: 1699 年
州都(首都)選定年: 1846 年
州都人口: 229,553(2006 年推計)
州都面積: 198.9 平方キロメートル

歴 史

フランス人探検家、ピエール・ル・モアン・ディベルヴィルが、現在バトンルージュと呼ばれる地域を訪れたのは 1699 年のことである。ディベルヴィルは、現地のインディアンが他部族の狩猟場との境界を示すために木に魚や熊の頭などを吊るした「レッド スティック」を目撃し、その衝撃を書き残している。この「レッド スティック」をフランス語に訳した「バトンルージュ」がそのままこの地域の地名になったと言われている。

1718 年、フランス政府はニューオーリンズから北に向かう旅人を保護するために、この地に砦を建設した。七年戦争(1756～1763 年)の終結に伴い、同地域はパリ条約でイギリスに移譲され、「ニューリッチモンド」と改名された。さらに植民地とイギリスの間で勃発した独立戦争では、スペイン軍がフォートビュートでイギリス軍を撃破し、1779 年にバトンルージュを占拠した(ルイジアナはその後スペイン領総督ベルナルド・デ・ガルベスの下、植民地化された)。

このように、バトンルージュと西フロリダは合衆国内におけるスペイン植民地の一部となったが、1810 年には住民が反乱を起こし、西フロリダ共和国として独立を宣言した。西フロリダ共和国はマディソン大統領に対してルイジアナとの併合条件の交渉を要請したが、政府はルイジアナ買収(1803 年)の条項で同地域はルイジアナの一部として規定されているとして交渉を拒否した。間もなく、この独立した共和国はルイジアナに併合され、ルイジアナ準州の一部となった。併合直後の 1811 年には、1807 年から存在したイーストバトンルージュ郡が正式に成立し、1812 年 4 月 8 日にルイジアナ準州は合衆国への加盟を果たした。

バトンルージュは 1817 年に市に昇格した。ルイジアナ準州時代、州都はニューオーリンズに置かれていたが、北部への主要中継地点として蒸気船が寄港するバトンルージュの重要性が高まったため、1845 年に制定された州憲法に従い、1846 年に政庁所在地がバトンルージュに移転された。庁舎建設中は、政府機能はニューオーリンズに戻されたが、1849 年に再度正式にバトンルージュが政庁所在地として指定された。「諸州間の戦い」(南北戦争)最中の 1862 年 8 月、バトンルージュにおける 3 度目の戦闘がハドソン港で勃発した。1 万 8,000 人の北軍が 6,000 人の南軍を破ったこの戦いは、アメリカ軍の歴史の中で最も長い包囲戦として知られている。戦争終結後、州都はシュリーブポートに移転されたが、1880 年にバトンルージュに戻され、現在に至っている。

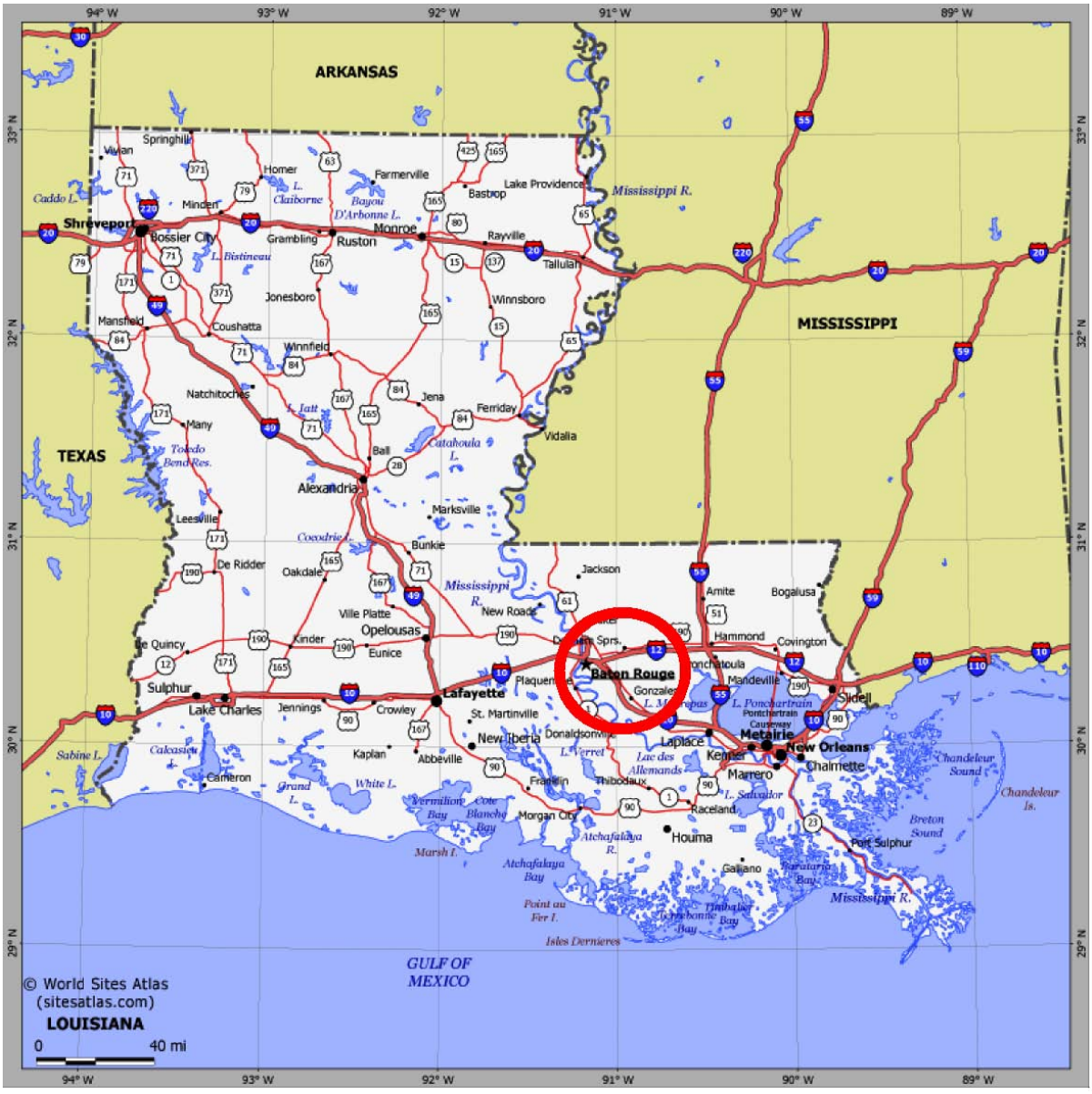
参考資料

Baton Rouge Area Convention & Visitors Bureau, 'Baton Rouge: Its History and Politics', http://www.visitbatonrouge.com/about/historypolitics/
City-Data.com, 'Profiles of U.S. Cities,

http://www.city-data.com/us-cities/The-South/Baton-Rouge-History.html

City of Baton Rouge, 'Our City-Parish Government', http://brgov.com/aboutus.htm (last updated, January 2008).

Liter, C. P., 'History of Baton Rouge', found in Karen's Forgotten Residents of East Baton Rouge Parish, http://members.cox.net/awise110/batonrouge.htm



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

メイン州 オーガスタ (Augusta, Maine)

市創設: 1607 年
州都(首都)選定年: 1832 年
州都人口: 18,560(2006 年推計)
州都面積: 143.5 平方キロメートル

歴 史

オーガスタはもともとインディアンの言葉で「コウシノク(Koussinoc)」と呼ばれていた。ケネベックパテントと呼ばれる地域(オーガスタを含む一帯)に民政政府が設立されたのは、1654 年になってからだった。1661 年から 1730 年頃にかけて、この地域は確固たる収入源の欠如と絶え間ないインディアンの蜂起といった問題に直面し、開発が遅々として進まなかった。1754 年にようやく誕生したオーガスタ最初の入植地はフォートウェスタンと呼ばれ、1764 年時点の人口は推定 100 人であった。記録に残っている最初のタウンミーティングは 1779 年で、議題は「牧師の招聘」のための資金 200 ポンドの承認であった。1797 年、フォートウェスタンはフォートとフックという 2 つのコミュニティに分離し、それぞれ独立した町となった。フォートの町は自らハリントンと称したが、アメリカ独立戦争の兵士であり、連邦議会でメイン地区代表議員を務めたヘンリー・ディアボーンの娘、パメラ・オーガスタ・ディアボーンにちなんで同年にオーガスタと改名した。1800 年には人口が 1,216 人に到達し、裁判所や刑務所など自治体としての基本的な施設がすべて設置されていた。メイン州は 1819 年の州議会における投票で、293 対 49 の大差でマサチューセッツ州からの分離が決定し、1820 年に成立したミズーリ協定の一環として分離が実施された。なお、分離後、1820 年のメイン州の人口は 2,547 人であった。新たなメイン州議会で制定された最初の法令は、オーガスタ公共図書館の統合であった。1827 年 2 月 24 日に、州議会でオーガスタを州都とする法令が可決された。

州議会が新しい州議事堂に移転した 1832 年まで、実質的にはポートランドが州の政庁所在地として機能していた。州の中心により近い土地が望ましいという声が高まったことが移転の主な理由であった。

参考資料

Brunelle, Jim, 'A Brief History of Maine', Extracted from *Maine Almanac (1980)*

City of Augusta, *Augusta's Beginnings*, http://www.ci.augusta.me.us/about.html

Maine State Legislature, *A Brief History of the Maine State House*, http://www.maine.gov/legis/lawlib/sthousehistory.htm

MSN Online Encarta Encylopaedia, *Augusta (Maine)*, http://encarta.msn.com/encylopedia_761557675/Augusta_(Maine).html

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

メリーランド州 アナポリス (Annapolis, Maryland)

市創設: 1648 年
州都(首都)選定年: 1694 年
州都人口: 36,408(2006 年推計)
州都面積: 17.4 平方キロメートル

歴 史

アナポリスの初期の入植者は、1649 年頃にバージニアから移住したピューリタンが中心で、シバーン川を隔てた現在のアナポリスの対岸にプロビデンスという入植地を建設した。やがて南岸の、より防御の堅い港に移り住んだピューリタンは、南岸の入植地を「タウン オブ プロテクターズ」と呼び、後に「タウン アット シバーン」と改名した。町はその後、植民地を所有していたバルチモア卿の妻の名を取り、「アン・アランデルズ タウン」と呼ばれるようになった。1670 年になると、アナポリス側の入植地は奴隷貿易の拠点として目覚しい成長を遂げた。1694 年にカソリック教を掲げる植民地政府が倒されると、フランシス・ニコルソンがイギリス総督として任命された。ニコルソンはニューイングランド自治領の総督であったエドマンド・アンドロス卿に仕えた経験を持ち、その後ニューヨークの副総督(1687～1869 年)、ニューヨーク総督(1689～1690 年)、バージニア総督(1690～1692)を経て、メリーランド総督(1694～1699 年)に就任した。ニコルソンは植民地の首都移転に着手し、セントメアリーズシティからアナポリスに遷都した。アナポリスという名前は 1702 年に英国女王に即位したアン女王にちなんだものである。アナポリス市のウェブサイトで、「アメリカのアテネ」として知られていたと紹介されているように、この町は文化活動の中心として高度な社会秩序を維持しており、社交界が発達するなど洗練された知的風土が培われていた(1696 年にはセント ジョンズ カレッジが創設されている)。1783 年 11 月 26 日から翌年 6 月 3 日にかけては、連邦議会の開会中に合衆国の暫定首都がアナポリスに置かれた。1786 年には第 1 回憲法制定会議がアナポリスで開かれたが、5 つの州の委員のみで構成されていたため、第 2 回会議を 1787 年にフィラデルフィアで開催することを決議し閉会した。このようにアナポリスは商業の中心として発展を遂げたが、大洋航海が可能になると、港の水深がより深く、大型船に対応できるバルチモアの商業的重要性が高まり、中核都市としての地位をバルチモアに譲った。

1634 年の植民者の移住から 1689 年まで、州都はセントメアリーズシティに置かれていた。メリーランドは第 2 代バルチモア男爵のセシル・カルバートに付与された土地であった。セシルの父、ジョージ・カルバートはジェームス 1 世の下で国王秘書長官を務めた。国王はその功績を称え、ジョージに新たな植民地であるメリーランドの広大な領地を与えた。メリーランドの名は、ローマン カソリックを信仰し、1542 年から 1567 年までスコットランドを統治したメアリー女王の名前から取ったと言われている。バルチモア男爵もカソリック教徒であったが、プロテスタント教徒を雇用し、新植民地の建設を進めた。このような背景から、メリーランドは英国国教会の信仰を強制しない「自由州」であると自ら宣言した。このカソリック教徒とプロテスタントの対立が、後の 1689 年にカソリック教色を強めた 3 代目バルチモア卿への反乱を引き起こすことになった。この事件をきっかけに、イギリス本国から総督に任命、派遣されたフランシス・ニコルソンは、1695 年に両派閥の対立を解消するために、カソリック教徒が過半数を占めるセントメアリーズシティからアナポリスに州都を移転することを決定した。しかし 1704 年には同植民地の宗教が英国国教会に統一され、「植民地内におけるカソリック教の拡大防止法(An Act to Prevent the Growth of Popery within this Province)」により、この地の基本原則であった信教の自由が制限されることになった。

参考資料

City of St. Mary's, *History*, at http://www.stmaryscity.org/History.html

Sullivan, Dr. Martin, *Showdown at the State House*, at http://www.stmaryscity.org/History/Showdown_at_the_State_House.html

Annapolis and Anne Arundel County Conference and Visitors Bureau, at http://www.visitannapolis.org/index.asp?action=explore

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

マサチューセッツ州 ボストン (Boston, Massachusetts)

市創設: 1630 年
州都(首都)選定年: 1630 年
州都人口: 590,763(2006 年推計)
州都面積: 125.4 平方キロメートル

歴 史

ボストンという名は、イギリスのリンカンシャー州にある町の名前に由来している。マサチューセッツ州ボストンの最初の住民がこの町からの入植者であったというのがその理由である。イギリス国教会の腐敗を「浄化する(purify)」という信念から、「ピューリタン」と呼ばれたこれらの人々は、イギリス国教会から分離することなく、内部からの改革を志していた。しかし、17 世紀初頭になると、現在の社会情勢ではイギリスを離れる他に、自らの思想をイギリス国民に実証する手段はないと考えるようになった。ピューリタンがイスラエル王国時代のエルサレムになぞらえ、ボストンを「丘の上の町」として宣言したのは、この信念が根底にある。ピューリタンのイギリスからの移住は 1629 年、マサチューセッツ湾会社の創設者として知られる、チャールズ 1 世による土地特勅権の売却によって実現された。通常の勅許では会社から税を徴収するために、知事や行政官がイギリス国内に残ることが義務付けられていたが、幸いなことにイギリスを離れることを決意したピューリタンは、マサチューセッツ湾会社に与えられた特勅権にイギリス国内に残るという義務が含まれていなかった。こうして誕生したボストンは、港湾として理想的な立地から、ニューイングランドで最大かつ最も重要な港町として繁栄していった。特勅権は 1684 年に失効し、ボストンは 1630 年以来初めてイギリスの統治下に置かれたが、(フィラデルフィアを含む)植民地における文化の中心地としてさらに目覚しい発展を遂げた。アメリカ初の大陪審が 1635 年にボストンで召集され、さらに、最古の学校、ボストン ラテンスクールが 1635 年に、全国初の大学、ハーバード大学が 1636 年、郵便局が 1639 年に設立された。また、1674 年には最初の銀行設立免許が下り、1690 年には最古の新聞が発行されたが第 1 回発行後に禁止された。

当時、ボストンが植民地はもとより合衆国の首都としても理想的であることは明らかであり、州都候補地として他の都市が検討されたことは一度もなかった。さらに、アメリカ独立戦争の引き金となったボストン周辺でのボストン茶会事件やボストン大虐殺といった一連の出来事が、植民地全域で最も重要な都市としての地位を決定付けることになった(18 世紀終わり頃にはフィラデルフィアが台頭し、ボストンと競い合った)。

参考資料

Boston Historical Society, *History of the Old State* House, at
http://www.bostonhistory.org
City-Data.com, *Boston: History*, at
http://www.city-data.com/us-cities/The-Northeast/Boston-History.html
Lovested, Brandon Gary, *A Tale of Two Bostons*, at
http://www.iboston.org/mcp.php?pid=taleOfTwoBostons
Wikipedia, the Free Encyclopedia, *Boston*, at
http://en.wikipedia.org/wiki/Boston%2C_Massachusetts

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ミシガン州 ランシング（Lansing, Michigan）

市創設: 1840 年代
州都（首都）選定年: 1847 年
州都人口: 114,276（2006 年推計）
州都面積: 90.7 平方キロメートル

歴 史

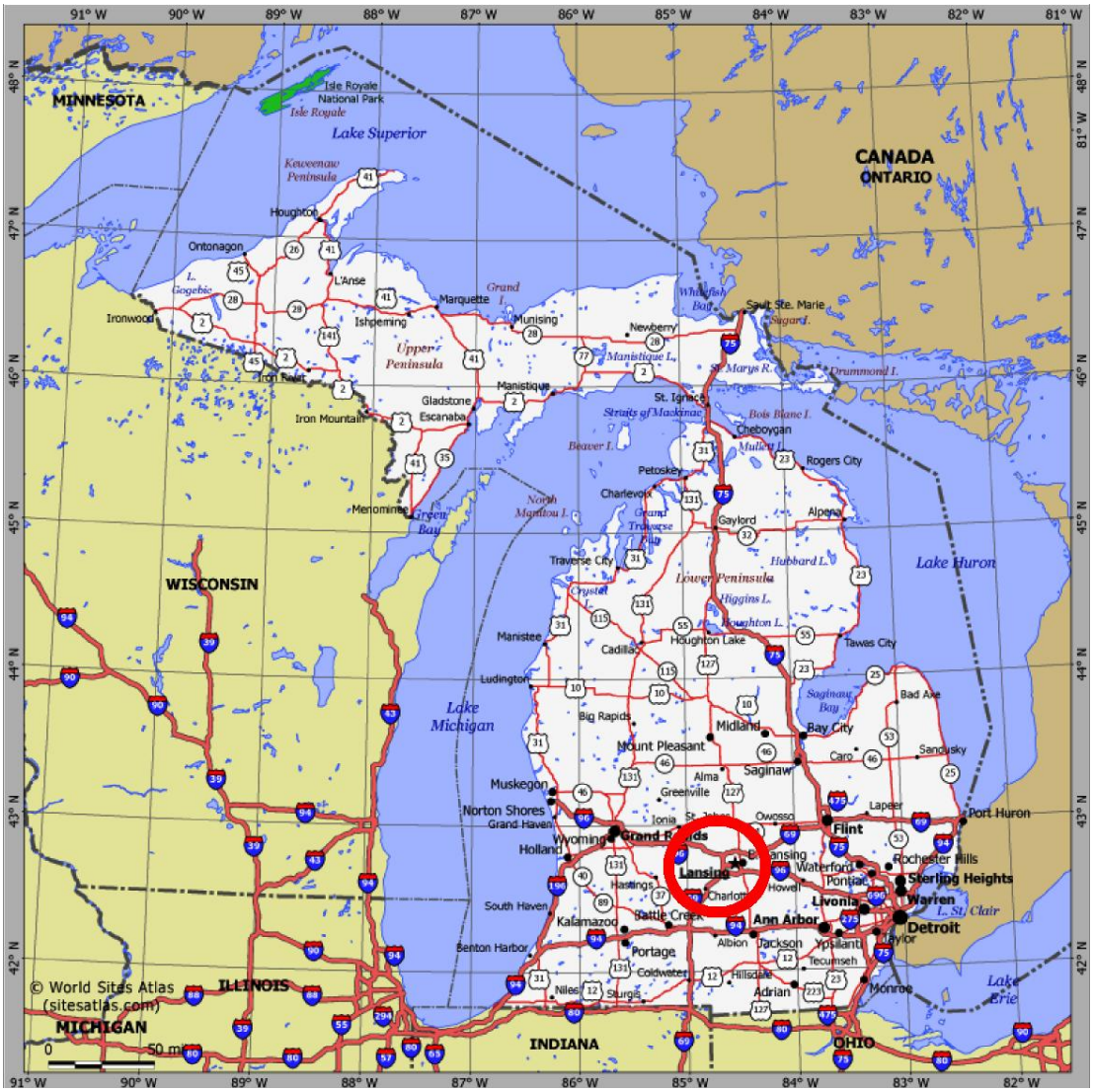
ミシガン州は中西部の入植地として他の地域より発展が大きく遅れていた。1610 年の探索から 1763 年まで、この地はフランス領として統治されていたが、七年戦争後の 1763 年に締結されたパリ条約でイギリスに譲渡された後、1783 年にはアメリカ独立戦争後のパリ条約で、その所有権はイギリスから合衆国に移譲された。しかし、イギリスがパリ条約に反して引き続き土地を占有したため、実質的に同地域が合衆国に引き渡されたのは 1796 年のこととなった。当時は北西部領土の一部と見なされていたが、1802 年にインディアナ準州に組み込まれた後、1805 年にミシガン準州として独立した。1816 年には南部の一部がインディアナ準州に付属することになったが、1818 年と 1834 年に連邦議会で領域の拡大が決議され、現在のミシガン州、ウィスコンシン州、アイオワ州、ミネソタ州、そしてダコタ州の大部分を含む広大なものとなった。1819 年には代表者を連邦議会に送ることが許可された。1836 年のウィスコンシン準州の創設と、1837 年のミシガン準州の州昇格承認を受けて、現在の領域に落ち着いた。ミシガン州は早くも 1832 年から州政府を組織し、州昇格許可を申請していたが、港湾都市トレドを含むトレド ストリップの主権を巡ってオハイオ州と対立していたため、議会により却下された（両州の民兵が衝突したこの対立は、トレド戦争として知られている）。最終的にミシガン準州は州昇格の承認と、アッパー半島西部の 4 分の 3 の領土と引き換えに、トレド ストリップの所有権を放棄した。

最初の州都はデトロイトである。1832 年当時、庁舎は準州の裁判所内に設置されており、1848 年まで同裁判所内に州議会と州政府が存在していた。1835 年に制定されたミシガン州憲法では州都について、「1847 年に議会で恒久的に制定されるまで、デトロイト又はその他の都市、もしくは法律で規定された都市を同州の政庁所在地とする」と記している。デトロイトは州都としての地位を維持しようと必死であったが、州都をカナダ国境から離れた州の西部に移転させ、内陸部の人口増加を図る案が強く支持されていた（デトロイトは 1812 年の英米戦争で一時占領されたことがあった）。州議会では、アナーバーやジャクソン、グランドラピッズなどの候補地に対して、慎重な審議が重ねられた。インガム郡の上院議員、ジョセフ・キルボーンが、当時はまだ居住者の少なかったランシング郡区を推薦したところ、アナーバーの北、デトロイトの西、グランドラピッズの東という立地から、理想的な妥協案として採択された。1847 年に木造庁舎が急造され、翌年 1848 年に州議会がランシングに設置された。

参考資料

American Local History Network, *History of Michigan*, at
http://www.usgennet.org/usa/mi/state/mihis.htm
Encarta, Online Encyclopedia, *Lansing*, at
http://encarta.msn.com/text_761570427___0/Lansing_(Michigan).html
State of Michigan, *Constitution of 1835*, at
http://www.legislature.mi.gov/documents/historical/miconstitution1835.html

Wikipedia, the Free Encyclopedia, *Boston*, at
http://en.wikipedia.org/wiki/Michigan_State_Capitol



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

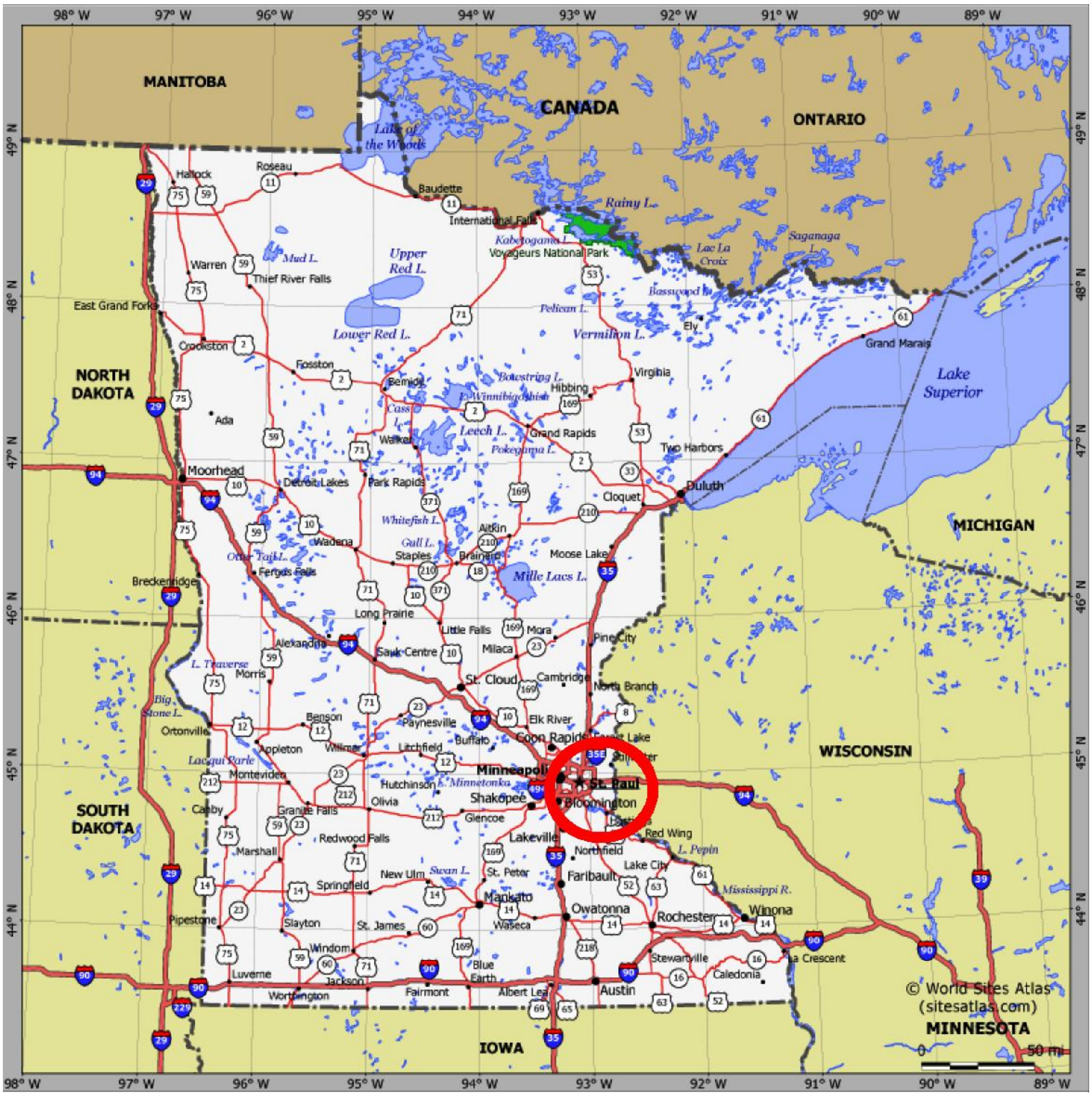
ミネソタ州 セントポール (St. Paul, Minnesota)

市創設: 1838 年頃
州都(首都)選定年: 1847 年
州都人口: 273,535(2006 年推計)
州都面積: 136.8 平方キロメートル

歴 史

ミネソタに最初に訪れたヨーロッパ人は、フランスの毛皮商で 1600 年代のことである(ダルースの都市名は、ルース卿の名前に由来している)。当時、ミネソタには様々な部族が居住しており、18 世紀になると数多くの調査団が結成され、州内の探索が進められた。1700 年代にはスペインからフランス、イギリス、最後にアメリカと所有権が移譲され、ミネソタにとって激動の時代となった。ミシシッピ川以東の土地はすべて、1783 年に合衆国に割譲されたが、これには現在のセントポールとミネアポリスの一部分が含まれていた。州の残りの大部分は 1803 年のルイジアナ買収で取得され、1818 年のアングロ アメリカン会議で北緯 49 度が合衆国の北部国境として定められた。19 世紀前半、ミシガン州北東部は北西部領土、イリノイ準州、ミシガン準州、ウィスコンシン準州の一部であった。セントポールへの最初の入植者は、北西ルートで太平洋を目指していたジョナサン・カーヴァーである。カーヴァーは 1766 年にインディアンの墓地(現在ではインディアン マウント パークと呼ばれている)を発見した。ミシシッピ川とミネソタ川の合流地点にスネリング砦が建設(1819 年)されると、入植地の治安と利便性は以前よりも改善されたが、住民はスネリング砦周辺の連邦政府の所有地から移転を求められた。こうして新たに形成された入植地は、「豚の目(Pig's Eye)」という異名を持っていた酒商人、ピエール・パラントにちなんで「ピッグズ アイ」と呼ばれるようになった。しかし 1841 年にルシアン・ガルティア神父が入植地の教会に自らの守護聖人(聖パウロ)の名前を冠し、入植地の名前とするよう住民を説得したことから、入植地の名前は 1847 年にセントポールに改められた。その後セントポールはミネソタ準州の州都として指定され、町に昇格した。1854 年に都市憲章を授与されたセントポールは、諸州間の戦い(南北戦争)の開始時には人口 1 万人の都市に発達を遂げた。

ミネソタが州に昇格したのは 1858 年のことだが、州都の選定についてはそれ以前から熾烈な攻防が繰り広げられていた。既に述べたとおり、ミネソタ準州の州都はセントポールであったが、1857 年にはセントポールからセントピーターに州都を移転させようとする試みがなされた。これは準州知事、ウィリス・A・ゴーマンの発案で、準州議会内の法案支持者はゴーマンの所有地に庁舎を建設することを望んでいた。一説には、知事は「州都がセントポールに留まれば、自分にとって準州は何の価値もない」と語ったと言われている。また、セントピーターは地理的な中心に近いため、準州西部の議員にとって利便性が高いと考えられた。法案は上下両院で可決され、当然知事の承認も得たが、まずは登録委員会(Enrolment Committee)を通過する必要があった。しかし、理由は定かではないが、委員会の議長ジョセフ・ロレットが立法議会の残りの期間中(およそ 1 週間)、法案を文字通り持ち逃げし、通過が不可能な閉会直前になって返却したため法案は流れてしまい、現在に至っている。



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

参考資料

City-Data.com, *St. Paul*, at http://www.city-data.com/city/St.-Paul-Minnesota.html

Minnesota Hist. Soc., *Minnesota Quarterly*, at http://www.mnhs.org/market/mhspress/MinnesotaHistory/index.html

Nicollet County, *About Nicollet County*, at http://www.co.nicollet.mn.us/about.php3

Wikipedia, the Free Encyclopedia, *Minnesota*, at http://en.wikipedia.org/wiki/Michigan_State_Capitol

ミシシッピ州 ジャクソン（Jackson, Mississippi）

市創設: 1821 年
州都（首都）選定年: 1822 年
州都人口: 176,614（2006 年推計）
州都面積: 271.7 平方キロメートル

歴 史

フレンチ インディアン戦争（1754～1763 年）の終戦後、イギリスはスペイン領フロリダとフランス領カナダを領有し、その後フロリダを東西 2 つの領土に分割した。西フロリダには現在のミシシッピの南半分が含まれる。実質的な入植地は誕生していなかったものの、イギリス側は一刻も早い入植を望んでいたため、この地域に居留する 3 つの主要なインディアン部族と同盟を結んだが、入植はなかなか進まなかった。西フロリダの初代知事であるジョージ・ジョンストンは、ペンサコラを政庁所在地に選び、ここに民政政府を創設したが、ジョンストンは住民の間で支持が低かったため、1767 年にジョージ 3 世によって解職された。その後、短期間にわたって紛争が起こったが、1770 年にピーター・チェスターが 5 代目の州知事に就任すると、この地の安定性も回復の兆しを見せた。知事を務めた 11 年の間、チェスターは商業よりも農業を奨励し、ミシシッピ川東岸の開発に注力した。その一環として、住民の定住化を推進するために土地の供与も実施された。アメリカ独立戦争が勃発すると、安息の地を求めて多くの愛国者がフロリダ州に流入し、皮肉にも、この戦いをきっかけにフロリダは著しい発展を遂げていくことになる。アメリカ軍の領土制圧により、合衆国政府に対する強い反感が根付いたフロリダは諸外国にとって格好の標的となり、スペイン軍は苦戦することなく領土獲得に成功した。独立戦争の終戦後、合衆国は五大湖と北緯 31 度線の中間に位置するミシシッピ川東岸を領土として主張した。スペインはアメリカ側の要求の受け入れを拒否したが、最終的にはサンロレンソ条約（1795 年）の条項に合意して 1798 年に撤退し、同年にはミシシッピ準州が成立した。

フロリダの最初の準州都として、当時、大規模な開拓集落を形成していたナチェズが指定された。庁舎はまだ建設されていなかったため、知事や議員は民家など利用可能な場所で議会を開いていた。共和党員と連邦主義者との間で政治対立が生じると、州都はナチェズから 9.6 キロ東に離れた小さな集落であるワシントンに移転された。1817 年にミシシッピが州に昇格すると、州都は再びナチェズへと移されたが、議会は依然として一般の民家で開かれていた。1821 年まで、州都を州の中心地に移転させようという動きが見られたため、まずコロンビアを州都に制定し、その後、恒久的な政庁所在地を決定する 3 人の選定委員を編成した。州の中心に近い航行可能な川沿いという条件を基に、委員たちはパールリバー沿いにあるルフルールズブラフと呼ばれるエリアを選んだ。議会はこの提案を承認し、合衆国大統領のアンドリュー・ジャクソンに敬意を表してジャクソンと名付けられたこの町の開発計画を進めるよう指示した。1822 年 12 月 23 日に新しく建設された庁舎で議会が召集された。

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

参考資料

Bunn, Mike and Clay Williams, 'Capitals and Capitols: The Places and Spaces of Mississippi's Seat of Government', *Mississippi History Now*, Mississippi Historical Society, at http://mshistory.k12.us/index.php?s=articles&id=76

City-Data.com, *Jackson*, at http://www.city-data.com/city/Jackson-Mississippi.html

City of Jackson, *Jackson's History*, at http://www.jacksonms.gov/visitors/history

ミズーリ州 ジェファーソンシティ (Jefferson City, Missouri)

市創設: 1821 年
州都(首都)選定年: 1821 年
州都人口: 39,274(2006 年推計)
州都面積: 70.7 平方キロメートル

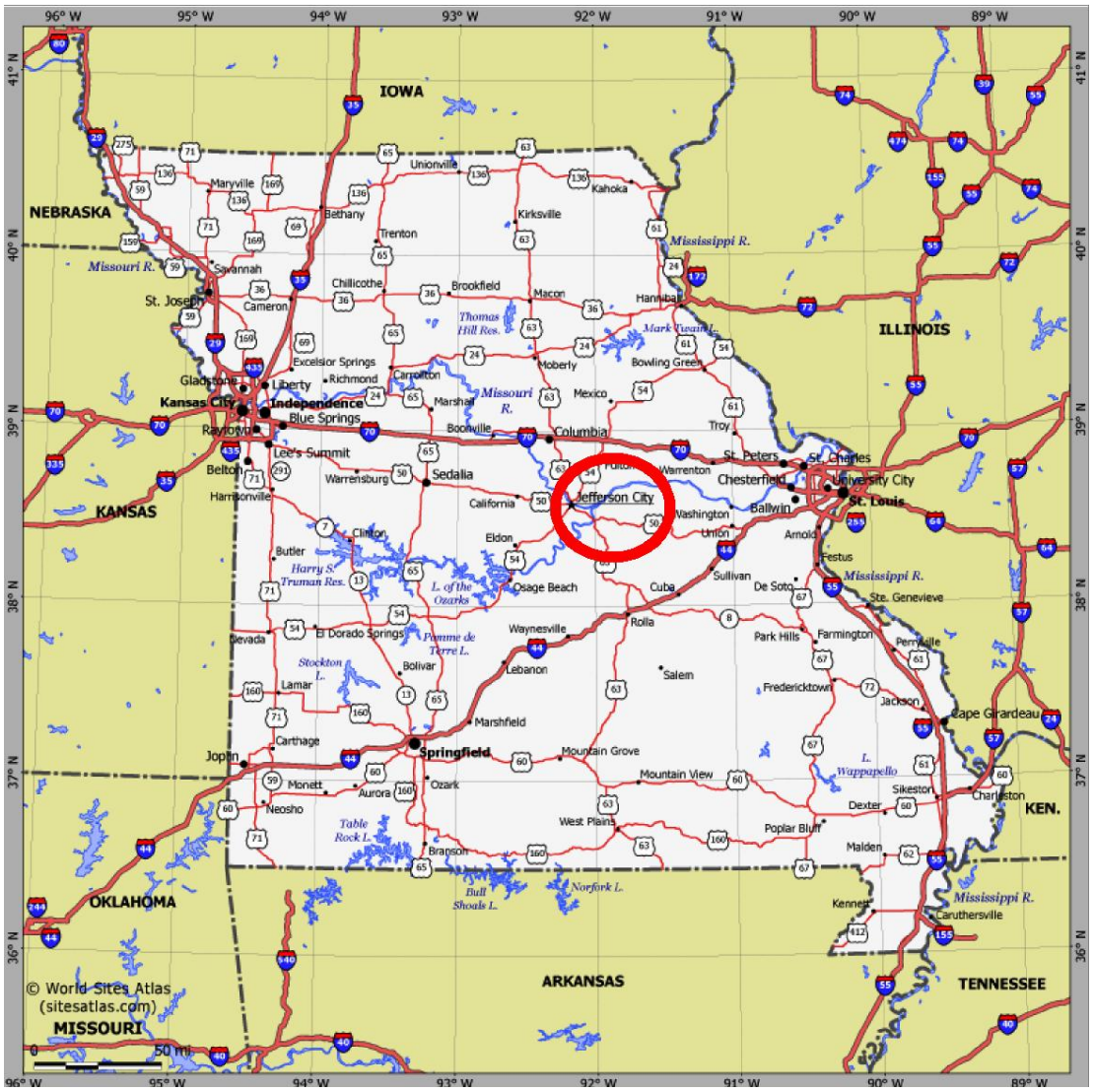
歴 史

ヨーロッパからの入植者が初めて中西部に到着した当初、現地の先住民はオサゲ インディアンと呼ばれていた。ミズーリ川の調査は、1673 年から 2 人のフランス人によって進められており、1682 年にラ・サールはミシシッピ川を下って探検を進め、ミシシッピ全体をフランス領として宣言した。最初の恒久的な入植地はフランス領(1740 年代後半に創設されたセントジュヌビエーブ)で、2 番目の入植地も 1764 年に誕生したフランス領のセントルイスだった。1789 年になると、スペイン人がニューマドリードから北のセントルイスに向かって道路(現在のハイウェイ 61)を建設した。1800 年初期にダニエル・ブーンが「リック トレイル」(現在のハイウェイ 70)を建設し、1821 年にはサンタフェ トレイルが開通した。

1812 年、ミズーリ準州の最初の州都としてセントルイスが指定された。ミズーリの合衆国への加盟は奴隷州と自由州の政治論争の争点となったが、最終的に、ミズーリ準州の合衆国加盟後の奴隷州(奴隷制度を認める州)と自由州(奴隷制度を禁止した州)の均衡を保つため、メインがマサチューセッツから分離する形となった。これを受けて、新議会は直ちに州都推薦委員会を設置した。コロンビア特別区の設置が南北間の妥協で誕生したのと同様に、州都を決定する際には東西間の歩み寄りが図られた。その結果 1821 年に、東部のセントルイスと西部のカンザスシティの中間にある小さな交易所であるローマンの上陸地が州都として選定された。後にジェファーソンシティ(この名はジェファーソン大統領に由来する)と呼ばれる地域に政府施設を建設する間、暫定的にセントチャールズが州都として機能していた。1826 年、ジェファーソンシティが政庁所在地として指定されたが、10 年程度で州都を移転させるよう議会に働きかける動きが一部の町で出ていたため、ジョン・ミラー知事はジェファーソンシティの州都としての基盤を固めることを目的に、1832 年、同市内に州刑務所を設立した。刑務所の建設は 1836 年に完了したが、翌年、庁舎が全焼するという事故が発生した。

参考資料

City-Data.com, *Jefferson City*, at
http://www.city-data.com/us-cities/The-Midwest/Jefferson-City-History.html
City of Jefferson, *History*, at http://www.cityofjefferson.net/home/history.htm
State of Missouri, Office of the Secretary of State, *State Archives*, at
http://www.sos.mo.gov/archives/history/timeline/



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

モンタナ州 ヘレナ (Helena, Montana)

市創設: 1864 年
州都(首都)選定年: 1875 年
州都人口: 27,885(2006 年推計)
州都面積: 36.3 平方キロメートル

歴 史

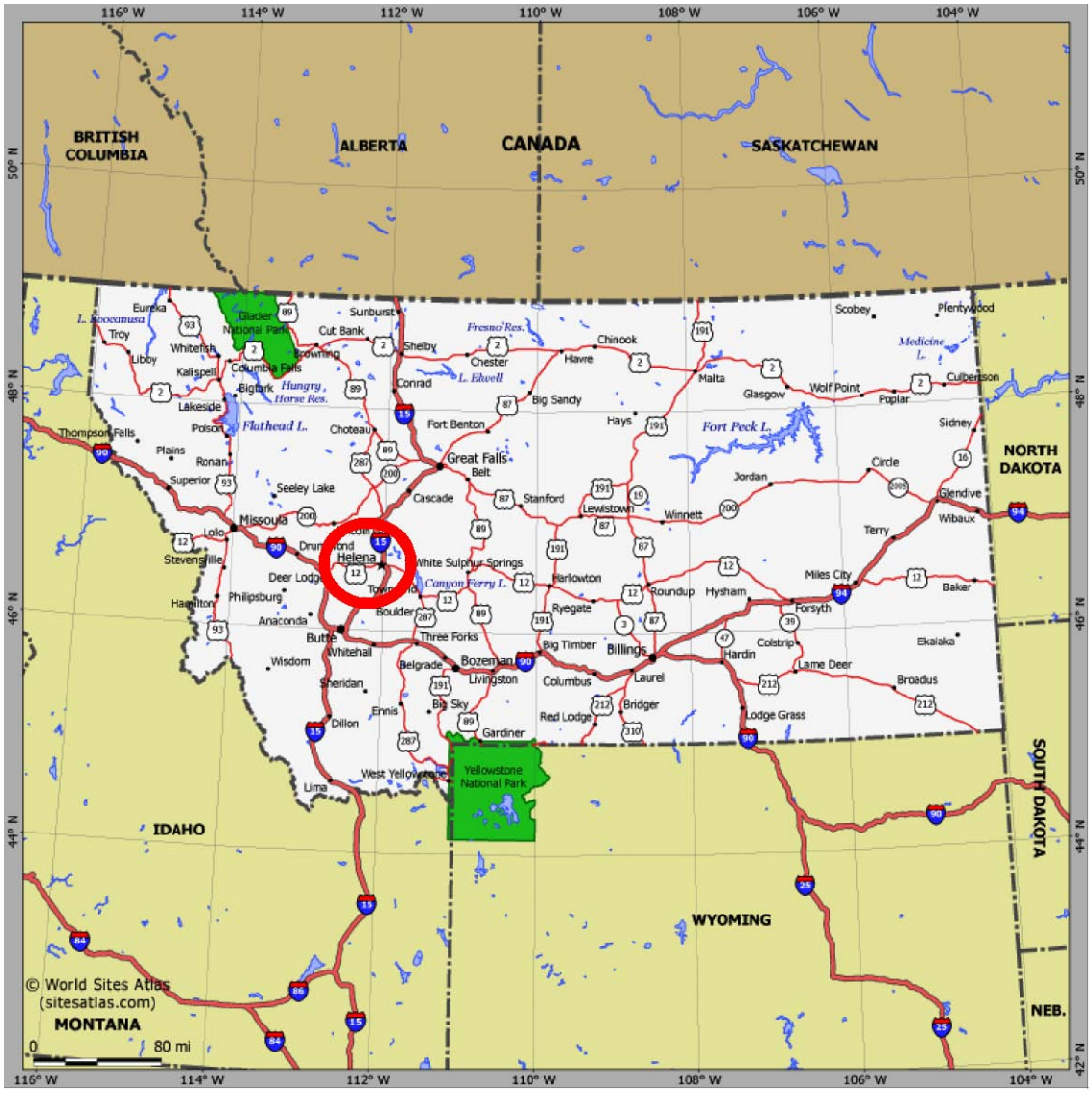
19 世紀半ばまで、入植者にとって未踏の地であったモンタナは、アイダホ準州の一部として併合された 1863 年までダコタ準州の一部だった。アルダーガルチで金鉱が発見され、1860 年代だけでも推定 3,000 万ドル相当の金が渓谷から採掘されたのを機に、町は急速な発展を遂げ、ヴェローナと呼ばれるようになった(この名前は南部連合国の大統領夫人、ヴァリナにちなんで付けられた)。モンタナは合衆国領地内にあったため町の名前を登録したところ、連邦判事から反対を受け、ヴェローナからヴァージニアシティに変更された。1864 年、モンタナ準州はアイダホ準州から分離して独立した州に昇格した。

ヴァージニアシティの人口はわずか 2、3 か月の間に急増して 1 万人に達し、1865 年に準州の州都に指定された。しかし、金鉱の発見後 2、3 年の間に大半の鉱脈が掘り尽され、その人口は著しく減少していった。このため、現在ヴァージニアシティはゴーストタウンと化しており、古き良き「西部開拓時代」の名残を感じさせる観光者向けの町として保護されている。ヴァージニアシティに代わりヘレナが 1875 年に準州都となり、モンタナの州昇格とともに州都となったが、このヘレナもまた、偶然発見された金鉱によって発展した町である。1864 年にジョージア州から金を求めて西部へやってきた 4 人組みが、最後の賭けにと近郊の小川で砂金採掘を始めたのがその始まりである。砂金が掘り当てられた場所は、ラスト チャンス ガルクと名付けられた。こうしてヴァージニアシティ同様、ヘレナもゴールドラッシュによって発展を遂げることになった。当時、他のほとんどの鉱山都市では、金鉱の開発が終了していたため、人々の足は自然とヘレナへと向かっていった(ヘレナはもともと、町を創設した 4 人のジョージア人のひとり、ジョン・クラブの名を取ってクラブタウンと名付けられていたが、鉱山労働者の多くがミネソタ出身であったため、セントヘレナというミネソタにある町の名前で呼ばれるようになった。その後、セントヘレナの「セント」が省略され「ヘレナ」となった)。他の鉱山都市と同様、ヘレナの砂金も次第に底を尽いたが、準州の組織化が進み、政府の必要性が高まるにつれ、町はその後も成長を続けた。また、ヘレナにノーザン パシフィック鉄道が開通したことで、鉱山業以外の産業も発展した。さらに州の中心という立地を背景に、農業が著しく成長するとともに、モンタナ全域への輸送ハブとして利用されるようになった。1894 年にヘレナとアナコンダの間で州都を巡る対立が生じたが、一般投票の結果ヘレナが勝利を収め、それから現在に至るまで州都の座を守っている

参考資料

City of Helena, *Helena History*, at http://www.helenamontana.com/history.asp

The History of Helena, Montana, at
http://www.bigskyfishing.com/Montana-Info/helena-mt-2.shtm
Virginia City, MT, Chamber of Commerce, *History*, at
http://www.virginiacitychamber.com/i/history.pdf



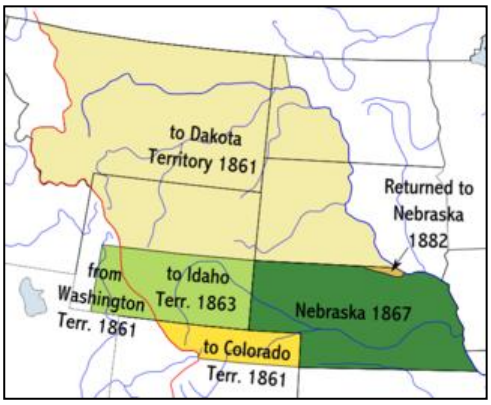
© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ネブラスカ州 リンカーン（Lincoln, Nebraska）

市創設: 1859 年
州都（首都）選定年: 1867 年
州都人口: 241,167（2006 年推計）
州都面積: 193.2 平方キロメートル

歴 史

1682 年にネブラスカを最初に開拓したロベール＝カブリエ・ド・ラ・サールが、この土地をフランス領と主張し、ルイジアナ準州と名付けた。1714 年、フランス人探検家のエティエンヌ・デ・ベニアルドがモンタナのミズーリ川河口からプラット川の河口域に向かって探検を進めた。ベニアルドは当時プラット川を「ネブラスキア川」と呼んだため、現在のネブラスカに最も近い名前を付けた最初の人物といえる。その後間もない 1720 年、スペイン人のペドロ・デ・ヴィラスールがこの土地をスペイン領と主張したが失敗に終わった。しかし 1762 年に締結されたフォンテーヌブロー条約により、ネブラスカはフランスからスペインに譲渡されることになった。1794 年、ジャン・バプティスト・トルトーがリオバラ川の 48 キロ上流に、さらに 1795 年には、スコットランド人のジョン・マッケイがミズーリ川の西岸に交易所を設立し、ネブラスカのダコタシティ南部には有名なフォートチャールズ砦が築かれた。その後 1803 年に、合衆国はフランスからルイジアナ準州を買収した。1812 年には現在のネブラスカを含むミズーリ準州が成立し、毛皮交易が盛んな地域として栄えた。1822 年、ミズーリ毛皮会社はプラット川河口から 14 キロ北に本拠と交易所を設立すると、ベルビューと名付け、これがネブラスカ初の町の誕生となった。1833 年、モーゼ・P・メリルはバプティスト宣教師同盟が支援する使節団をオト族の居留地に設立し、その後 1842 年には、ジョン・C・フレモントが、有名なアメリカ人開拓者のキット・カーソンをガイドにプラット川州域の探検を終えた。地図の作成を目的としたこの探検で、フレモントはプラット川を示す際にオト族の言葉を使用した。プラットとはフランス語の「フラット」に由来する言葉で、「平らな水の土地」を意味するオト族の「Ne-brath-ka」を翻訳したものである。



ネブラスカ準州は 1854 年に成立したカンザス ネブラスカ法によって同年に設立され、州都をオマハに置いた。1850 年代、フローレンスやプラッツマスなどの町に州都を移転させようとする試みが幾度となく繰り返された。この頃スクリップタウンの買収事件が起こり、地元の実業家がオマハ周辺に確保した土地を議会に寄贈しようとした「ベイカー対モートン」の案件は、連邦最高裁判所により違法と判断された。ネブラスカが州に昇格した 1867 年まで州都はオマハに置かれていたが、昇格と同時に当時ランカスターと呼ばれていたリンカーンへと移転した。新州都の設置場所を巡る論争は激化する一途で、その争点はプラット川南北間の立地争いにあった。川の北部では既に大部分が開発されていたため、南部の関係者は北部の経済力や権力によって南部がないがしろにされていると感じていた。論争はさらに勢いを増し、準州議会の議員とその支持者によって殴り合いの喧嘩や銃撃戦が繰り広げられるまで事態は悪化した。ネブラスカが州に昇格すると、州都をオマハから移転させることが決定し、3 名の議員からなる委員会で、当時人口が 50 人足らずだったランカスターが新しい州都として指定された（この他にも、アシュランド、ヤンキーヒルが候補地として挙がっていた）。州都を移転させ

た理由としては、「州外」の利害者にとってオマハが地理的に「遠すぎる」こと、そして州都にはネブラスカ準州の住居地域から中心に近い場所が望ましいとされたことが挙げられた。州都の移転を妨げるため、プラット川北部の議員は最後の抵抗を見せ、南部の住民がリンカーン大統領の政治体制に不満を抱いていることを承知の上でランカスターを「リンカーン」と改名すると、プラット川南部の議員がその動きに賛同し、長い論争は遂に幕を閉じた。実際の政治行動は、『History of the City of Lincoln, Nebraska』に次のように記されているように、内密に進める必要があり、それは当時も現在も変わらないと言える。

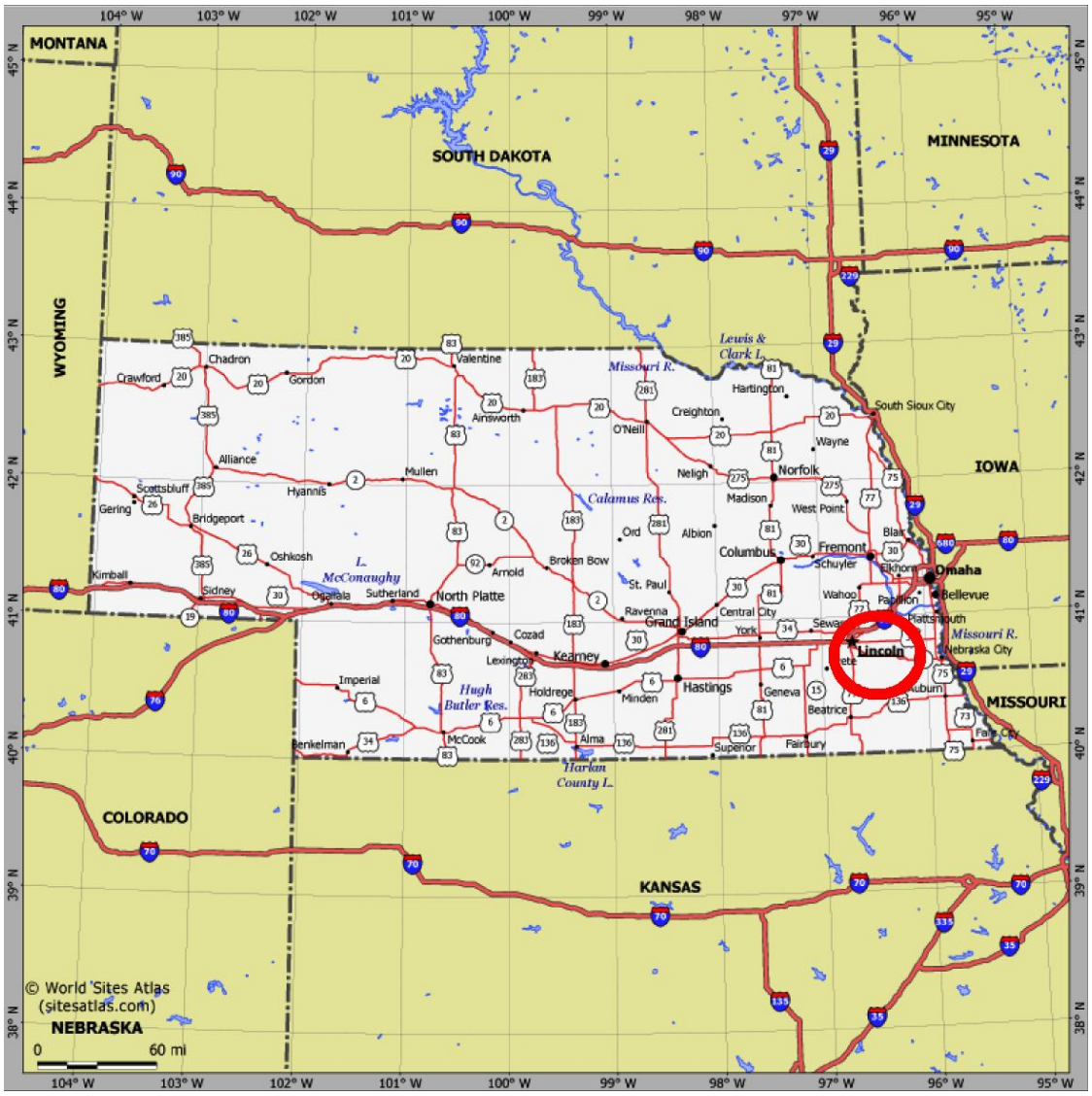
「1889 年 10 月 4 日で 50 歳を迎えるビーチ氏は、この半世紀の間、時代の目撃者として様々な出来事を目の当たりにし、今でもそれをはっきりと記憶している。当時リンカーンの住民であったカー氏の援助を得て、ビーチ氏は庁舎（家財）をオマハからリンカーンへ移動させるために 2 頭馬車を、そしてカー氏は 4 頭馬車を率いてオマハへと向かった。2 人はアシュランドで冷たく凍ったプラット川を馬に乗って渡ったが、それは極めて危険で困難を伴うものだった。このとき、この 2 人と道を共にしたのが A・J・クロプシーの息子のルーク・クロプシーで、非常に貴重なガイド役となった。この旅にはおよそ 1 日半を費やした。幌馬車を引き連れた一行は 2 日目（土曜日）の朝 11 時にオマハ入りを果たし、「ビッグ マディの町（ミズーリ川が多量の泥を含むことからこの名前が付けられた）」の初期のランドマークの 1 つであった格子縞の古い納屋で夜を過ごした。午後、ビーチ氏は州議事堂へと赴き、州監査役の（ジョン）ガレスピー氏と会談した。同氏はビーチ氏にオマハへの任務について口外しないよう命じ、家財の積み込みを手配してくれた。日曜の夜が更けた頃、書籍、家具、机など新しい庁舎に必要な家財がすべて 2 台の幌馬車に積み込まれ、帰路に向かう準備が整った。オマハの人々がまだ眠りに就いている月曜の朝 4 時、新州都リンカーンは、新たな朝を迎えようとしていた。」

参考資料

Nebraska State Historical Society, at http://www.nebraskahistory.org. (Retrieved 22nd Jan 2008.)

City-Data.com, *Lincoln: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-Midwest/Lincoln-History.html. (Retrieved 14th Feb 2008.)

Virtual Nebraska, *Lincoln - Nebraska*, at http://www.casde.unl.edu/history/counties/lancaster/lincoln/ (Retrieved 14th Feb 2008)



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ネバダ州 カーソンシティ (Carson City, Nevada)

市創設: 1851 年
州都(首都)選定年: 1861 年
州都人口: 55,289(2006 年推計)
州都面積: 371.4 平方キロメートル

歴 史

ネバダとカリフォルニアの境界線に沿って延びる山岳は、シエラネバダ山脈として知られている。数世紀もの間ワシュー インディアンが暮らしたこの土地に、一攫千金を狙う探鉱者が入植してきたのは 1851 年のことである。結局鉱脈が見つからなかったため、入植者たちは代わりに交易所を設け、駅馬車のルートの一部としてイーグル ポストと呼んだ。この地域の初期の入植者の大半はモルモン教徒で、ソルトレイクにモルモン教徒の拠点が設立されると、イーグルバレー全域の所有権を主張していたジョン・マンキンに領地を売却してユタへと向かった。1858 年、イーグルバレーの(交易所を含む)ほとんどの領地を買収していたニューヨーク出身の野心的な実業家、エイブラハム・カレーは、ユタ準州の西部が州に昇格する可能性が高いと予測し、現在カーソンシティとなっている地域が州都に適切がどうかを見極めるために調査を実施することを決定した。植民省大臣ウィリアム・オムスビィが(当時まだ存在していなかった)この町の創設者となり、伝説的な西部開拓者、キット・カーソンにちなんでカーソンシティと名付けた。オムスビィは区画整理に際して、通りの幅を大きく設計し、キャピトル スクエア(後のプラザ)と呼ばれる正方形の広場を市の中心として設立したが、この時点でも住民は実質一人もいなかった。1859 年頃に銀鉱脈が発見されると、かつてのゴールド ラッシュのように、カリフォルニアやモンタナをはじめその他の西部州に採掘者が殺到し、1860 年までには町の人口は 500 人を上回るほどに成長した。1861 年 3 月 2 日、ネバダが準州に昇格すると、エイブラハム・カレーはすぐに、移動ルートに至近という理由からカーソンシティを州都に推薦し、1861 年 11 月 25 日、カーソンシティが恒久的な準州都として指定された。

カーソンシティが準州都に指定された翌年、その人口は 2 倍に増加し、ポニー エクスプレスの停留地及びサンフランシスコからの電信線の東端となった。その後、ネバダ準州の中心部及び南部では、西部への貨物輸送路としてカーソンシティを利用するようになった。1864 年 10 月 31 日、ネバダは州に昇格し、カーソンシティが州都に指定された。ネバダが州に昇格した大きな理由のひとつとして、この土地に金や銀の大規模な鉱脈が眠っていたことが挙げられる(1870 年には合衆国造幣局の支局がカーソンシティに設立された)。南北戦争の間にリンカーン大統領が、合衆国から離脱しないようネバダに準州の地位を与えたことも、ネバダの歴史を語る上で特筆すべき点である(リンカーン大統領は準州知事として前ニューヨーク市警本部長を派遣した)。さらにリンカーン大統領は、1864 年に合衆国憲法修正第 13 条(奴隷制度の廃止)を批准するため、さらには同年の大統領再選に必要な投票数を獲得するために、コロラド、ネブラスカ、ネバダの 3 つの準州を州に昇格させるよう画策したが、最終的にはネバダ準州のみが州となり、1864 年の大統領選の 1 週間前に正式に州として制定することを宣言した。

参考資料

City-Data.com, *Carson City: History*, at
http://www.city-data.com/us-cities/The-West/Carson-City-History.html

Rocha, Guy, *Las Vegas: Nevada's Next State Capital?*, at http://dmla.clan.lib.nv.us/docs/nsla/archives/myth/myth28.htm (Retrieved 22nd Jan 2008.)
Rocha, Guy, *Why Did Nevada Become a* State, at http://www.nevadaweb.com/nevadaca/rocha-2.html (Retrieved 22nd Jan 2008.)

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ニューハンプシャー州 コンコード（Concord, New Hampshire）

市創設: 1727 年
州都（首都）選定年: 1808 年
州都人口: 42,378（2006 年推計）
州都面積: 166.5 平方キロメートル

歴 史

ヨーロッパ人が現在のニューハンプシャーに初めて入植したのは 16 世紀のことで、17 世紀に入る頃には、イギリス人によるニューイングランド沿岸の開拓が終了しようとしていた。1623 年、現在ライと呼ばれる地域に最初の入植地が建設され、1640 年までにニューハンプシャーは４つの町（ドーバー、ポーツマス、エクサター、ハンプトン）に分割された。ニューハンプシャーはマサチューセッツ湾植民地の一部を形成していたが、1679 年に王室領となった。1660 年代には、コンコードに交易所が設立されたが、マサチューセッツ湾植民地がペナクック プランテーションとして知られる地域の入植者に土地特許を付与した 1727 年まで、本格的な開発が進められることはなかった。ペナクックは 1733 年に市に昇格し、ラムフォードと改名された。1741 年までニューハンプシャーはマサチューセッツのラムフォードの統括に対して抵抗した。これが境界線を巡る論争の引き金となり、ニューハンプシャーがラムフォードをコンコードと改名して新たな市とした 1765 年まで続いた。アメリカ独立戦争が勃発した頃には、ニューハンプシャーは社会的にも経済的にも独立した州に成長しており、海岸沿いに創設された数多くの町では産業開発が急速に進んだが、都市部での貧富の差を露呈する結果となった。一方、州の中心部及び西部では依然として農業が経済の中核を担っていた。事実上の州都として、ポーツマスが指定されたが、同市は海岸沿いに位置していたため、西部及び北部へ開拓を進めることが困難であるという課題に直面した。

アメリカ独立戦争が終焉を迎える頃、ニューハンプシャー州はより中心地に近い場所に州都を置くことを決定した。当時一般市民の中から歴史を編纂するよう市から任命されたジェームズ・ライフォードは当時の様子を次のように記している。

> 「未来への大きな発展と多大な影響力が約束されたこの町（コンコード）が、州都としての威光を放ち、勝利を収める時がやってきた。1782 年から四半世紀の間、数多くの町で一般裁判が開廷されたが、開廷数ではコンコードが、エクサターやポーツマス、ホプキントン、アマースト、ドーバー、チャールストン、ハノーバーなど他のすべての町を上回っている。恒久的な立法議会の開催というすべての町が渇望する栄誉を、様々な魅力を凝縮したこのコンコードが手に入れようとしているのは当然の結果と言える。ボスコウェン、ペンブローク、ソールズベリーなどが誘致を行ったが、一般裁判はこれらの町では一度として開廷されていない。過去に何度か議会の開催されたホプキントンが、コンコードにとって最大の競争相手と言えよう。（Volume Ⅰ, pp. 324-5.）」

その後、ホプキントンとコンコードのどちらに州都を設置するかを巡り、数回にわたって議会投票が行われた。その結果、1808 年にコンコードが正式に州都に指定されたが、正式な宣言は発表されなかった。しかし、1812 年には最初の州施設となる州刑務所が建設され、州都として指定されたコンコードの認識を高めるべく数々の州施設が建設された。

参考資料

City-Data.com, *Concord: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-Northeast/Concord-History.html (retrieved, 23 Jan 2008)
Concord City History Commission, *The History of Concord, New Hampshire, From the original Grant in 1725 to the Openning of the Twentieth Centruy, James O. Lyford, Ed., in Two Volumes, The Rumsford Press, Concord, NH. 1903* at http://www.ci.concord.nh.us (retrieved, 23 Jan 2008)
Wallace, Stuart, *New Hampshire History in Brief*, at http://www.nh.gov/markers/brief.html (retrieved, 23 Jan 2008)

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ニュージャージー州トレントン（Trenton, New Jersey）

市創設: 1680 年頃
州都（首都）選定年: 1790 年
州都人口: 89,923（2006 年推計）
州都面積: 19.8 平方キロメートル

歴 史

最初の入植地は 1679 年頃にクエーカー教徒によって建設され、「フォールズ オブ デラウェア」と名付けられた。デラウェア川とアッサンピンク クリークの分岐点に位置していたこの町は、ニューヨークからフィラデルフィアへ向かう駅馬車の中継地として発展していった。そこに商業的な可能性を見出したフィラデルフィアの商人、ウィリアム・トレントは 1714 年にクエーカー教徒から土地を購入する。町は 1719 年に「トレントズ タウン」に改名され、省略されてトレントンと呼ばれるようになった。トレントンはフィラデルフィアとニューヨーク間の移動に必要な穀物及び物資の積み出し港となり、1727 年には輸送の便を高めるためにフェリーの運航が開始された。アメリカ独立戦争中には、トレントンにイギリス軍（ヘッセン軍）が駐屯した時期もある。1776 年 12 月 26 日のトレントンの戦いは、独立戦争の雌雄を決した戦いのひとつで、ジョージ・ワシントンが身を切るような極寒のデラウェア川を渡り、ヘッセン軍に奇襲をかけてアメリカ軍を勝利に導いた戦いとして現在も知られている。トレントンは 1784 年に一時、合衆国の首都となり、そのまま確定すると思われたが、南部諸州がメイソンディクソン線以南の都市を要望したため実現しなかった。

1790 年にトレントンが州都として指定された。以来、州都の移転が真剣に検討されたことは一度もなく、現在に至っている。

参考資料

City-Data.com, *Trenton: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-Northeast/Trenton-History.html (retrieved, 20 Feb 2008)
New Jersey State Government, *Timeline of History*, at http://www.shgresources.com/nj/timeline/ (retrieved, 23 Jan 2008)
Wikipedia, *Trenton*, at http://en.wikpedia.org/wiki/Trenton,_New_Jersey (retrieved, 20 Feb 2008)

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ニューメキシコ州 サンタフェ (Santa Fe, New Mexico)

市創設: 1607 年頃
州都(首都)選定年: 1609 年
州都人口: 72,056(2006 年推計)
州都面積: 96.6 平方キロメートル

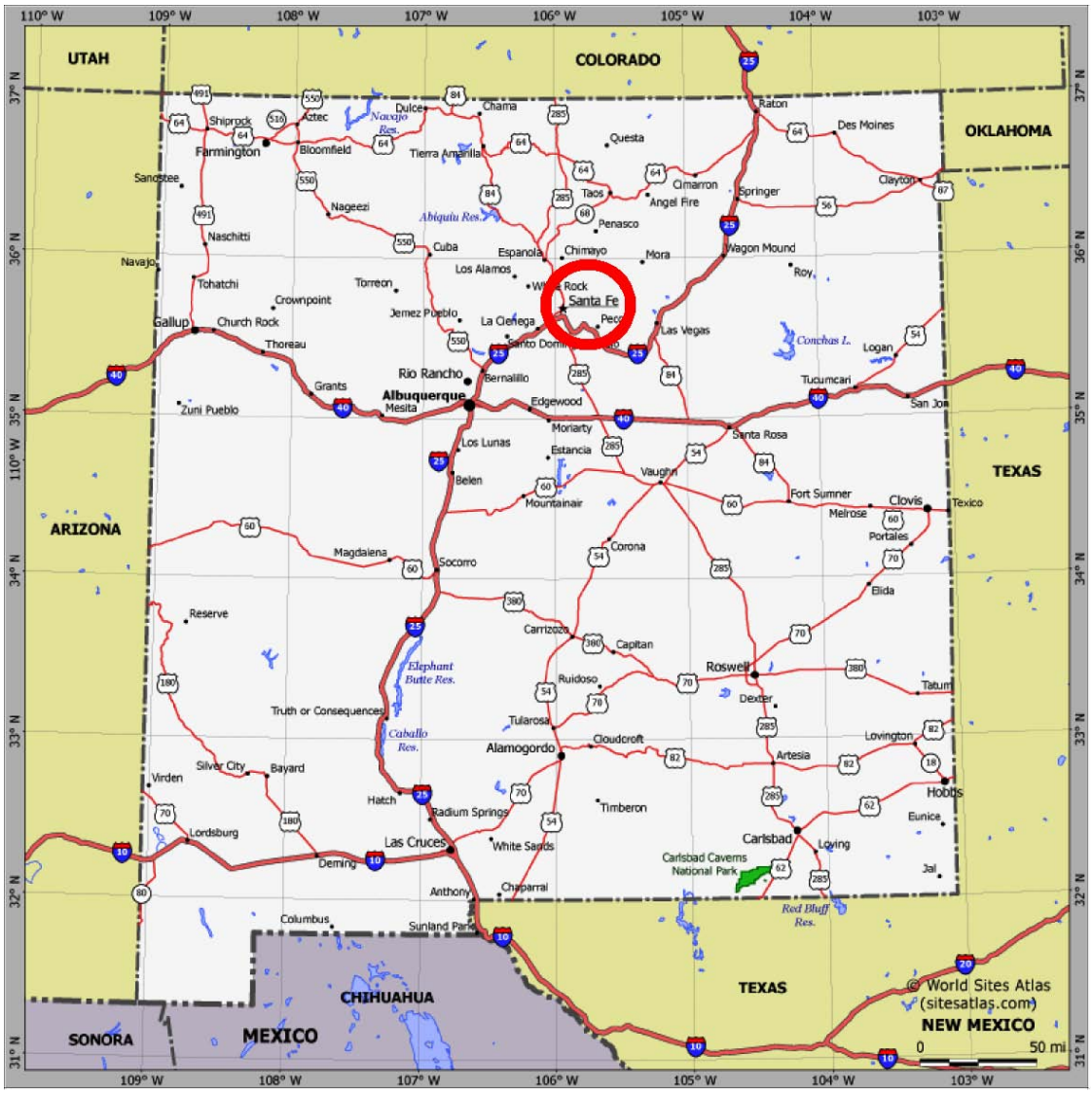
歴 史

ニューメキシコは波乱に富んだ歴史を歩んできた。サンタフェ地域では少なくとも紀元 11 世紀頃からタノ プエブロ族が集落を作り、個性豊かな文化を形成していた。しかし、1607 年または 1609 年のスペイン人来航より 200 年前には、これらの集落は放棄されたと考えられている。スペインのコンキスタドール、フランシスコ・バスケス・デ・コロナドがこの地を探検し、1540 年にスペイン領「ヌエボ メヒコ(ニューメキシコ)王国」が誕生した。ニューメキシコ州の初代総督、ファン・デ・オニャーテが 1598 年に、サンタフェの北約 40 キロにあるサンファンプエブロに州都を建設するが、3 代目総督のペドロ・デ・ペラルタにより州都はサンタフェに移転された。この時建設された総督邸は、現在ではプラザと呼ばれている。スペインの支配はその後 80 年にわたり、先住民のプエブロ族を制圧し、キリスト教に改宗させる試みが繰り返されたが、最後にはインディアンの反乱に合い、現在のメキシコへの撤退を強いられた。スペインが 1692 年にニューメキシコの領土を取り返すと、プエブロ族はもとよりコマンチ族、アパッチ族、ナバホ族の蜂起に直面しながらも入植者、特に宣教師の働きによりサンタフェの町は大きな発展を遂げた。1821 年にメキシコはスペインからの独立を遂げ、サンタフェが新たに誕生したニューメキシコ州の州都に指定された。当時アメリカでは南から南西部に向けて、探検者や商人、猟師が活発に移動していた。その動きを利用して、ウィリアム・ベックネルは後にサンタフェ トレイルとして知られるようになる交易ルートを開設した(このトレイルはミズーリ州から始まり 1600 キロに及んでいる)。1846 年になると、南西部の土地を巡り、合衆国とメキシコの間で戦争が勃発した。1848 年には両国の間に講和条約(グアダルーペ イダルゴ条約)が締結され、現在のニューメキシコ州、アリゾナ州、カリフォルニア州を合衆国に譲渡することで合意した。サンタフェはアチソン トピカ サンタフェ鉄道の建設と電報の発明により急成長を遂げた。ニューメキシコが州に昇格したのは 1912 年のことであった。

この地域ではサンタフェから州都が移転されたことはなく、ニューメキシコが州に昇格した際にも、当然のようにサンタフェが州都に指名された。サンタフェは現在も変わらず、ニューメキシコの中心都市として機能している。

参考資料

City-Data.com, *Santa Fe: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-West/Santa-Fe-History.html (retrieved, 20 Feb 2008)
The Santa Fe Site, *History of Santa Fe, New Mexico*, at http://thesantafesite.com/history.html (retrieved, 23 Jan 2008)
Simmons, Marc, *Origins of Santa Fe*, at http://www.sfaol.com/history.html (retrieved, 23 Jan 2008)



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ニューヨーク州 オールバニー（Albany, New York）

市創設: 1624 年
州都（首都）選定年: 1797 年
州都人口: 93,963（2006 年推計）
州都面積: 55.4 平方キロメートル

歴 史

オランダ人探検家、ヘンリー・ハドソンは 1609 年、後にオールバニーと呼ばれる地域を探索し、モヒカン族に遭遇した。1624 年に入植地を建設したオランダは、ここに交易地を開設し、オレンジ砦と名付けた（この名前は、当時のオランダ王室のオレンジ朝に由来している）。しかし 1652 年には、キレイン・ヴァン・レンサリーアの勢力を牽制するために、ニューネザーランド（現在のニューヨーク）の総督、ピーター・ストイフェサントによりベヴェイクビレッジと改名される。1664 年、オランダを破ってニューヨークを占領したイギリスは、砦を制圧した後、ヨーク及びオールバニー公のジェームスに敬意を表してオールバニーと命名した。オールバニーは毛皮の交易所として、またハドソン川から大西洋及び西インド諸島に物資を輸送する拠点として発展し、1686 年に市に昇格した。同市の名を有名にしたのは、1754 年に開催された植民地代表者の会議であった。この会議で中心を果たしたのは、他ならぬベンジャミン・フランクリンで、植民地による対仏共同防衛体制の編成と構築が提案された。オールバニー連合案と呼ばれたこの計画は、イギリス議会に提出されたが、批准されることはなかった。そうした経緯とは関係なく、オールバニーはフレンチ インディアン戦争（1754～1763 年）の一翼を担い、1757 年から 1763 年にかけてはイギリスからの重要な中継地として位置付けられるようになった。さらに、イギリスと北米植民地間との緊張が高まり、独立運動とその後のアメリカ独立戦争へと移行する中では、アメリカの軍事拠点として戦略的な役割を果たすことになった。バーゴイン将軍がジョージ・ワシントンに降伏したサラトガの戦い（1777 年）は、北部での勝敗の行方を決する転換点となった。

州への昇格を果たしたニューヨーク州では、（オールバニーのわずか南に位置する）キングストンで議会が開催され始めた。これは当時、ニューヨーク市がイギリスの占領下にあったためで、1783 年の講和条約で同市が合衆国に移譲されると、議会はニューヨークとオールバニーで年に 1 度開かれるようになった。最終的には 1797 年に、議会をオールバニーに恒久的に設置することが決定された。当時、オールバニーは州の中心にあり、州西部の主要交易路に通じていると考えられていた。

参考資料

City-Data.com, *Albany: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-Northeast/Albany-History.html (retrieved, 20 Feb 2008)
City of Albany, *History of Albany*, at http://www.albanyny.org/Government/CityHistory.aspx (retrieved 23 Jan 2008)

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ノースカロライナ州 ローリー (Raleigh, North Carolina)

市創設: 1792 年（1587 年に入植）
州都（首都）選定年: 1792 年
州都人口: 356,321（2006 年推計）
州都面積: 296.8 平方キロメートル

歴 史

1629 年にチャールズ 1 世がバージニア州南部の土地を割譲し、カロライナ（チャールズのラテン語読み）と名付けたことがこの地の起源である。カロライナはバージニア植民地の支配下に置かれたが、1663 年にはチャールズ 2 世により 8 名の臣下に授与された。この 8 名は植民地領主と呼ばれ、慣例どおりイギリス国内に留まった。カロライナ植民地は今日のノースカロライナ州とサウスカロライナ州を含む広大な地域で、領主によりアルベマール、クラレンドン、クレイブンの 3 つの郡に分割されたが、このうち実際に入植者が移住し、知事が任命されたのはアルベマール州だけであった。1665 年にアルベマール郡の第 1 回目の議会（ノースカロライナ議会の前身）が開かれたが、議会では古くからの住民と新たに移住した入植者間の対立が表面化し、植民地政府に対する小規模な反乱が頻発したほか、当時の知事が退陣させられる事態に陥ったため、ついには両派の代表者がロンドンに赴き、入植地領主に双方の主張を訴えることとなった。その結果、中立的で清廉な知事が新たに任命されたが、この調和も長くは続かなかった。領主は住民に不人気であった知事を解職すると、次にフィリップ・ルドウェルをアルベマール郡及びケープフィアー北部全域の知事に任命した。これによりカロライナ植民地は事実上、現在のノースカロライナとサウスカロライナに分割された。ノースカロライナで初めて町に昇格したのはバスで、1706 年のことである。1729 年になると、バージニア植民地との境に近い一部の地域を除き、ノースカロライナはジョージ 2 世により直轄植民地に制定された。当時、ノースカロライナの人口はすでに 3 万 5,000 人に達していたが、大覚醒運動[4]の拡大に伴い、さらに急速な増加を遂げることになった。1745 年には植民地の首都としてニューバーンが議会で指名されたが、事前の通知がなかったとしてアルベマール郡議員の反対を受けた。入植がさらに進むと、オレンジ郡の首都、ヒルスボロウが「未開拓地の首都」と呼ばれるようになった。1763 年にジョージ 3 世により、英国入植地の西の境界線が画定されると、議会は政府補助金によりニューバーンに知事公邸を建設することを決定した。それまで政庁所在地は知事が交代するたびに移転され、沿岸地域に集中していた。当時議会は、沿岸地区の裕福な地主層により牛耳られていたため、内陸部のヒルスボロウを抑えてニューバーンが選ばれたと言われている。1775 年時点でノースカロライナの人口は 25 万人に達し、翌年に州への昇格を果たした。

1776 年から 1792 年まで、州都はハリファックス、ヒルスボロウ、ファイエットビル、スミスフィールド、ターボロなどの都市に置かれ、さらにアメリカ独立戦争中には安全上の理由からも移転された。1784 年にニューバーンに移転した際に、議会は恒久的な州都を指定することを決定し、1787 年 11 月、州の憲法制定議会に恒久的州都を建設する権限を付与した。植民地または州の首都が置かれたことがある都市間の対立を防止するため、1788 年には新州都は首都になったことがなく、州の中心に近い都市であること、さらに後にはウェイク郡にあるアイザック・ハンターのプランテーションから 16 キロ以内の範囲にあることが議会で規定された。ウェイク郡は知事であったウィリアム・トリオンの妻、マーガレット・ウェイクに敬意を表して、1771 年に議会によって設立された郡である。1792 年にウェイク郡でプランテーションを経営するジョ

[4] 1730 年代から繰り返された、英米の歴史における大きな信仰のリバイバルの期間

エル・レインが新州都の建設用地として約 4 平方キロメートルの土地を州に売却した。こうして建設された都市は、ノースカロライナの沿岸地域を初めて探索したイギリスの探検家、ウォルター・ローリー卿にちなんでローリーと命名された。1794 年にローリーで第 1 回目の議会が開催された。

参考資料

City-Data.com, *Raleigh: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-South/Raleigh-History.html (retrieved, 21 Feb 2008)

City of Raleigh, *History*, at http://www.raleighnc.gov/portal/server.pt/gateway/PTARGS_0_2_306_202_0_43/http%3B/pt03/DIG_Web_Content/category/Resident/Raleigh_At_A_Glance/History_of_Raleigh/Cat-2CA-2006109-095008-History_of_Raleigh__1587.html (retrieved, 23 Jan 2008)

John Locke Foundation, *The North Carolina History Project*, at http://www.northcarolinahistory.org/encylopedia/13/entry (retrieved, 23 Jan 2008)

State of North Carolina, *History Timeline*, at http://ncmuseumofhistory.org/nchh/index.html (retrieved, 23 Jan 2008)

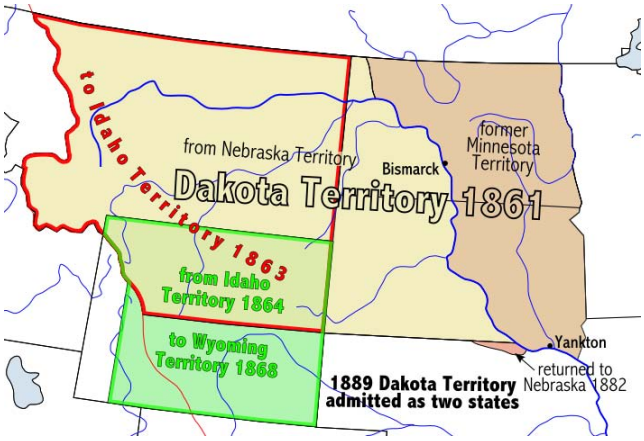
© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ノースダコタ州 ビスマーク (Bismarck, North Dakota)

市創設: 1872 年
州都(首都)選定年: 1882 年
州都人口: 8,333(2006 年推計)
州都面積: 69.7 平方キロメートル

歴 史

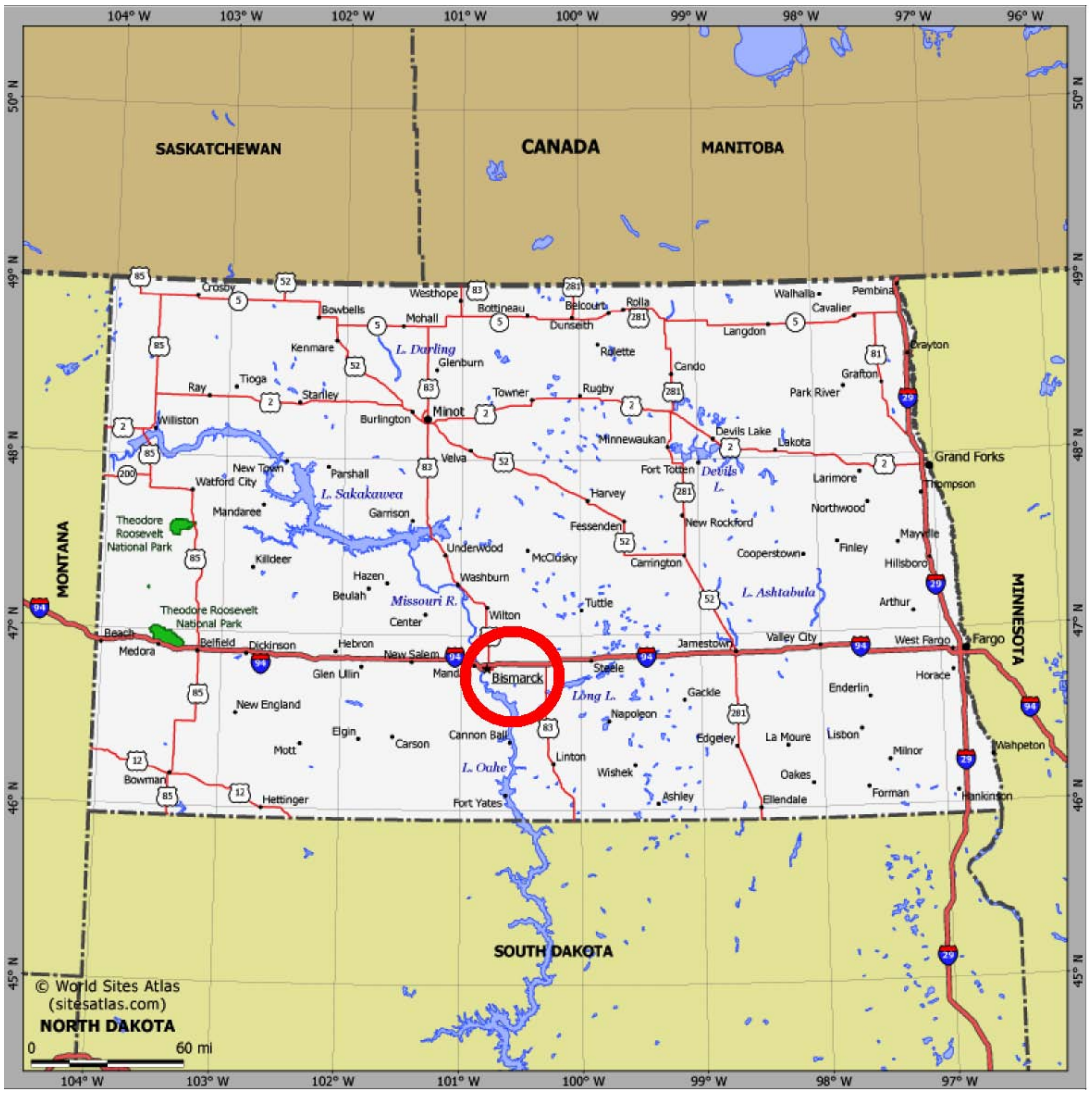
もともとはインディアンの土地であったダコタでは、現在でも居留地が大部分を占めている。ヨーロッパ人が初めてインディアンに遭遇したのは 18 世紀のことで、毛皮の交易を通じてであった。アメリカ人でこの地を最初に探索したのは 1804 年のルイスとクラークの探検隊である。インディアンとアメリカ人との関係は主に友好的なものであったが、1860 年代初頭にミネソタ州で起きたインディアンの反乱をきっかけに大きく変わることになった。その後数十年間にわたり、合衆国軍はダコタ準州の性質を変えたこの反乱の責任を追及するという名目で調査団を派遣し、ダコタ族を迫害した。この時、準州内には数多くの前哨基地が建設された。こうした流れを受けて、1861 年にアメリカ人の入植が本格的に始まり、1872 年から 73 年にかけては、ミズーリ川までノーザン パシフィック鉄道が開通し、これを中心に新たな町が建設された。この「鉄道ブーム」により、ノースダコタの人口は 1879 年から 1886 年の間に 10 万人以上の増加を見せた。1889 年に、ハリソン大統領の調印により、ノースダコタとサウスダコタの合衆国への加盟が認められた。



ダコタ準州が設立された 1861 年以来、州都はヤンクトンに置かれていた。ヤンクトンは準州の南端に位置しており、ダコタ準州におけるアメリカ人入植地の北の境界を表していたが、インディアンの追放が進むにつれ、北部の開拓も活発に行われ始めた。ビスマークの町は、鉄道の建設を見越した不法入植者により、1871 年から 72 年にかけて形成された(ミズーリ川の川幅が最も狭く、渡りやすい地形であったため、プレーンズ インディアンは何世紀も前からこの土地を自然の要塞として利用していた)。町は当初「ミズーリの渡り場(Crossing on the Missouri)」と呼ばれていたが、鉄道作業員の安全を守るために軍事要塞が建設されたため、1872 年にキャンプグリーリー(後のキャンプハンコック)と改名され、さらに 1873 年には、ドイツ帝国初代宰相のオットー・フォン・ビスマルクの名前を取り、ビスマークとなった。この名前にはドイツからの入植者と資金の流入に対する期待が込められていた。1874 年当時の人口は 1,200 人で、1879 年の時点ではビスマークはノーザン パシフィック鉄道の西の終点として利用されていた。1881 年に鉄道橋がミズーリ川にかかると、鉄道関係者の間でビスマークを準州の州都に押す動きが見られた。1882 年、ビスマークがプレーンズ最大の都市に成長するという人々の確信に支えられ、ビスマークへの州都移転が実現した。1883 年には庁舎の建設が開始されたが、人口は当初の予想ほど伸びず、最終的には、ビスマークはミネアポリスへの小麦の輸送拠点として成長した。1889 年にダコタ準州がノースダコタとサウスダコタに分割され、ともに州に昇格すると、ノースダコタの新州都は自然とビスマークに決定された。

参考資料

State of North Dakota, *North Dakota History*, at http://www.nd.gov/hist/ndhist.htm (retrieved, 25 Feb 2008)
City-Data.com, *Bismarck: History*, at http://www.city-data.com/us-cities/The-Midwest/Bismarck-History.html (retrieved, 25 Feb 2008)



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

オハイオ州 コロンバス (Columbus, Ohio)

市創設: 1797 年(1816 年に合併)
州都(首都)選定年: 1812 年
州都人口: 728,432(2003 年推計)
州都面積: 585.1 平方キロメートル

歴 史

コロンバスはオハイオ州の州都で、最大の都市である。同市は国の道路網の重要な中継地点として、また運河水路の拠点として 19 世紀に発展した。

コロンバスは州の中心に位置しており、主要な輸送路(当時は主に水路)への至便さから、オハイオ州議会により州都に選ばれた。1840 年代から 50 年代にかけては、コロンバスは鉄道と電話線により、州内のその他の地域と結ばれた。

1803 年にオハイオが州に昇格すると、州議会は州都に相応しい地理的な中心に位置する都市を探し始めた。バージニアの測量技師、ルーカス・サリバンは 1797 年にフランクリントンの村を設立し、同村は交易の中心地として繁栄した。1812 年に州都の建設計画が州議会により承認され、同時にこの入植地をコロンバスと改名することが同意された。コロンバスは最初の州都ではなく、それ以前にはチリコシ、ゼーンズビルに州都が置かれていた。議会でフランクリントン、ダブリン、ワージントン、デラウェアなど多くの都市の中からコロンバスが選ばれると、同市はオハイオ州の政治、経済、社会生活を担う州都として設計、整備された。州都に決定された時点から 1816 年に実際に移転されるまでの数年間に、コロンバスの人口は著しく増加した。1834 年までに、コロンバスの人口は 4,000 人に達し、正式に「市制」が敷かれ、同年に初代のコロンバス市長、ジョン・ブルックが選出された。

参考資料

Ohio Historical Society

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

オクラホマ州 オクラホマシティ (Oklahoma City, Oklahoma)

市創設: 1889 年(1890 年に正式承認)
州都(首都)選定年: 1910 年
州都人口: 523,303(2003 年推計)
州都面積: 1,572 平方キロメートル

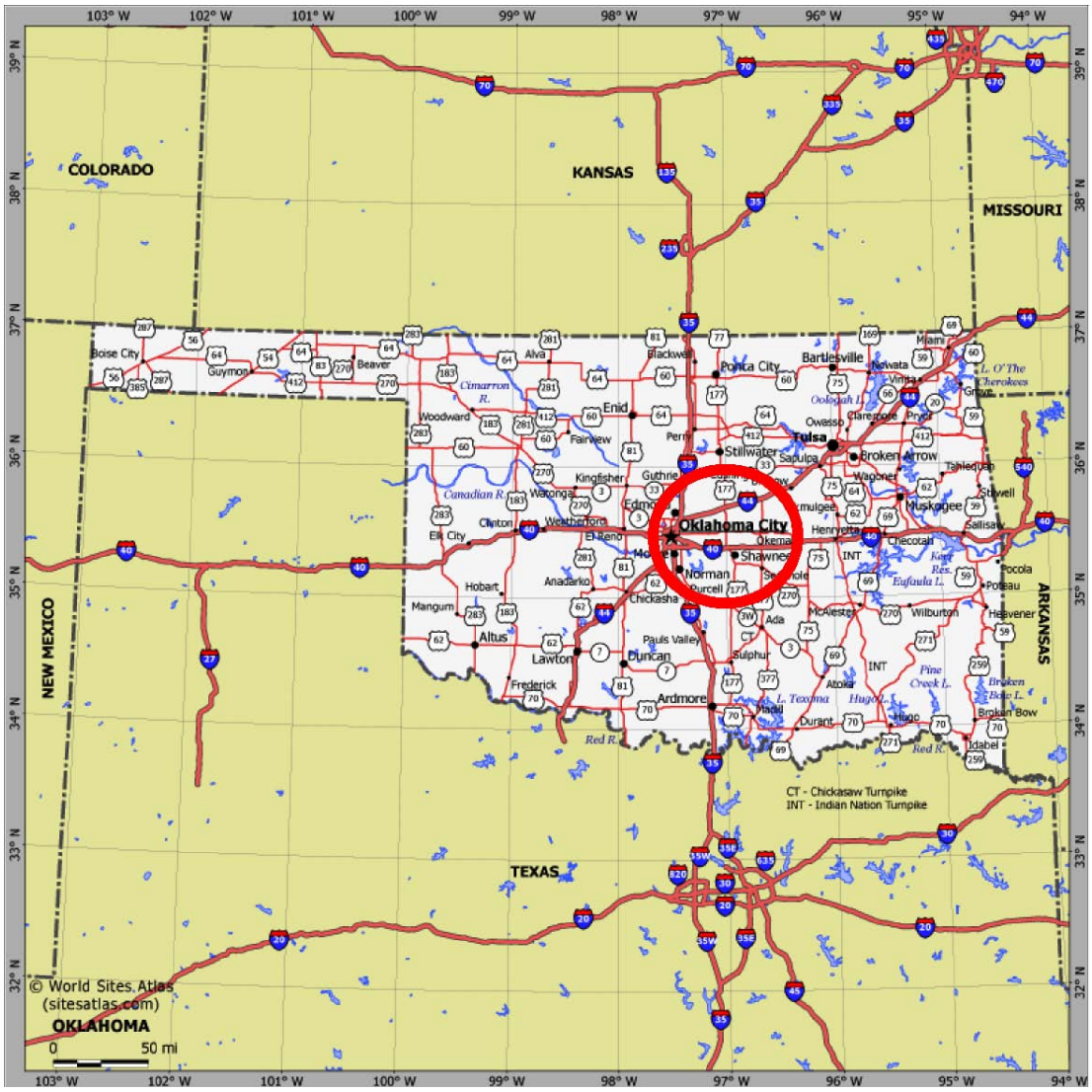
歴 史

州最大の都市にして州都であるオクラホマシティは、第 23 代ハリソン大統領がインディアン特別保護区中央部の土地の開放を告示した 1889 年 4 月 22 日に始まったランドラッシュの結果、誕生した町である。多くの人々が未割当の土地を求めて州境を超え、日没の頃には 1 万人の「テント村」が町に出現し、それが後のオクラホマシティとなった。1890 年に入植は正式に認定され、そのわずか数週間後には、インディアン特別保護区の西側半分がオクラホマ準州として再度指定された(オクラホマはチョクトー族の言葉で「赤い人」を意味する)。オクラホマシティは 1890 年 5 月 23 日に市に昇格すると、準州最大の都市へと急速に成長を遂げた。さらに多くの鉄道が敷かれたことで、交易、製粉、食肉加工の拠点として発展した。

1900 年までにオクラホマシティの人口は倍増し、オクラホマが州として認定された 1907 年には準州都だったガスリーに代わり、州最大の人口を誇る商業の中心となった。当時の政治及び商業の指導者たちは、魅力的なビクトリア朝の雰囲気の中に、交易の促進に欠かせない最新鋭の「路面電車」や鉄道の中枢システムを併せ持った商業地区を建設し、オクラホマシティをビジネスはもちろん住民にも配慮した都市に作り上げていった。人口は 6 万 4,000 人に達し、オクラホマシティは新州都になるべく要請を州議会に提出した。オクラホマシティの立候補を最も強力に支持した当時の州知事、チャールズ・ハスケルにより一般投票が実施され、オクラホマシティが州都に選出された。オクラホマ準州とインディアン特別保護区が合併され、1907 年に州として合衆国への加盟が承認されると、オクラホマシティは 1910 年に州都となった。

参考資料

Oklahoma Historical Society



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

オレゴン州 セーラム (Salem, Oregon)

市創設: 1848 年(1860 年に合併)
州都(首都)選定年: 1864 年
州都人口: 142,914(2003 年推計)
州都面積: 120.1 平方キロメートル

歴 史

セーラムはオレゴン州の州都で、ポートランド、ユージーンに次いで 3 番目に大きな都市である。「チェリーシティ」と呼ばれるセーラムではワイン醸造業が盛んで、加工業や周辺地域への運送業の中心地としても知られている。羊毛加工業から出発した同市は、農産物や木材の加工業、そして情報技術関連企業の拠点として成長を遂げている。

1848 年にオレゴンが準州となる以前、オレゴン地方の暫定政府は、1844 年及び 1845 年の議会法令でオレゴンシティを政庁府の州都に制定した。その後準州が誕生すると、当時の知事、ジョセフ・レーンの宣言によりオレゴンシティはオレゴン準州の政庁所在地に指定された。1850 年、準州議会でセーラムを州都とする法案が可決されたが、知事のジョン・ゲインズは 1852 年の法律でセーラムが正式に州都に決定されるまで、オレゴンシティからの移転を許可しなかった。1855 年、オレゴン準州議会は、当時セーラムに政府施設を建設中だったにもかかわらず、政庁所在地をセーラムからコーバリスに移転させる法案を可決した。

政庁所在地の場所を巡り、ほぼ 15 年にわたる活発な論争が展開された結果、1864 年にようやく最終的かつ恒久的な州都が決定された。州都を住民投票により決定するという 1860 年の議会の決定を受けて開催された 1862 年の第 1 回目の投票では最低得票率の 50%を満たす都市がなく、最終的には 1864 年の選挙で 79%の票を得たセーラムが公式な州都として選出された。

参考資料

Oregon Blue Book; Salem Online History; Marion County Historical Society

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ペンシルバニア州ハリスバーグ（Harrisburg, Pennsylvania）

市創設: 1791 年（1860 年に合併）
州都（首都）選定年: 1812 年
州都人口: 48,322（2003 年推計）
州都面積: 29.6 平方キロメートル

歴 史

ハリスバーグはペンシルベニア州の州都で、アメリカ北東部の重要な流通拠点である。東西に幹線道路が走り、南北にはサスケハナ川河岸が流れる立地条件により、ハリスバーグは商業の中心地として発展した。交易所として誕生した同市は現在に至るまで、アメリカの工業発展の歴史において常に中心的な役割を果たしてきた。19 世紀にペンシルベニア運河と、その後ペンシルベニア鉄道が開設されると、ハリスバーグはアメリカで最も工業化された都市のひとつへと発展を遂げることになった。

アメリカ社会が変遷していく中で、ハリスバーグは現在でも古い地域社会の面影を残している。1700 年頃、ジョン・ハリスは後にハリスバーグとなる一帯の土地を購入する許可を取得した。彼の息子、ジョン・ハリス 2 世は、ハリスバーグの創設者として知られている。ジョン・ハリス 2 世は 1785 年に都市計画を作成し、区画を整備した。入植地はある期間フランス王ルイ 16 世にちなみ「ルイスバーグ」と呼ばれたが、ジョン・ハリス 2 世は自分の父親にちなんだ名前を主張した。郡都として町を整備し、自治区へ昇格されるよう尽力した結果、ハリスバーグは 1810 年に都市憲章を授与され市となることを承認された。ジョン・ハリス 2 世は州都の建設用地として 1.6 ヘクタールの土地を譲渡したが、議会が土地の使用を決定するまで保管するよう権利書に書き記した。1799 年に議会はフィラデルフィアからランカスターに移転し、その後 1810 年に後の州都となるハリスバーグに移転した。州民の大半は 1790 年から 1800 年にかけて合衆国の首都が置かれていたフィラデルフィアの連邦主義者になぜか反感を持っていたため、州都を選定する時期が来るとハリスバーグの名が挙がり、1820 年に公式に州都に選出された。

参考資料

Pennsylvania Historical and Museum Commission; Dauphin County Historical Society

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ロードアイランド州 プロビデンス（Providence, Rhode Island）

市創設: 1636 年（1832 年に合併）
州都（首都）選定年: 1900 年
州都人口: 176,365（2003 年推計）
州都面積: 47.9 平方キロメートル

歴 史

ロードアイランド州の州都、プロビデンスは州最大の都市であり、アメリカで最初に創設された都市のひとつである。州議会から都市憲章を授与され、1831 年に住民投票により批准されたプロビデンスは、もともとは海洋交易の町であったが、第二次世界大戦後の不況を乗り切った後はアメリカ最大の宝飾品製造業の町となり、ニューイングランド地方の商業、経済、工業の中心地のひとつへと発展を遂げた。プロビデンスは農業が盛んであったが、大西洋岸に近いプロビデンス川河岸のナラガンセット湾の先端という立地を生かし、時をおかずして主要な商業の中心地となっていった。さらにアメリカ合衆国が誕生すると、新国家の繊維産業の中心として繁栄した。宝飾品産業は 1794 年に始まり、現在も盛んである。

プロビデンスは、政教分離主義を支持する急進的な思想によりマサチューセッツから追放されたロジャー・ウィリアムズによって創設された。最初の 100 年間、プロビデンスはその立地や政治、経済的な影響力よりも、創設の原因となった主義の上で、遥かに重要であった。ロジャー・ウィリアムズは、プロビデンスを宗教上の理由で迫害された者の避難所とし、町では宗教の自由及び政教分離を促進する「活発な試み」がなされた。1663 年以来、ロードアイランド州にはプロビデンスを含めいくつかの州都が存在したが、1900 年にはプロビデンスが単独の州都となった。その第一の理由は立地や人口の多さではなく、ニューイングランド南東部の輸送網の拠点という位置付けであった。銀行業などの経済部門や製造部門において指導力を発揮する上で、これは特に重要であった。また、1868 年から 1889 年にかけて行われた近隣の 8 つの町との合併により、プロビデンスの面積は 3 倍になった。

参考資料

Rhode Island Historical Society

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

サウスカロライナ州 コロンビア (Columbia, South Carolina)

市創設: 1786 年(1805 年に正式承認)
州都(首都)選定年: 1786 年
州都人口: 117,357(2003 年推計)
州都面積: 323.8 平方キロメートル

歴 史

クリストファー・コロンバスから名前を取ったコロンビアは、1786 年に合衆国が計画的に建設した最初の州都である。同市は肥沃な農業地帯の中央に位置する、工業、文化、教育の中心地である。富裕な低地帯の農園主と、強硬に独立を主張する丘陵地帯の小規模農場主や商人それぞれの利害を考慮した妥協案として、州の中央に位置するコロンビアが選ばれ、政庁所在地として機能するように特別に設計された。

サウスカロライナ州の中央に位置するコロンビアは、チャールストンよりさらに中心に近い地域に新州都を創設したいと考えた州議会の指示により、田園地帯を切り開いて建設された。この新しい州都は、サルダ川とブロード川の 2 つの支流とコンガリー川が合流する丘の上という戦略的な立地であった。当時はまだ州最大の都市でもなく、人口も多くなかったが、富裕な農園主が集中した僻地のチャールストンよりも行政を「中心」に置こうと働きかける内陸地域の州民からの圧力を受け、州議会は 1791 年にコロンビアへの移転を実行した。長い法的論争を経て、1786 年 4 月、コロンビア周辺に土地を所有し同市への遷都に個人的利害を持つ 5 人の選定委員が、10 人の住民から 10 平方キロメートルの土地を購入した。1 辺が 3.2 キロメートルのこの土地を、1.6 キロメートルごとに 10 本の通りにより碁盤目状に分割して 400 の区画を作成し、そのうち 3 万 2,000 平方メートルを公共施設のために確保した。低地部の政治家は州政府が内地に移動することに反対し、移転を妨害しようとしたが、1790 年には州議会が初めてコロンビアの新しい州庁舎で開かれた。

参考資料

South Carolina Historical Society; South Carolina Encyclopedia

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

サウスダコタ州 ピア (Pierre, South Dakota)

市創設: 1880 年(1883 年に合併)
州都(首都)選定年: 1890 年
州都人口: 13,939(2003 年推計)
州都面積: 33.7 平方キロメートル

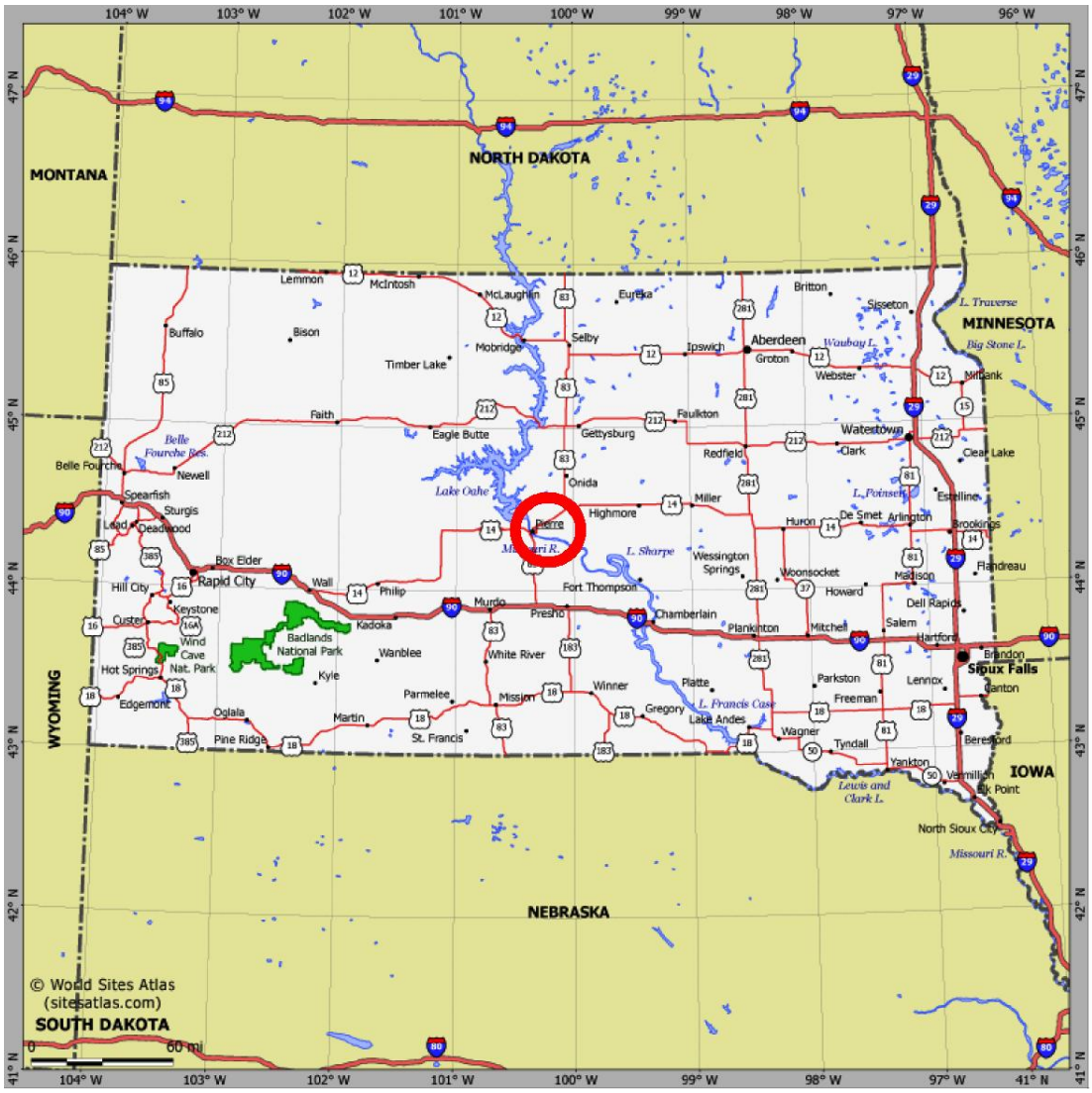
歴 史

1803 年、合衆国はフランスからのルイジアナ買収を終え、後にサウスダコタと命名される地域を含む広大な領地を獲得した。1804 年、探検家のメリウェザー・ルイスとウィリアム・クラークは、現在のピアがある土地にカヌーを係留し合衆国の旗を掲げた。その時の記録には、バッファローやビーバーが数多く生息する地域にもかかわらず、交易所が不足していることが記されており、やがて多くの商人たちがこの地に集まってきた。1817 年、現在のピアから川を挟んだ対岸に毛皮の交易所が建設されたが、1831 年にはアメリカ毛皮貿易会社の代表者が建設したピア砦が、新たな交易所として使用されるようになった。1861 年にダコタ準州が設立され、グレート ダコタ ブーム(1878～1887 年)が到来すると、ピア砦の対岸に蒸気船の船着場及び鉄道ターミナルとしてピアの町が新しく誕生した。

ピアよりさらに東に位置し州人口の大半が集中する町、ミッチェルとピアの間で長期にわたって政治論争が繰り広げられた末、1890 年にピアがサウスダコタの州都に決定された。これは州全域で実施された住民投票でピアが大差で勝利した結果である。1890 年に州議会は圧倒的な投票結果を正式に承認し、ピアを州都と決定した。ピアはヒューズ郡の郡都でもあり、アメリカで 2 番目に小さな州都である。サウスダコタの中心、ミズーリ川の河岸に位置するピアは、行政の中心であり、州の農産業を支える主要な物流拠点である。

参考資料

South Dakota Historical Society; South Dakota Cultural Center



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

テネシー州 ナシュビル (Nashville, Tennessee)

市創設: 1779 年(1806 年に合併)
州都(首都)選定年: 1843 年
州都人口: 607,413(2005 年推計)
州都面積: 1,363 平方キロメートル
(ナッシュビル地区及びデヴィッドソン郡)

歴 史

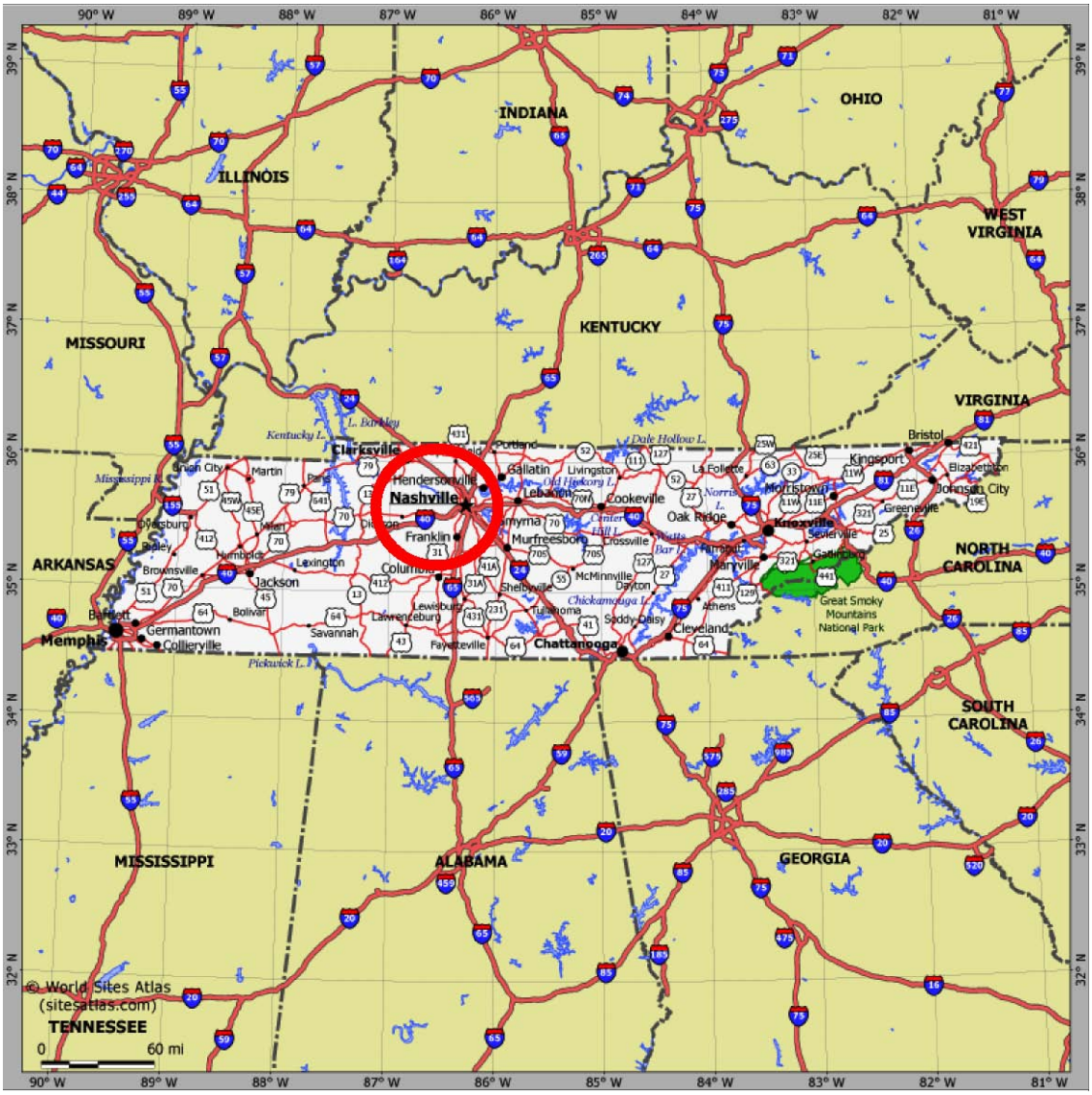
テネシー州の中心、カンバーランド川の河岸にあるナッシュビルは、高さ 91～122 メートルの断崖に三方を囲まれている。ナッシュビルは国内最大の面積を誇る都市のひとつで、その規模はヒューストンやロサンジェルスと肩を並べている。テネシー州の州都であり、メンフィスに次いで 2 番目の人口を持つナッシュビルは、医療や音楽、出版、輸送産業の拠点として知られている。また、グランオールオプリーや音楽出版業が盛んなことから「アメリカのミュージック シティ」とも呼ばれ、アメリカ文化の中心的存在として発展を遂げてきた。ナッシュビルは 1963 年にデヴィッドソン郡と行政機関を合併し、大都市圏政府を形成したアメリカで最初の主要都市となった。

ジェームス・ロバートソンにより創設されたナッシュビルは、当初は独立戦争の英雄であるフランシス・ナッシュにちなんでナッシュボロ砦と呼ばれていたが、1784 年にナッシュビルと改名された。河港としてのアクセスの良さ、そして後には主要な鉄道拠点となった立地条件から、砦は急速な発展を遂げた。1819 年に蒸気船が登場し、他の大都市との交易が始まると、ナッシュビルは程なく近代南部全域における重要な流通拠点となった。

テネシー州中央部の人口が急増したことを受けて、1812 年にナッシュビルは最初の州都となったが、その後州都は 1815 年から 1817 年まではノックスビルに、1817 年から 1826 年まではマーフリーズボロに置かれ、1826 年に再びナッシュビルに移転された。州議会で投票が行われた結果、テネシー全域から挙げられた州都候補地の中からナッシュビルとシャーロットが上位 2 位となり、ナッシュビルがわずか 1 票差で勝利した。こうして、1843 年に法令によりナッシュビルが恒久的な州都として指定された。

参考資料

Tennessee Historical Society; Tennessee Encyclopedia of History and Culture



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

テキサス州 オースティン（Austin, Texas）

市創設: 1835 年（1839 年に合併）
州都（首都）選定年: 1845 年
州都人口: 672,011（2005 年推計）
州都面積: 669.3 平方キロメートル

歴 史

オースティンは、テキサス州の丘陵地帯と東部の肥沃な平原を分断するバルコネス断層とコロラド川が交差する州中南部に位置している。オースティンの成長と発展は当初、南北戦争後のレコンストラクション、そしてヒューストン＆テキサス セントラル鉄道とインターナショナル グレート ノーザン鉄道の開通によるところが大きかったが、後にはテキサス大学が設立されたことでさらなる発展を遂げることになった。同大学の存在は優秀な学生やハイテク企業の誘致につながると同時に、テキサスの芸術の都という町のイメージ向上に大きく貢献している。

スペインの探検家が金鉱を求めて最初にオースティン地方を通過したのは 1530 年のことである。1821 年にメキシコが独立を獲得すると、多くの入植者がこの地に流入し、植民地を形成したことから、テキサス東部は急速な成長を遂げた。1835 年に誕生したウォータールー村も、こうした入植地のひとつである。領域の中心に位置したウォータールーは、高台という立地条件と温暖な気候から、1839 年にテキサス共和国の首都に推薦された。ヒューストンという手ごわい競争相手があったにもかかわらず、ウォータールーはオースティン市として昇格し、州都の座を射止めた。オースティンという名は、「テキサスの父」スティーブン･オースティンにちなんだものである。その後 1845 年にテキサスが合衆国に併合されると、オースティンはそのまま州都に指定された。

1845 年 12 月 29 日、テキサスが合衆国 28 番目の州として承認された際には、オースティンが住民投票により今後 5 年間の政庁所在地として選出された。さらに 1850 年の州選挙でも再び今後 20 年間の州都として選出された。この期間中の 1853 年、現在の州庁舎がある場所にオールド･ストーン州議事堂が建設された。州選挙により、オースティンは 57%の得票率でヒューストンとウェーコを破り、1872 年に恒久的な州都となった。

参考資料

Texas Historical Society; Austin History Center

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ユタ州 ソルトレイクシティ (Salt Lake City, Utah)

市創設: 1847 年(1851 年に合併)
州都(首都)選定年: 1856 年
州都人口: 179,894(2003 年推計)
州都面積: 282.3 平方キロメートル

歴 史

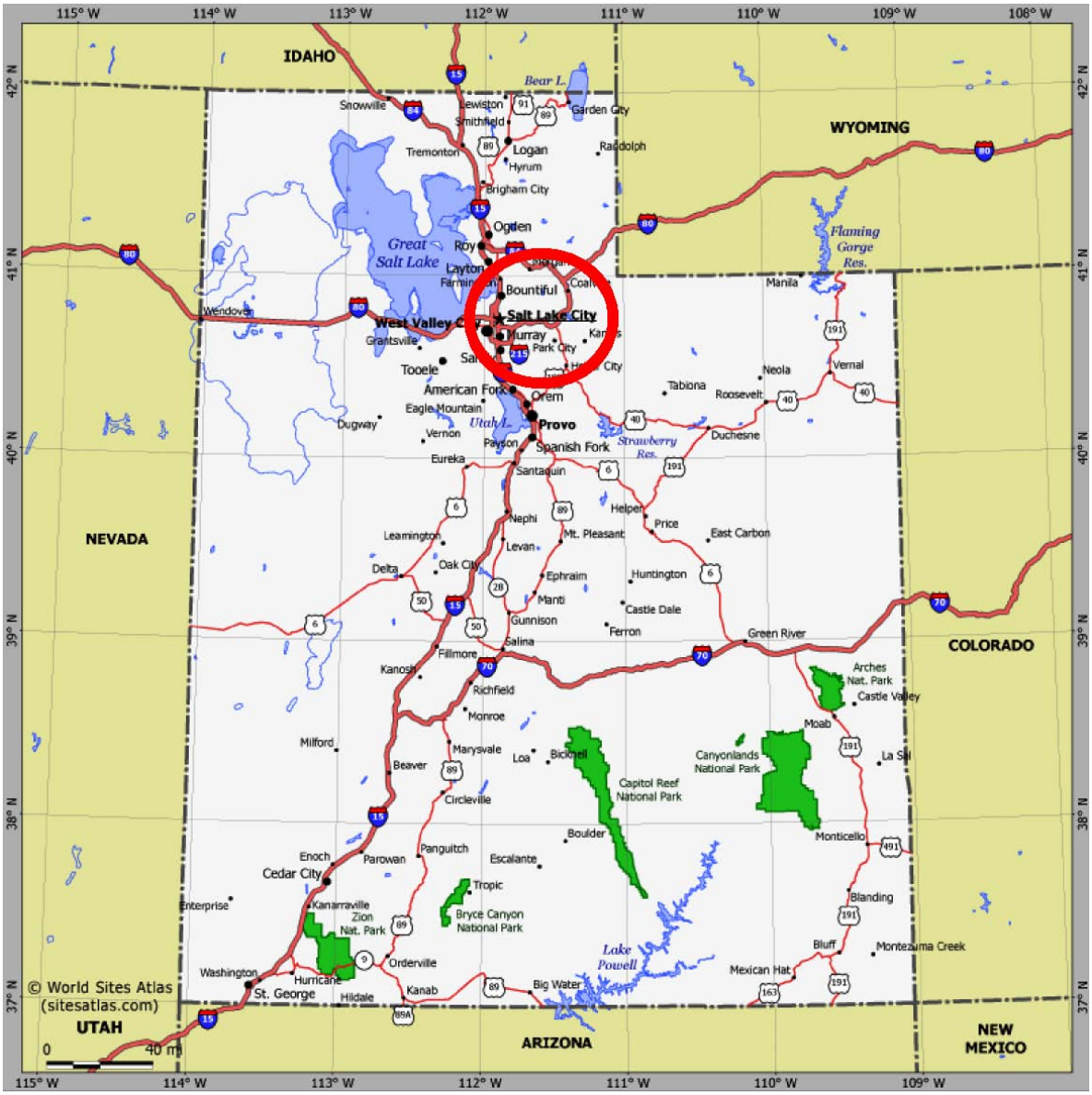
ユタ州の州都にして最大の都市であるソルトレイクシティは、1847 年に宗教指導者のブリガム・ヤングによって創設された、モルモン教の世界的な本拠地である。創設当初は鉱山と鉄道の町であったソルトレイクシティは、広大な西部山岳地帯における商業及び文化の拠点として発展してきた。また、近郊の美しい山々や歴史的及び宗教的な名所、グレートソルト湖の特異性により、観光地としても知られている。

同市は当初から、4 万 470 平方メートルの区画を幅 40 メートルの通りで碁盤目状に分割した計画都市であった。モルモン教徒の入植者は、この地域をグレートソルトレイクシティと呼び、穀物の植え付けや高度な灌漑システムの建設を始めた結果、最終的にユタ地域に 500 を超える入植地が形成された。1848 年、入植者はディザレット州を組織し独立を申請したが、議会は請願を却下し、代わりにユタ準州を 1850 年に創設した。ソルトレイクシティは 1851 年に市に昇格し、1856 年にはフィルモアに代わって準州都となった。

1869 年、大陸横断鉄道がソルトレイクシティから 64 キロ北に開設され、同市は他の多くの都市と結ばれることとなった。その後 20 年間にわたり、多くの鉱山が開発され、モルモン教徒かどうかにかかわらず人口は急速に増加していった。1890 年にモルモン教会が一夫多妻制の禁止に同意したこともあり、1896 年 1 月 4 日に大統領グローバー・クリーブランドの宣言を受けてユタが合衆国に加盟すると、ソルトレイクシティがユタ州の州都として指定された。当時ソルトレイクシティは、州内で最も規模が大きく人口も多かったため、州都に選択されたのは当然の結果であった。

参考資料

Utah State Historical Society Library



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

バーモント州 モントピーリア (Montpelier, Vermont)

市創設: 1791 年(1895 年に合併)
州都(首都)選定年: 1805 年
州都人口: 7,945(2003 年推計)
州都面積: 26.7 平方キロメートル

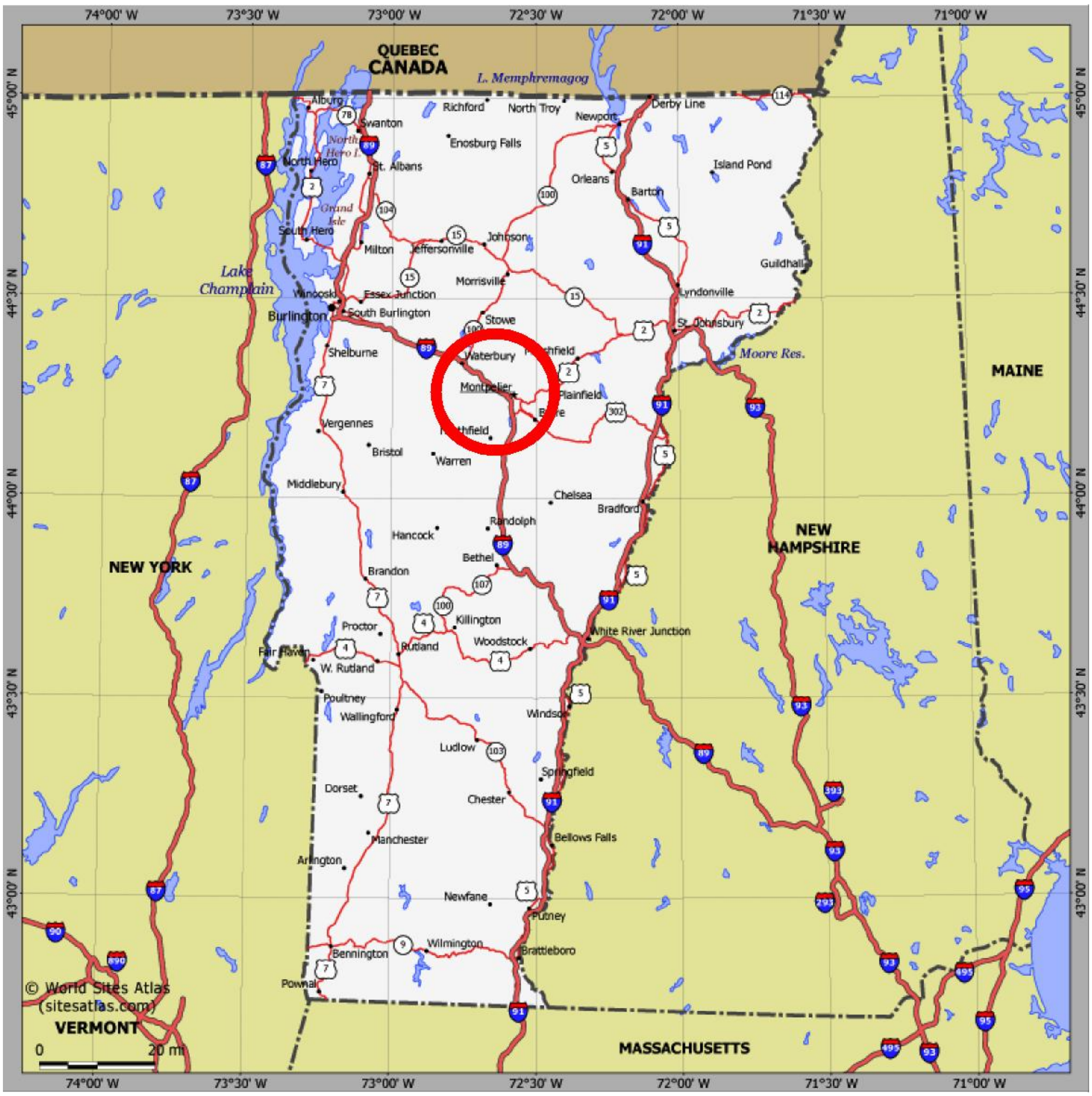
歴 史

アメリカの州都の中で最も人口の少ないモントピーリアは、バーモント州の中心にあり、町を 3 つに分割するウィヌースキ川とノースブランチ川の渓谷に位置している。州の中央部に小規模な都市圏を形成するバリー市と併せて、「ツイン シティ」と呼ばれることもある。バーモント州議会により創設を許可されたモントピーリアだが、その名前はワインとブランディで有名なフランスの小さな町に由来すると言われている。当時はアメリカ独立戦争中にフランスから援助を得ていたため、一般的にフランスのものすべてに傾倒する風潮があった。

バーモント州の他の町と比べ、モントピーリアへの入植は比較的遅いものだった。最初にモントピーリアに定住した入植者は 1789 年のジェイコブ・デイビス大佐であった。バーモントが合衆国に加盟した 1791 年、モントピーリアは町として組織化された。1805 年に州議会がモントピーリアを恒久的な州都として選択した理由は定かではないが、州の中心という立地条件や、入植者に土地と資金を提供することを約束したなど、様々な説がある。さらに地元の歴史学者の中には、バーモント州で最も重要であると言われるウィヌースキ川を形成する、4 つの支流の合流地点という地形により、モントピーリアの発展を説明できると考える者もいる。これらの歴史学者は、バーモント州では道路が川に沿って走っているため、多くの道路がこの地で合流し、政治と商業両面で人々が集まる拠点となっていったという仮説を提唱している。

参考資料

Vermont Historical Society; Montpelier Community Information Center



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

バージニア州 リッチモンド(Richmond, Virginia)

市創設: 1742 年(1782 年に合併)
州都(首都)選定年: 1782 年
州都人口: 194,729(2003 年推計)
州都面積: 162 平方キロメートル

歴 史

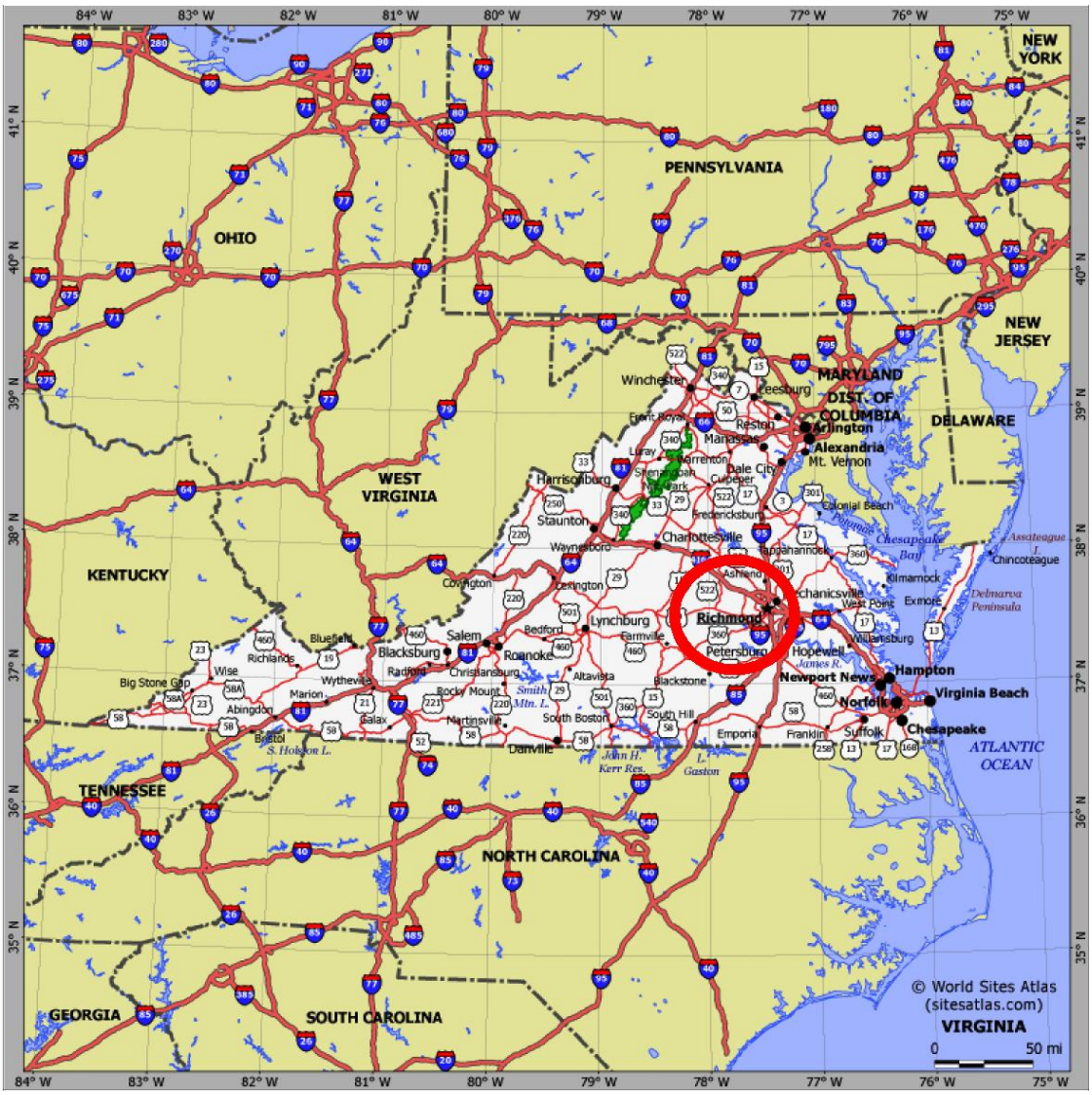
バージニア州の州都、リッチモンドの歴史は古く、400 年前にジェームズタウンの入植者がこの土地を発見した 1607 年にまで遡ることができる。独立戦争中には、パトリック・ヘンリーの自由を訴える演説や、トーマス・ジェファーソンによる独立宣言の起草など、新生国家の行く末を決定する数々の歴史的出来事の舞台となった。

リッチモンドは、山麓地帯と海岸平野の間を流れるジェームス川の航行可能な最上流部に位置しており、遠くにはブルーリッジ山脈を望むことができる。東部沿岸地域の中心という戦略的な立地を持ち、半径約 800 キロの範囲に合衆国のおよそ半数の人口が集中している。さらに、アメリカの首都、ワシントン D.C. もわずか 161 キロメートルの距離にある。

「リッチモンドの父」と呼ばれたウィリアム・バード 2 世は、1737 年、先祖伝来の土地に町の基礎を築いた。5 年後の 1742 年にリッチモンドは町に昇格し、1780 年にはバージニア州議会の要請により、イギリス軍の侵入を防ぐために州都が暫定的にウィリアムズバーグからリッチモンドへ移転された。1782 年 5 月、リッチモンドは市に昇格し、正式にバージニアの新しい州都となった。1784 年には同市で最初の憲章が法律化された。南北戦争の頃には、リッチモンドはアメリカの商業及び工業の重要な拠点のひとつに成長し、港湾都市として繁栄した。アメリカの鉄やれんが製品はリッチモンドで最初に生産が開始され、チェスターフィールド郡の近郊では石炭が発見され採掘が進められた。1861 年 4 月にバージニア州が合衆国に加盟すると、リッチモンドはその経済的及び政治的位置付けが評価され、南部連合国の首都に制定された。

参考資料

Library of Virginia; Virginia historical Society Library and Museum



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ワシントン州 オリンピア (Olympia, Washington)

市創設: 1846 年(1859 年に合併)
州都(首都)選定年: 1853 年
州都人口: 43,963(2003 年推計)
州都面積: 48 平方キロメートル

歴 史

ワシントン州の州都オリンピアは、オリンピック山脈の美しい景観で有名である。同市は、バッド インレットの 2 つの湾岸に面した、ピュジェット湾南端の低平地に位置している。北はシアトルとオリンピック山脈、北東はレーニア山、南はセントヘレンズ山に囲まれており、さらに市内はキャピタル湖によって分断されている。オリンピアは、初期には港湾業と木材関連産業、後には牡蠣の養殖と酪農業により発展を遂げてきた。オリンピア港は切り出した丸太や製材を積み出す重要な輸送拠点として引き続き機能する一方、都市部は林業関係者を対象とした主要なサービスの中心地へと成長した。

最初に入植したアメリカ人は、1846 年に土地の所有を申し立てたレヴィー・スミスとエドモンド・シルベスターで、1850 年には一帯を区画し、中央広場や並木路、学校用地、フリーメイソンの集会所、議事堂用地などを配置した。オリンピアの名前は地元住民からの提案で、近郊にそびえる壮大なオリンピック山脈にちなんで付けられたものである。

1852 年、オリンピアは新たに創設されたターソン郡の郡都となり、1853 年にワシントン準州が設立されると、当時 1,000 人程度の人口を有し、同地域の成長の中心であったオリンピアが州都に指定された。水辺を中心に発展したオリンピアは主要な港湾都市として、サンフランシスコやブリティッシュコロンビア州ビクトリアとの海上通商の拠点へと急速に成長した。州都として宣言したことで、その後数年間にわたってバンクーバーやシアトル、ポートタウンゼント、タコマといった都市との間に対立が生じたが、長い伝統と市民の崇高な精神に支えられ、オリンピアは常に優位を保ってきた。この問題に決着が付いたのは 1889 年のことで、州全域で実施された住民投票でオリンピアが勝利を収めた。

参考資料

Washington State Capital Museum

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ウェストバージニア州 チャールストン（Charleston, West Virginia）

市創設: 1794 年（1818 年に合併）
州都（首都）選定年: 1877 年
州都人口: 51,394（2003 年推計）
州都面積: 82.9 平方キロメートル

歴 史

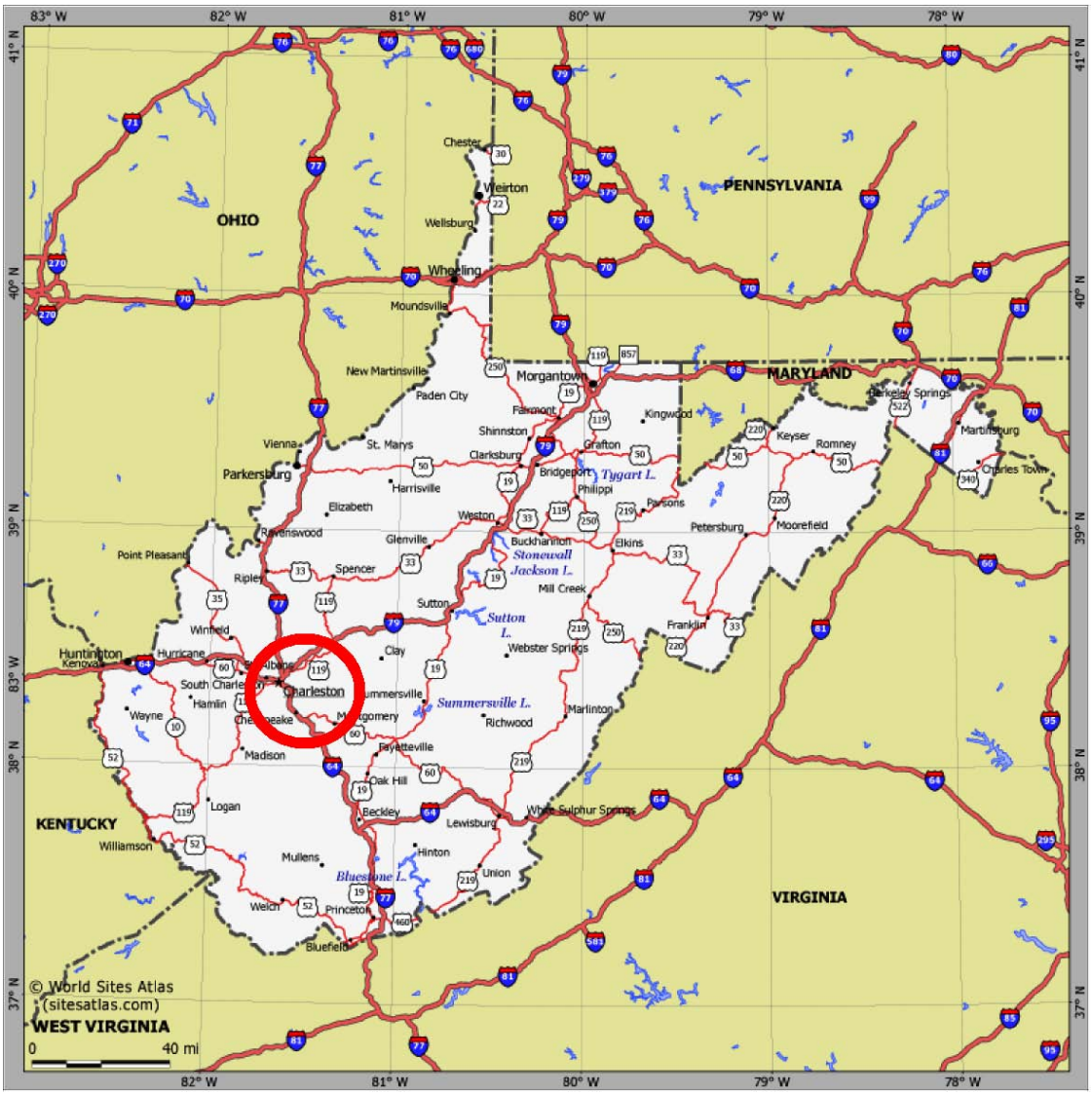
チャールストンはウェストバージニア州の州都であり、カナワ郡の郡庁所在地である。アパラチア山脈西部の切り立った峡谷にたたずむチャールストンは、カナワ川とエルク川の合流点に位置する州最大の都市で、この地の運送、金融、小売業、商業、政治、医療の中核として機能すると同時に、芸術やリクリエーションの中心という役割も担っている。

1787 年、ジョージ・クレンドニン大佐がカナワ川沿いの土地を購入し、1 年後にバージニア州知事の命令で川に面した土地の一部に砦を建設した。リー砦と呼ばれたこの一帯（クレンドニン入植地とも呼ばれる）に多くの開拓者が入植したため、1794 年には隣接するクレンドニンの土地が区画分けされた。その後間もなく、バージニア州議会はジョージ・クレンドニンの父親に敬意を表し、「チャールズタウン」という名の町の建設を承認した。町はその後、チャールストンと短縮して呼ばれるようになり、1818 年 1 月 19 日に正式に町として認められると、この名で登録された。

南北戦争の混乱の中、ウェストバージニアは大統領の声明によって 35 番目の州となり、チャールストンは南北戦争の後、急速に発展した。1873 年に鉄道が開通し、カナワ川の水上交通が改善されたことで石炭の採掘が活発になり、チャールストンはこの地の市場及び卸売産業の中心地として繁栄する。州都は数年にわたり、ホイーリングとチャールストンの間を断続的に移動した。州都の決定は困難を極めたが、1877 年に実施された州民投票によって、チャールストンが恒久的な州都に決定された。

参考資料

West Virginia State Department of Education’s Division of History and Culture



© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ウィスコンシン州 マディソン（Madison, Wisconsin）

市創設: 1836 年（1856 年に合併）
州都（首都）選定年: 1836 年
州都人口: 223,389（2006 年推計）
州都面積: 177.9 平方キロメートル

歴 史

マディソン市はウィスコンシン州の州都であり、デーン郡の郡庁所在地である。 ウィスコンシン州ではミルウォーキーに次ぐ 2 番目に大きな都市で、1836 年に州都として創設された。 マディソンは、州の中心に近く、多くの湖や川に囲まれている。 さらに、2 つの湖に挟まれたフォー レイクス イスマスと呼ばれる地峡にあり、地理的に非常にユニークな場所に位置している。

マディソンは、ニューヨーク生まれのジェームス・ドーティによって創設された町である。商人で資本家のジョン・ジェイコブ・アスターの土地管理者であったドーティは、1835 年 8 月にフォーレイクス イスマスに約 4.9 平方キロメートルの土地を購入し、それが後のマディソンとなった。1836 年に開かれたウィスコンシン準州議会では、州都となる都市の選択が課題となり、18 の都市が候補地として検討された。 ドーティは、当時亡くなったばかりの前アメリカ大統領、ジェームス・マディソンにちなんで自分の土地をマディソンと命名した。 マディソンの町は合衆国の首都であるワシントン D.C. の区画と非常に似ており、庁舎の建つ広場を中心に、放射状に道路が延びる設計であった。 ドーティは、この地峡を州都とすることに賛同してもらえるよう、議員を一人ひとり説得した。 議員らがこの地域が寒すぎることに難色を示すと、毛布を配って説得を続けた程であった。 1838 年 11 月、庁舎の建設が進まず、議員は州都をミルウォーキーに移転する可能性をほのめかしたが、そこでは良い宿泊施設を確保できなかったため、結局 1848 年に州議事堂が完成するまで議員はマディソンに留まることになった。

参考資料

West Virginia State Department of Education’s Division of History and Culture

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

ワイオミング州 シャイアン（Cheyenne, Wyoming）

市創設: 1867 年（1867 年に合併）
州都（首都）選定年: 1868 年
州都人口: 54,374（2003 年推計）
州都面積: 54.9 平方キロメートル

歴 史

なだらかな起伏が続く大平原にたたずむシャイアンは、ノースプラット川とサウスプラット川の中間に位置している。ワイオミング州の州都であるシャイアンは、華やかなカウボーイ時代の全盛期に鉄道の町として誕生し、世界で最も裕福な町となった。同市はララミー郡の郡庁所在地で、鉄道業と畜産業の重要な拠点として現在も発展を続けている。シャイアンはまた州内第一の工業地域でもあり、重要な軍事基地も置かれている。

現在シャイアンがある地域は、もともとインディアンの土地であったが、その後軍事基地が設営され、合衆国陸軍の駐屯地となった。軍の目的はララミー山脈を越える鉄道の経路を見つけることであった。1867 年、ユニオン パシフィック鉄道の主任技師を務めていたグレンビル・ドッジ少将が、終着駅となる町を設立し、地元の部族にちなんでシャイアンと命名した。さらに同年、鉄道作業員と、後に鉄道建設に伴う利益を求めて移住した土地投機家を保護するためにラッセル砦が建設された。町憲章が 1867 年にダコタ準州議会で承認され、シャイアンは市に昇格した。当初は、「地獄に輪をかけた」無法地帯と呼ばれたこともあったが、鉄道が西へと延びるにつれ町は落ち着きを取り戻した。シャイアンは 1868 年に新たに設立されたワイオミング準州の州都となり、1870 年代にはヨーロッパの牛肉市場を対象とした牛の放牧地帯として繁栄を遂げることになった。

1875 年にブラック・ヒルズで金鉱が開発されると、町では旅行者を鉄道から鉱山へと運ぶ駅馬車の需要が高まり、新たな産業の恩恵を受けた。1882 年に電灯が設置されたことで、シャイアンはこの地域で最大の人口と規模を持つと同時に、住民 1 人当たりの資産が世界で最も高い都市となり、その結果、1890 年にワイオミング州の州都に指名された。

参考資料

Wyoming State Archives

© World Sites Atlas (sitesatlas.com). Used with permission.

2008 年 7 月 10 日発行